

深谷市  
一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

平成 29 年 3 月

深谷市



# 目 次

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| <b>第 1 章 総則</b>            | <b>1</b>  |
| 第 1 項 計画策定の主旨              | 1         |
| 第 2 項 計画目標年度の設定            | 2         |
| 第 3 項 本計画の位置付け             | 2         |
| 第 4 項 関係法令                 | 4         |
| 第 5 項 本計画の範囲               | 4         |
| 1. 計画対象廃棄物                 | 4         |
| 2. 計画対象区域                  | 4         |
| <b>第 2 章 地域の概要</b>         | <b>5</b>  |
| 第 1 項 自然環境の特性              | 5         |
| 1. 地理的、地形的特性               | 5         |
| 2. 気候的特性                   | 6         |
| 第 2 項 社会環境の特性              | 7         |
| 1. 人口動態、分布状況               | 7         |
| 2. 財政力の状況                  | 8         |
| 3. 産業の動向                   | 9         |
| 4. 観光                      | 10        |
| 第 3 項 生活環境の特性              | 11        |
| 1. 主要な交通                   | 11        |
| 2. 土地利用状況                  | 12        |
| 3. 将来計画等                   | 13        |
| <b>第 3 章 ごみ処理の状況</b>       | <b>14</b> |
| 第 1 項 ごみの発生量の実績及びその性状      | 14        |
| 1. ごみ処理の流れ                 | 14        |
| 2. 種類別ごみ排出量の実績             | 15        |
| 3. 排出形態別排出量の実績             | 15        |
| 4. 家庭系ごみ 1 人 1 日当たりの排出量の実績 | 16        |
| 5. 事業系ごみ 1 日当たりの排出量の実績     | 16        |
| 6. 中間処理の実績                 | 17        |
| 7. 最終処分の実績                 | 18        |
| 8. ごみの性状                   | 19        |

|              |                      |           |
|--------------|----------------------|-----------|
| 第 2 項        | ごみの減量化・再資源化          | 23        |
| 1.           | 資源化となるごみの分別収集        | 23        |
| 2.           | 市民団体による資源回収          | 23        |
| 3.           | 事業者による資源回収           | 24        |
| 第 3 項        | ごみ処理の体制              | 25        |
| 1.           | 家庭系ごみの処理体制           | 25        |
| 2.           | 事業系ごみの処理体制           | 26        |
| 3.           | 中間処理の状況              | 27        |
| 4.           | 最終処分の状況              | 29        |
| 5.           | ごみ処理経費の状況            | 30        |
| 6.           | 前計画によるごみ排出量の目標達成状況   | 30        |
| 第 4 項        | ごみ処理の施策展開の現状         | 31        |
| 第 5 項        | 課題の抽出                | 32        |
| 第 6 項        | ごみ処理の評価              | 33        |
| <b>第 4 章</b> | <b>ごみ処理基本計画</b>      | <b>34</b> |
| 第 1 項        | 基本方針                 | 34        |
| 第 2 項        | ごみの発生・排出抑制の方策        | 35        |
| 1.           | 施策の体系                | 35        |
| 2.           | 各種施策の説明              | 36        |
| 第 3 項        | ごみの発生量及び処理量の見通し      | 39        |
| 1.           | 行政区域内人口の予測           | 40        |
| 2.           | ごみ排出量の予測             | 41        |
| 第 4 項        | 発生抑制の目標              | 45        |
| 1.           | 目標値の設定               | 45        |
| 2.           | 1 人 1 日当たりの削減目標      | 46        |
| 3.           | 目標値を達成した場合のごみ排出量の予測値 | 48        |
| 4.           | 新たな目標でのごみ排出量の見込み     | 50        |
| 第 5 項        | ごみの適正処理に関する基本的事項     | 52        |
| 1.           | 収集・運搬計画              | 52        |
| 2.           | 中間処理計画               | 54        |
| 3.           | 最終処分計画               | 55        |
| 4.           | 災害廃棄物処理計画            | 57        |
| 第 6 項        | 進行管理計画               | 59        |
| 1.           | 施策推進体制の整備            | 59        |
| 2.           | 計画の検証方法              | 59        |
|              | ごみに関する主な用語の説明        | 60        |
|              | 資料                   | 63        |

# 第1章 総則

## 第1項 計画策定の主旨

今日において、環境保全は人類の生存基盤に関わる極めて重要な課題となっています。近年の大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会活動は、環境保全と健全な物質循環を阻害しています。また、温室効果ガスの排出による地球温暖化問題、天然資源の枯渇の懸念、大規模な資源採取による自然破壊など様々な環境問題にも密接に関係しています。

国では、「環境基本法」や「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）をはじめとする廃棄物に関する各種関連法の整備を進め、また、社会のあり方や生活様式の変化に伴い、3R（廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））の推進や循環型社会の構築のため、各種関連法を改正するとともに具体的な目標を定めてきました。第三次循環型社会形成推進基本計画（平成25年5月）では、最終処分量の削減など、これまで進展した廃棄物の量に着目した施策に加え、循環の質にも着目し、1. リサイクルに比べ取組が遅れているリデュース・リユースの取組強化、2. 有用金属の回収、3. 安心・安全の取組強化、4. 3R国際協力の推進等を新たな政策の柱としています。

他方、埼玉県では「第8次埼玉県廃棄物処理基本計画（平成28年3月）」を策定し、「廃棄物を資源として活かし、未来につながる循環型社会」の実現に向け、循環型社会形成を目指す3本柱（3Rの推進、廃棄物の適正処理の推進、環境産業の育成）と災害廃棄物対策を推進する備えの柱、計4つの柱を立てて、施策を展開しています。

こうした状況の中、深谷市は熊谷市及び寄居町の2市1町とともに大里広域市町村圏組合を形成し、ごみの広域処理を行っており、平成19年3月には「深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本画」を策定し、循環型社会を目指してきました。計画においては、「循環型社会」の構築、ごみの有効利用、ごみの発生・排出抑制、ごみの資源化、ごみ処理の広域化などを基本方針として、ごみ処理に取り組んできましたが、この度目標年度を迎えました。

そこで、前計画を見直し、「第8次埼玉県廃棄物処理基本計画」や「大里広域市町村圏組合一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（平成27年3月）」などの計画に基づき、「深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を新たに策定することとなりました。

## 第2項 計画目標年度の設定

計画期間は計画策定時より10年間とし、平成29年度を初年度、平成38年度を目標年度とします。計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うこととします。なお、中間目標年度を5年後の平成33年度とします。

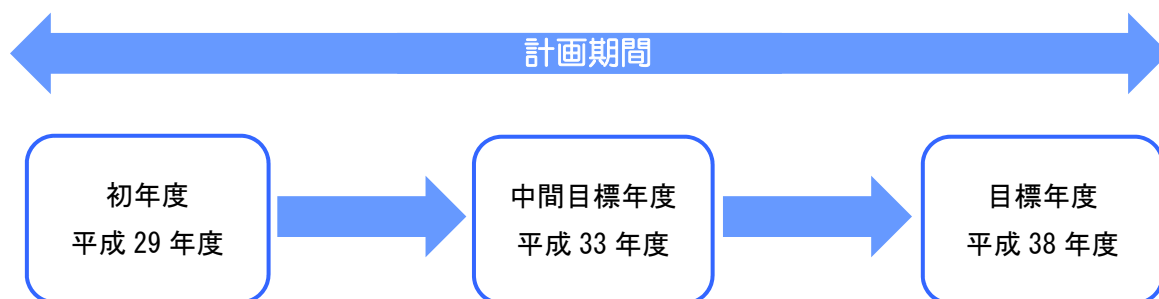


図 1-1 計画の期間

## 第3項 本計画の位置付け

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は、廃棄物処理法第6条第1項の規定により、市町村が定める一般廃棄物処理計画のうち、ごみに関する基本計画です。

この計画は、長期的・総合的視点に立って、計画的なごみ処理の推進を図るための基本方針となるものであり、ごみの排出抑制及びごみの発生から最終処分までの、ごみの適正な処理を進めるために必要な基本的事項を定めるものです。

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画は、廃棄物処理法第6条第2項の規定により、以下の事項について定めるものとなっています。

- ・ ごみの発生量及び処理量の見込み
- ・ ごみの排出抑制のための方策に関する事項
- ・ 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分
- ・ ごみの適正な処理及びこれを実施する者に関する基本的事項
- ・ ごみの処理施設の整備に関する事項
- ・ その他ごみの処理に関し必要な事項

また、基本計画に基づき各年度ごとに一般廃棄物の排出抑制、減量化、再生利用の推進、収集、運搬、処分等について定める一般廃棄物処理実施計画、容器包装リサイクル法第8条に基づき、容器包装廃棄物の排出量の見込みや種類、施設整備に関する事項等、分別収集に関して基本的事項を定める市町村分別収集計画があります。

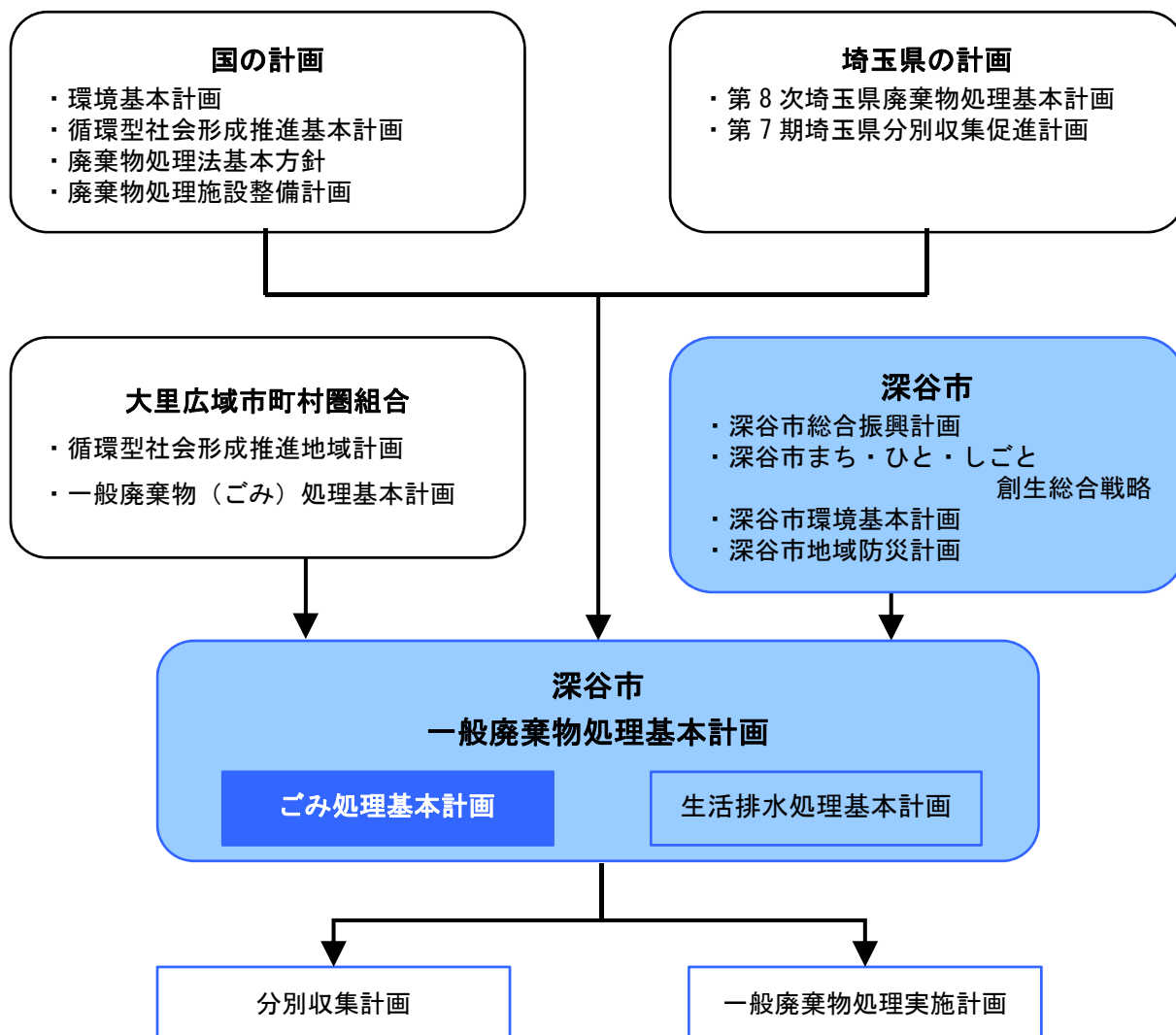


図 1-2 一般廃棄物処理基本計画の位置づけ

## 第4項 関係法令

循環型社会の構築に向けた法体系を以下に示します。

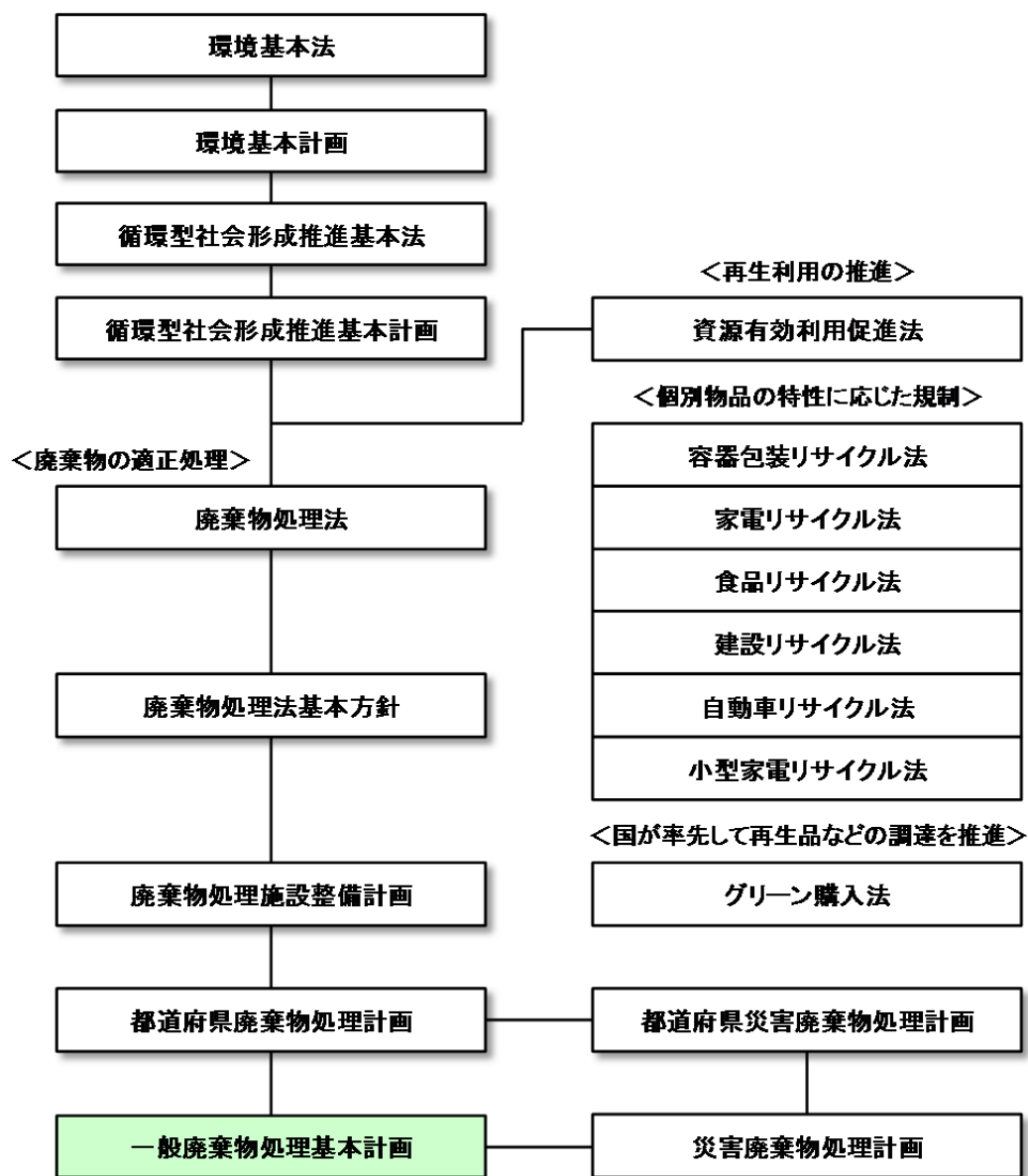


図 1-3 一般廃棄物処理基本計画と上位計画等の関係

## 第5項 本計画の範囲

### 1. 計画対象廃棄物

本計画の対象は、計画対象区域内で発生する一般廃棄物のうち、ごみを対象とします。

### 2. 計画対象区域

本計画の対象地域は深谷市全域とします。

## 第2章 地域の概要

### 第1項 自然環境の特性

#### 1. 地理的、地形的特性

深谷市は、埼玉県の北西部に位置し、東京都心から70km圏内にある総面積138.37km<sup>2</sup>の市です。東は熊谷市に、南は嵐山町及び寄居町に、西は本庄市及び美里町に、北は群馬県に接しています。

北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れ出た荒川が扇状台地を形成する平坦な地形となっています。また、地質は、北部は利根川及び小山川の堆積作用によって形成された沖積低地、南部は関東ローム層の洪積台地となっています。

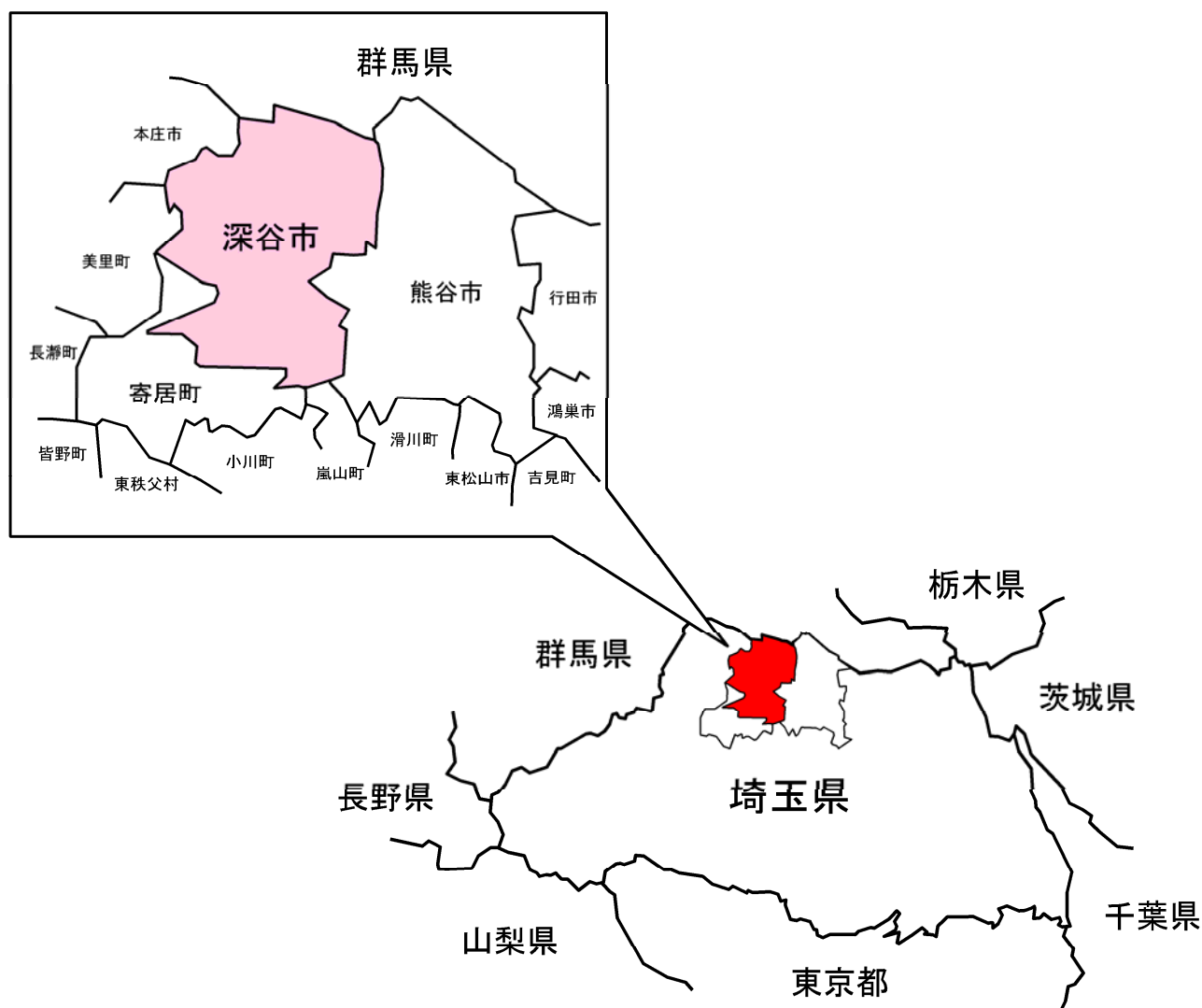


図 2-1 深谷市の位置

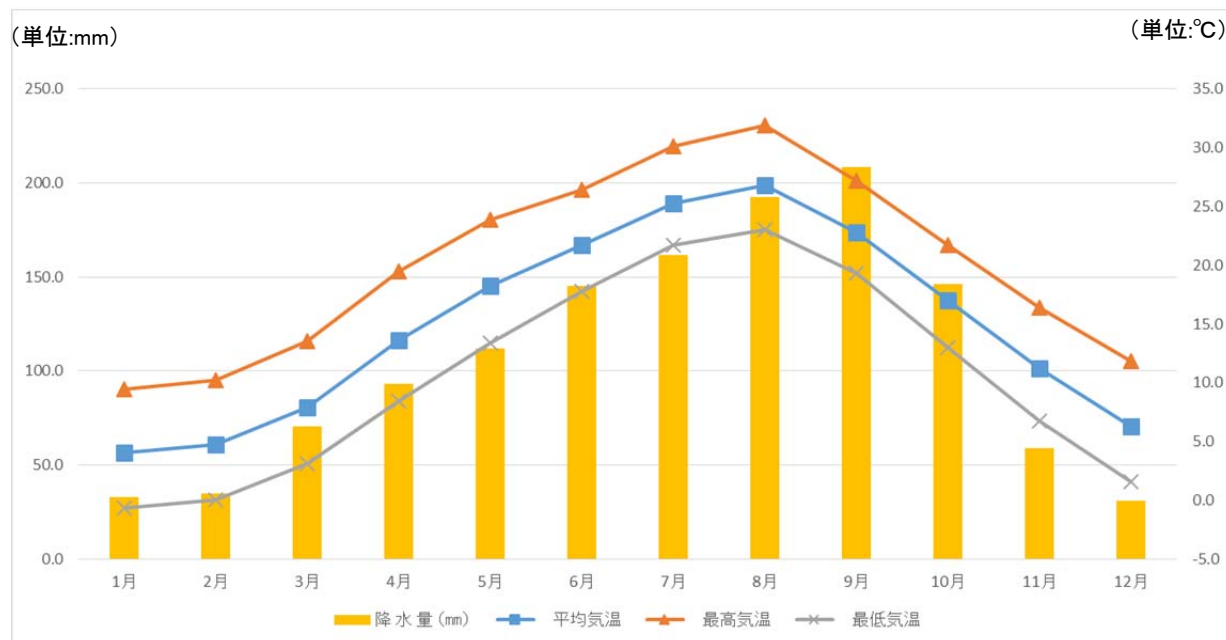
## 2. 気候的特性

深谷市は、初夏と秋に降水が多く、冬になると北よりの季節風が吹き乾燥する太平洋側の気候と、内陸性の気候の特色を併せ持った地域です。

熊谷気象台の1981年から2010年の30年間の平年値によると、降水量は年間1,300mm程度です。最高気温は8月で31.9℃、最低気温は1月で氷点下0.7℃になります。また、夏と冬の平均気温の差は、22.8℃と比較的寒暖の差があります。

表 2-1 地域の気温、降水量

|      | 気温(℃) |      |      | 降 水 量   |
|------|-------|------|------|---------|
|      | 平均    | 最高   | 最低   | (mm)    |
| 1 月  | 4.0   | 9.4  | -0.7 | 32.6    |
| 2 月  | 4.7   | 10.2 | 0.0  | 34.6    |
| 3 月  | 7.9   | 13.5 | 3.1  | 70.5    |
| 4 月  | 13.6  | 19.5 | 8.4  | 92.9    |
| 5 月  | 18.2  | 23.9 | 13.4 | 111.8   |
| 6 月  | 21.7  | 26.4 | 17.8 | 145.4   |
| 7 月  | 25.3  | 30.1 | 21.7 | 161.6   |
| 8 月  | 26.8  | 31.9 | 23.0 | 192.6   |
| 9 月  | 22.8  | 27.2 | 19.3 | 208.3   |
| 10 月 | 17.0  | 21.7 | 13.0 | 146.1   |
| 11 月 | 11.2  | 16.4 | 6.7  | 59.0    |
| 12 月 | 6.3   | 11.8 | 1.6  | 31.0    |
| 年    | 15.0  | 20.2 | 10.6 | 1,286.3 |



資料:熊谷気象台データ 1981~2010年の平年値

図 2-2 地域の気温、降水量

## 第2項 社会環境の特性

### 1. 人口動態、分布状況

#### 1) 人口の動向

深谷市の人口及び世帯数の推移は次のとおりです。

平成27年度の人口は145,406人であり、平成18年度に比べて2,509人(1.7%)減少しています。

一方、平成27年度の世帯数は、57,143世帯であり、平成18年度に比べて5,402世帯(10.4%)増加し、1世帯当たりの人口が減少していることから、核家族化が進んでいます。

表2-2 人口の推移

| 項目\年度            | H18     | H19     | H20     | H21     | H22     | H23     | H24     | H25     | H26     | H27     |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 人口<br>(人)        | 147,915 | 147,866 | 147,761 | 147,575 | 147,625 | 147,451 | 147,018 | 146,189 | 145,918 | 145,406 |
| 世帯数<br>(世帯)      | 51,741  | 52,483  | 53,122  | 53,889  | 54,525  | 55,191  | 55,782  | 55,910  | 56,633  | 57,143  |
| 1世帯当たりの<br>人口(人) | 2.86    | 2.82    | 2.78    | 2.74    | 2.71    | 2.67    | 2.64    | 2.61    | 2.58    | 2.54    |

資料:住民基本台帳・世帯人口統計表 各年4月1日(平成25年以降は、外国人を含む。)

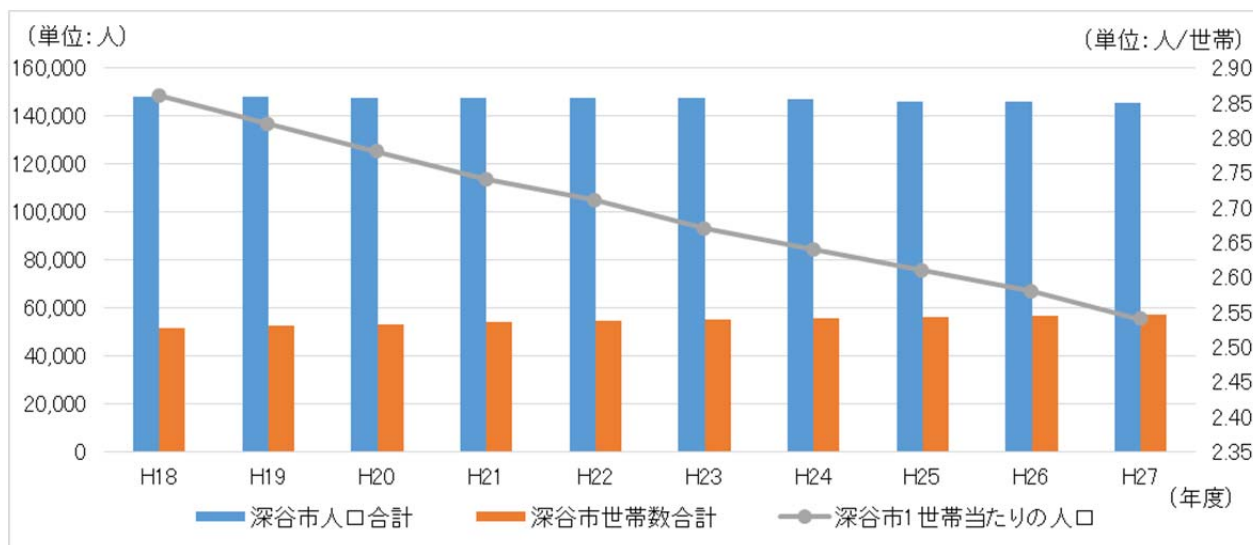


図2-3 人口及び世帯数の推移

## 2) 高齢者人口の動向

深谷市の高齢者人口の推移は次のとおりです。65歳以上の高齢者人口が増加しており、高齢化が進んでいます。

表 2-3 高齢者人口の推移

|          | H18    | H19    | H20    | H21    | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27    |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 高齢者人口(人) | 26,625 | 27,672 | 28,567 | 29,612 | 30,490 | 30,936 | 31,968 | 33,548 | 34,868 | 36,341 |

資料：深谷市統計・オープンデータ 自治会別年齢階層人口 各年4月1日人口

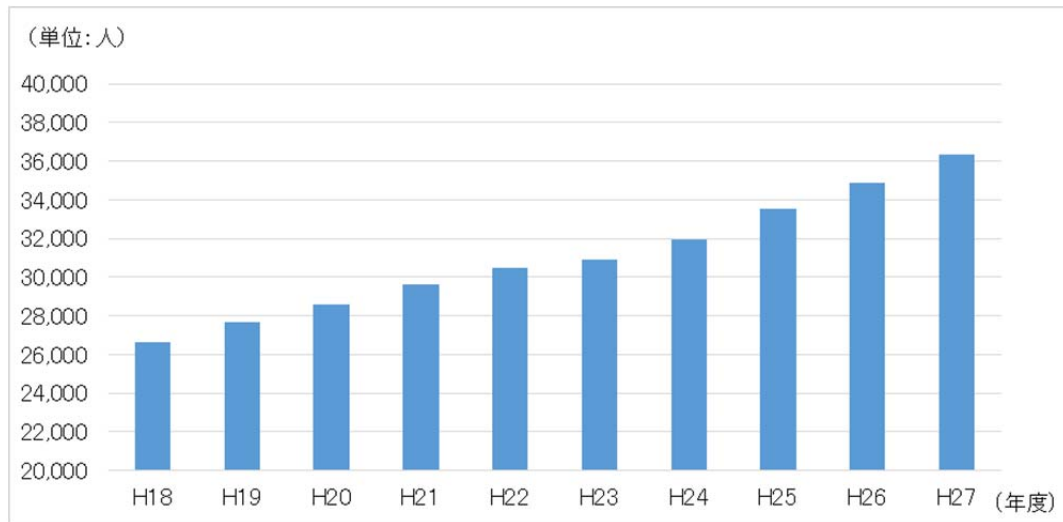


図 2-4 高齢者人口の推移

## 2. 財政力の状況

深谷市の財政力の状況は次のとおりです。深谷市の財政力指数<sup>1</sup>は、埼玉県の市の平均値や埼玉県全体の平均値<sup>2</sup>に比べ低くなっています。

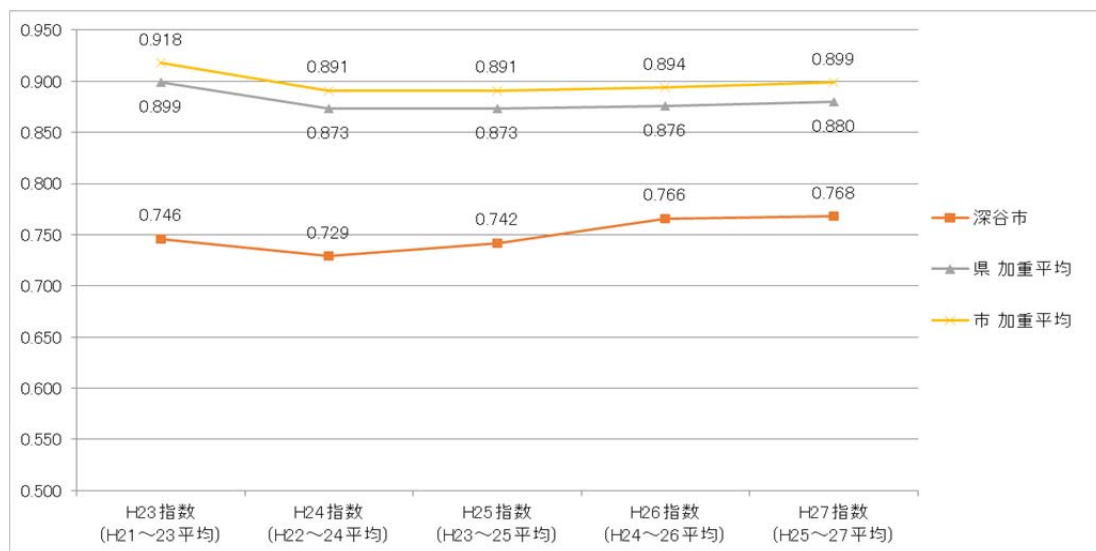


図 2-5 財政力指数の推移

<sup>1</sup> 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値です。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

<sup>2</sup> 人口規模を考慮した平均値

### 3. 産業の動向

深谷市の産業別人口は次のとおりです。

深谷市の産業は、古くから農業を中心に発展してきましたが、近年の農業を取り巻く環境の変化などに伴い、第一次産業はその比率が徐々に低下してきています。それと共に、電気、機械、非鉄金属などの第二次産業及び商業、サービス産業を中心とする、第三次産業を主体とした就業構造に移行してきています。

産業別人口は第三次産業人口の割合が高く、業種別では、製造業が一番多く、次いで卸売業・小売業、医療・福祉、農業・林業と続きます。

表 2-4 地域の産業別人口（平成 22 年）

| 産業分類  |                     | 単位(人)  |
|-------|---------------------|--------|
| 第一次産業 | A 農業, 林業            | 6,165  |
|       | B 漁業                | 1      |
|       | 第一次産業合計             | 6,166  |
| 第二次産業 | C 鉱業, 採石業, 砂利採取業    | 18     |
|       | D 建設業               | 4,269  |
|       | E 製造業               | 17,104 |
|       | 第二次産業合計             | 21,391 |
| 第三次産業 | F 電気・ガス・熱供給・水道業     | 262    |
|       | G 情報通信業             | 959    |
|       | H 運輸業, 郵便業          | 4,236  |
|       | I 卸売業, 小売業          | 10,556 |
|       | J 金融業, 保険業          | 1,258  |
|       | K 不動産業, 物品賃貸業       | 677    |
|       | L 学術研究, 専門・技術サービス業  | 1,281  |
|       | M 宿泊業, 飲食サービス業      | 3,120  |
|       | N 生活関連サービス業, 娯楽業    | 2,350  |
|       | O 教育, 学習支援業         | 2,726  |
|       | P 医療, 福祉            | 6,202  |
|       | Q 複合サービス事業          | 530    |
|       | R サービス業(他に分類されないもの) | 3,375  |
|       | S 公務(他に分類されるものを除く)  | 2,001  |
|       | 第三次産業合計             | 39,533 |
| 合計    |                     | 67,090 |

出典: 国勢調査

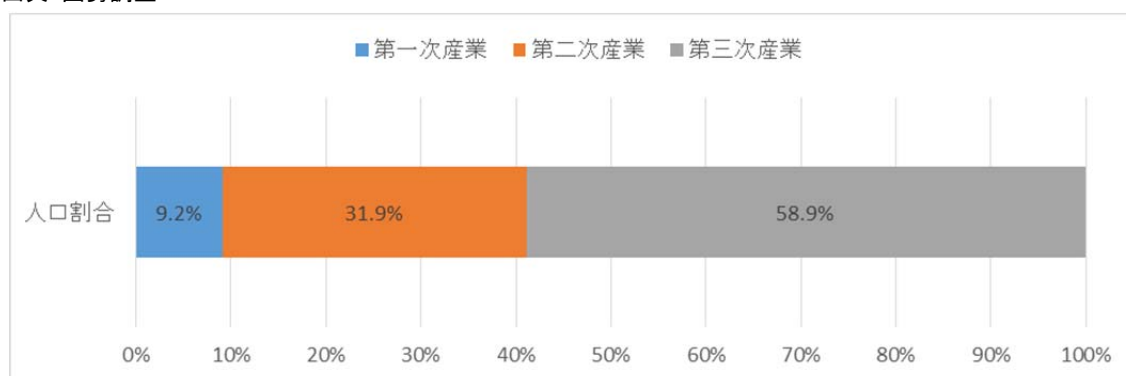


図 2-6 地域の産業別人口

## 4. 観光

深谷市の観光客数は約 457 万人であり、そのうち「観光地点」が 409 万人、「イベント」が 49 万人となっています。観光客数の推移をみると年々増加傾向にあり、平成 23 年から約 117 万人増加しています。

表 2-5 観光客数

(単位:千人)

|          | H23   | H24   | H25   | H26   | H27   |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 観光地点     | 3,048 | 3,387 | 3,663 | 3,857 | 4,087 |
| イベント     | 352   | 503   | 465   | 472   | 486   |
| 合計       | 3,400 | 3,890 | 4,128 | 4,329 | 4,573 |
| 埼玉県観光地点数 | 344   | 373   | 387   | 437   | 425   |

資料:観光地点及びイベントは埼玉県観光課調べ、観光地点数は観光庁 観光入込客統計

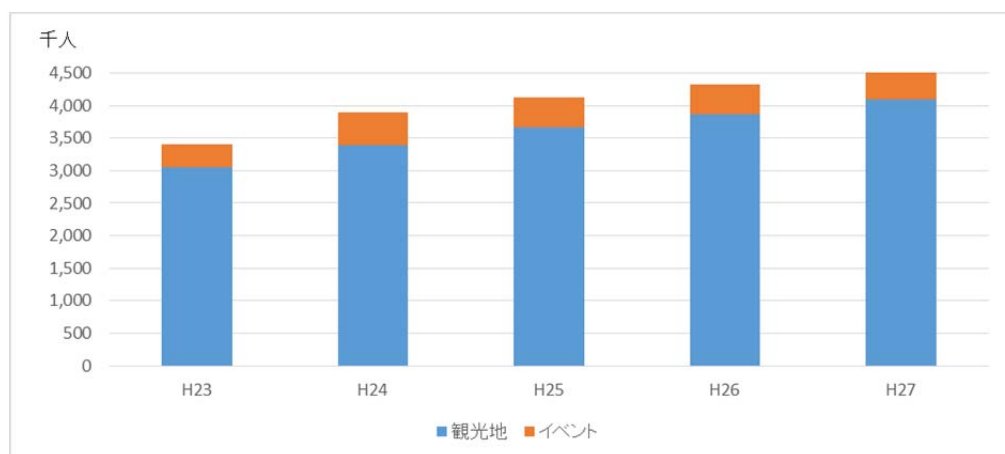


図 2-7 観光客数の推移

表 2-6 目的別入込客数 (平成 22 年)

| 主な観光スポット           | 入込客数(千人) |
|--------------------|----------|
| ハイキング及び登山客         | 12.9     |
| 花見客及び紅葉狩り客         | 29.1     |
| 釣り客                | 6.7      |
| 寺社参詣及び文化財・天然記念物見物客 | 30.4     |
| 遊園地客               | 508.2    |
| 各種行事・まつり見学客        | 761.9    |
| スポーツ客              | 4.6      |
| 産業観光客              | 1,076.2  |
| その他                | 316.9    |
| 合計                 | 2,746.9  |

資料:埼玉県観光課『入込観光客「推計」調査』  
(この調査は平成 22 年で終了しています)

### 第3項 生活環境の特性

#### 1. 主要な交通

交通の面では、関越自動車道、国道17号線・同深谷バイパス・上武国道、国道140号線・同バイパス、国道254号線などがあり、広域間の基幹的役割を果たす道路として機能しています。また、地域の玄関口として関越自動車道花園インターチェンジが設置されているほか、嵐山小川、本庄児玉のインターチェンジに近接しています。

鉄道はJR高崎線の深谷駅と岡部駅、秩父鉄道の明戸駅、武川駅、永田駅、小前田駅の合わせて2路線6駅が存在します。上越新幹線およびJR八高線が通過し、上越新幹線本庄早稲田駅にも近接していることから、東京都心方面、上信越方面、秩父方面への交通の要衝となっています。



図2-8 主要な交通

## 2. 土地利用状況

深谷市の土地利用面積は次のとおりです。

地目としては、田及び畑の農用地としての登記が多く、全体の約半分を占めています。特に畑は、平成 27 年でも約 35%を占め、首都圏の重要な野菜産地であることを裏付けています。また、宅地面積は年々増加しており、平成 18 年が 2,996.7 km<sup>2</sup>であったのに対し、平成 27 年が 3,230.5km<sup>2</sup>と、10 年間で約 7.8%増加しています。

宅地は、市街化区域内に集中している他、市街化調整区域内には、農村集落が形成されています。

表 2-7 土地利用状況

|     | 面積(km <sup>2</sup> ) |         |         |         |     |       |      |         |         |
|-----|----------------------|---------|---------|---------|-----|-------|------|---------|---------|
|     | 総数                   | 田       | 畑       | 宅地      | 池沼  | 山林    | 原野   | 雑種地     | その他     |
| H18 | 13,758.0             | 1,786.2 | 4,940.7 | 2,996.7 | 3.8 | 447.7 | 37.6 | 1,137.2 | 2,408.1 |
| H19 | 13,758.0             | 1,782.0 | 4,923.2 | 3,030.3 | 3.8 | 427.1 | 36.9 | 1,128.8 | 2,425.9 |
| H20 | 13,758.0             | 1,780.2 | 4,909.2 | 3,079.8 | 3.8 | 424.6 | 36.7 | 1,132.1 | 2,391.6 |
| H21 | 13,758.0             | 1,775.9 | 4,887.3 | 3,110.2 | 3.8 | 423.0 | 36.3 | 1,099.7 | 2,421.8 |
| H22 | 13,841.0             | 1,772.4 | 4,939.3 | 3,139.4 | 3.8 | 422.6 | 37.8 | 1,100.8 | 2,424.9 |
| H23 | 13,841.0             | 1,768.7 | 4,925.8 | 3,159.3 | 3.8 | 422.2 | 37.8 | 1,100.9 | 2,422.5 |
| H24 | 13,841.0             | 1,760.3 | 4,914.7 | 3,175.7 | 3.8 | 429.0 | 37.7 | 638.6   | 2,881.3 |
| H25 | 13,841.0             | 1,755.7 | 4,890.4 | 3,196.2 | 3.7 | 429.0 | 37.8 | 639.6   | 2,887.4 |
| H26 | 13,841.0             | 1,753.8 | 4,874.7 | 3,211.5 | 3.8 | 428.2 | 37.9 | 641.6   | 2,889.5 |
| H27 | 13,837.0             | 1,750.8 | 4,857.3 | 3,230.5 | 3.8 | 419.5 | 37.9 | 652.5   | 2,884.7 |

資料:資産税課 概要調書(各年度 1 月 1 日現在)

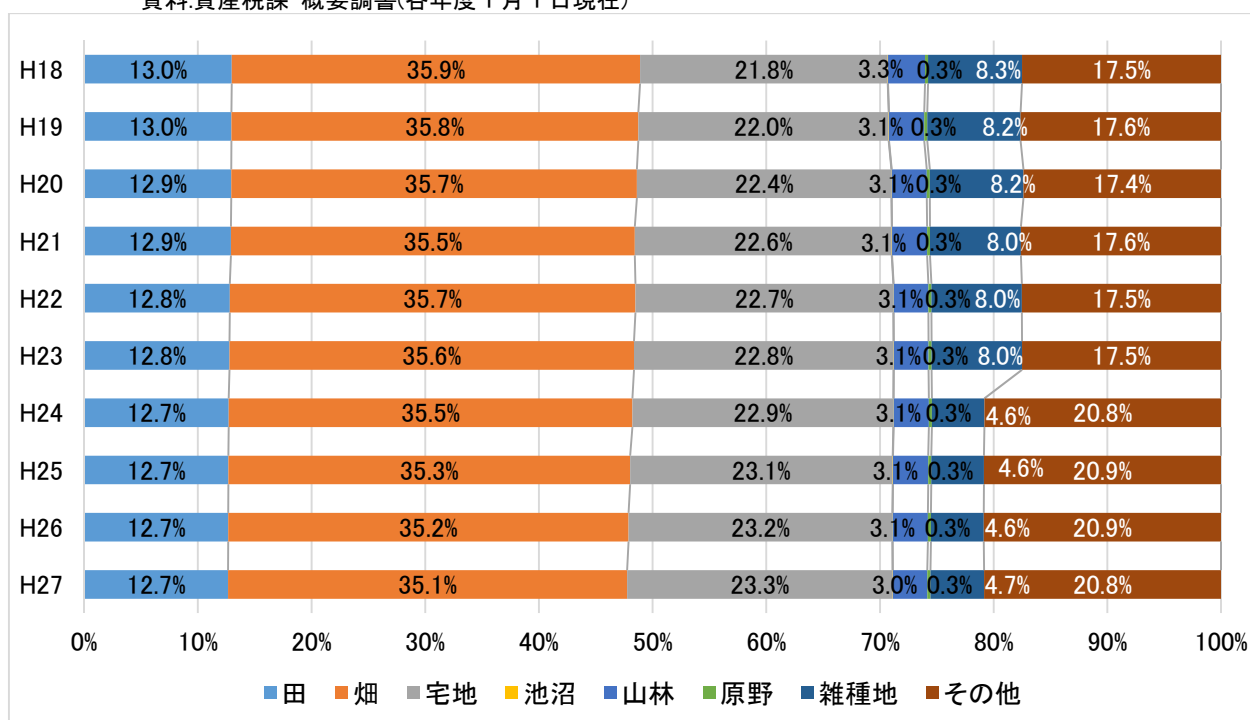
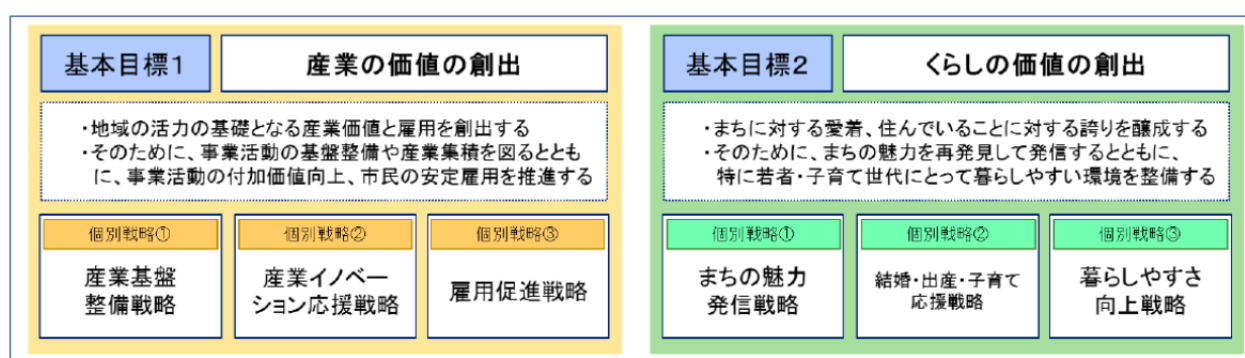


図 2-9 土地利用状況

### 3. 将来計画等

「深谷市人口ビジョン」では、①合計特殊出生率<sup>3</sup>の向上、②若者世代の移動率の改善（転入促進及び転出抑制）を図るため、次世代につながるエリア価値を創出すべきと結論づけました。

これを受け、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では『次世代につながるエリア価値の創出』を基本方針として定め、2つの基本目標を定めています。1つは、地域の活力の基礎となる産業価値と雇用を創出する「産業の価値の創出」、2つ目は、居住地としての暮らしやすさを伸ばすまちづくりを推進するとともに、市民のまちに対する愛着、深谷に住んでいることに対する誇りを醸成する「くらしの価値の創出」とし、基本方針の実現に向け、個別戦略に取り組んでいます。



資料：深谷市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略

<sup>3</sup> 「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

## 第3章 ごみ処理の状況

### 第1項 ごみの発生量の実績及びその性状

#### 1. ごみ処理の流れ

深谷市から排出されるごみの流れを以下に示します。

大里広域市町村圏組合（以下「組合」という。）で処理後に発生する残渣は、彩の国資源循環工場や埼玉県環境整備センターで処分しています。なお、一部の資源物は集団回収を実施しており、直接資源化されています。

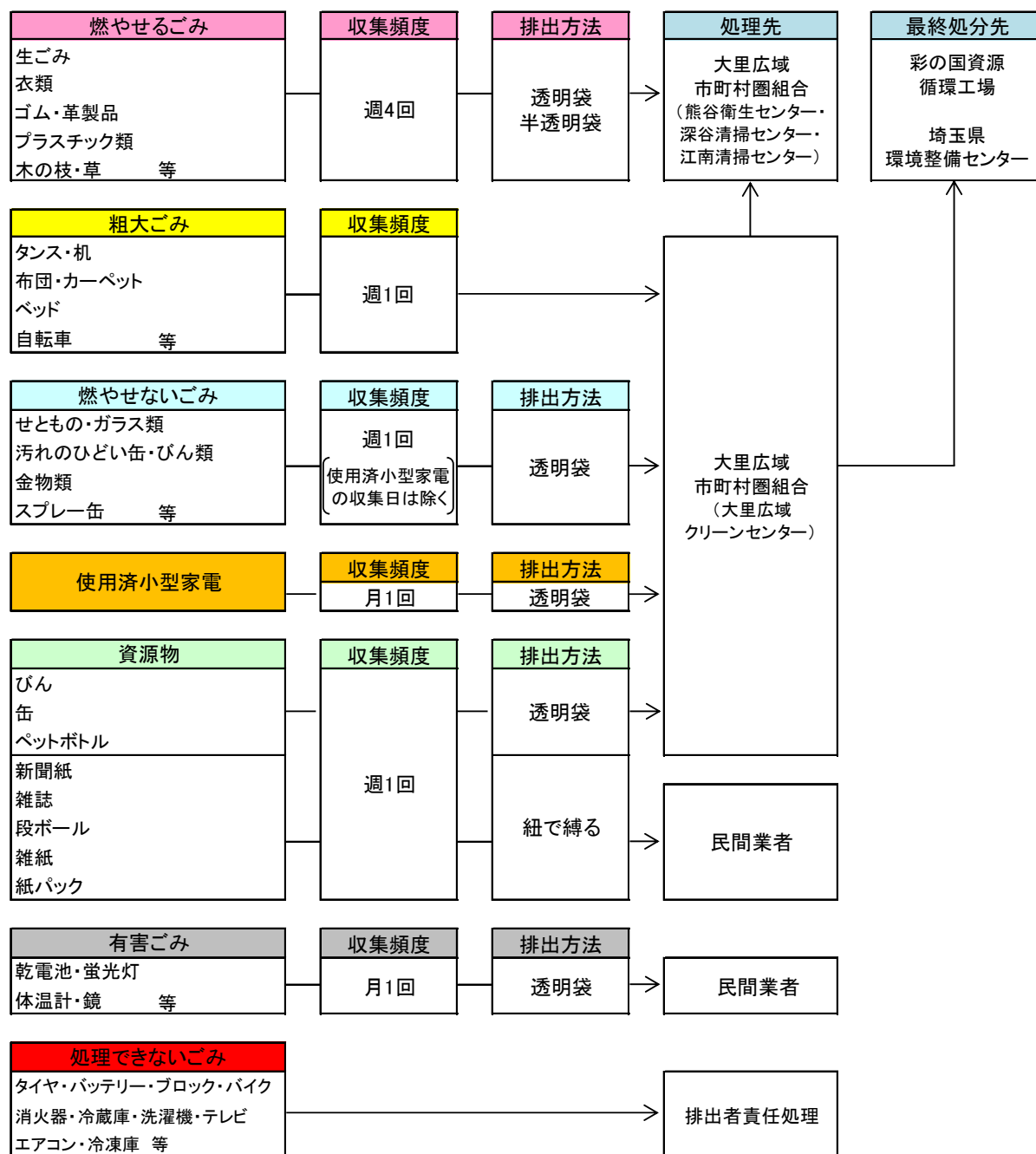


図 3-1 ごみ処理の流れ

## 2. 種類別ごみ排出量の実績

ごみ排出量全体としては減少傾向にあり、種類別でも燃やせるごみ、資源物、有害ごみ、集団回収は減少傾向にあります。燃やせないごみは、平成 25 年度から使用済小型家電（使用済小型電子機器）の段階的な収集を開始したことから、減少しつつあります。

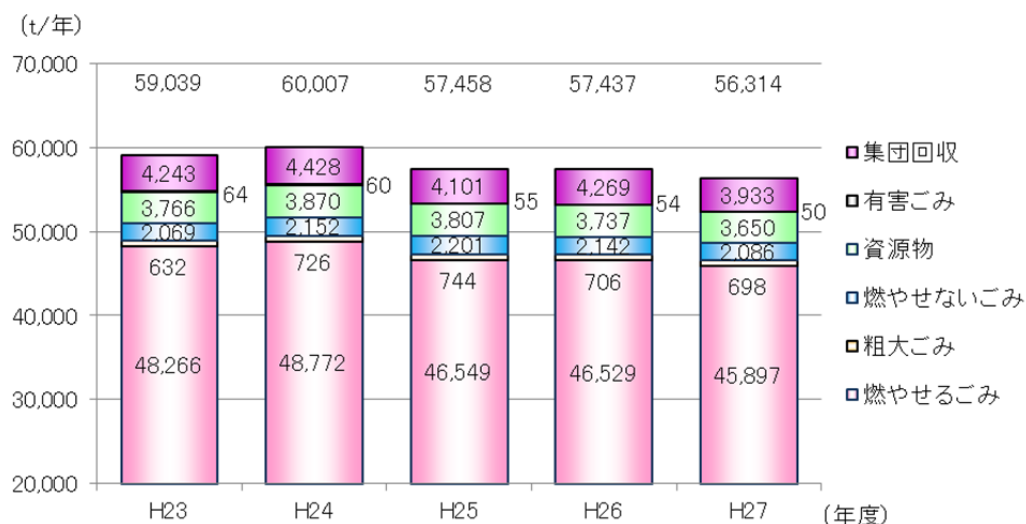


図 3-2 種類別排出量

※年間量は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

## 3. 排出形態別排出量の実績

家庭系ごみは平成 24 年度を境に減少傾向となり、平成 24 年度から平成 27 年度までに約 1,000t 減少しています。事業系ごみも減少傾向にあり、5 年間で約 2,600t 減少しています。

ごみ排出量は、一般的に経済水準の向上や好景気の継続によって増加し、不景気や資源の枯渇（オイルショックや経済封鎖等）によって減少する傾向があります。

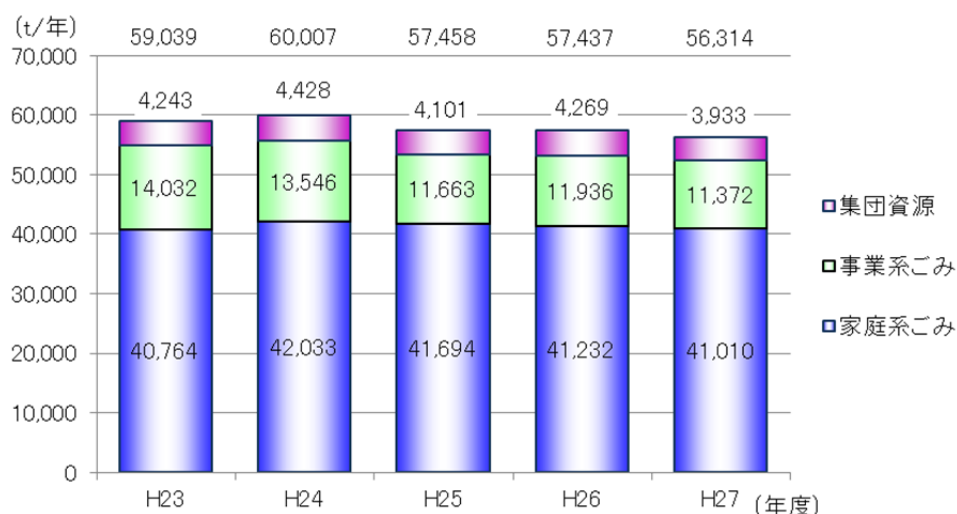


図 3-3 排出形態別排出量

※年間量は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

#### 4. 家庭系ごみ 1 人 1 日当たりの排出量の実績

1 人 1 日当たりの総排出量は平成 24 年度から減少し、横ばい傾向から減少に転じています。なお、平成 24 年度から平成 27 年度にかけて 1 人 1 日当たり 60g 減少しています。

1 人 1 日当たりの家庭系ごみは近年横ばい傾向にあります。過去 5 年間では 1 人 1 日当たり 16g 増加しています。1 人 1 日当たりの集団回収は 5 年間で 5g 減少しています。

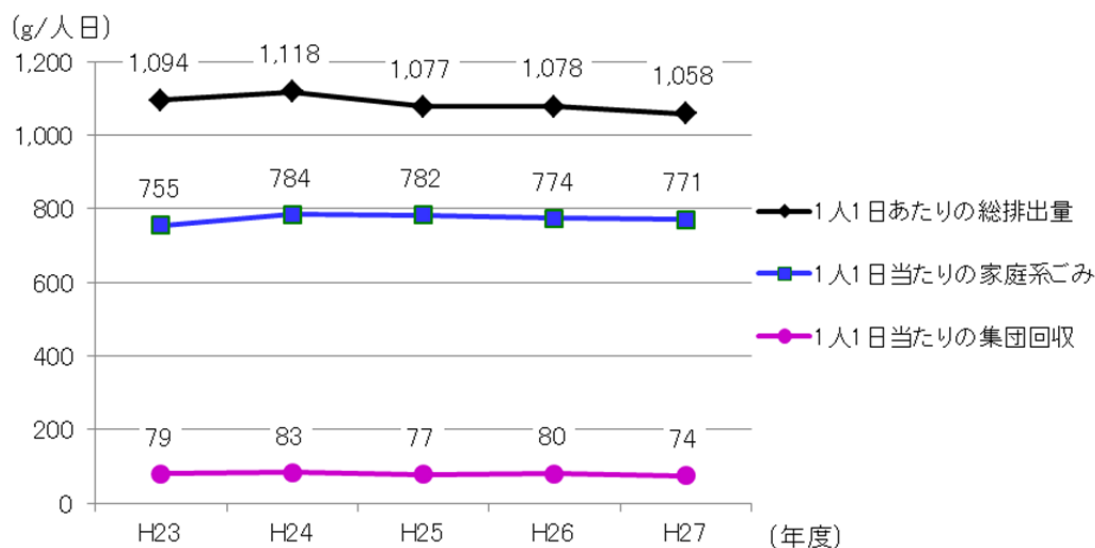


図 3-4 1 人 1 日当たりの排出量

※1 人 1 日当たりの総排出量＝総排出量(家庭系、事業系、集団回収)／人口(各年度末)／年間日数

1 人 1 日当たりの家庭系ごみ＝家庭系ごみ(集団回収除く)／人口／年間日数

1 人 1 日当たりの集団回収＝集団回収／人口／年間日数

#### 5. 事業系ごみ 1 日当たりの排出量の実績

事業系ごみは平成 23 年度から平成 25 年度にかけて減少しましたが、近年では横ばい傾向にあります。過去 5 年間では 1 日当たり 2 割減少しています。

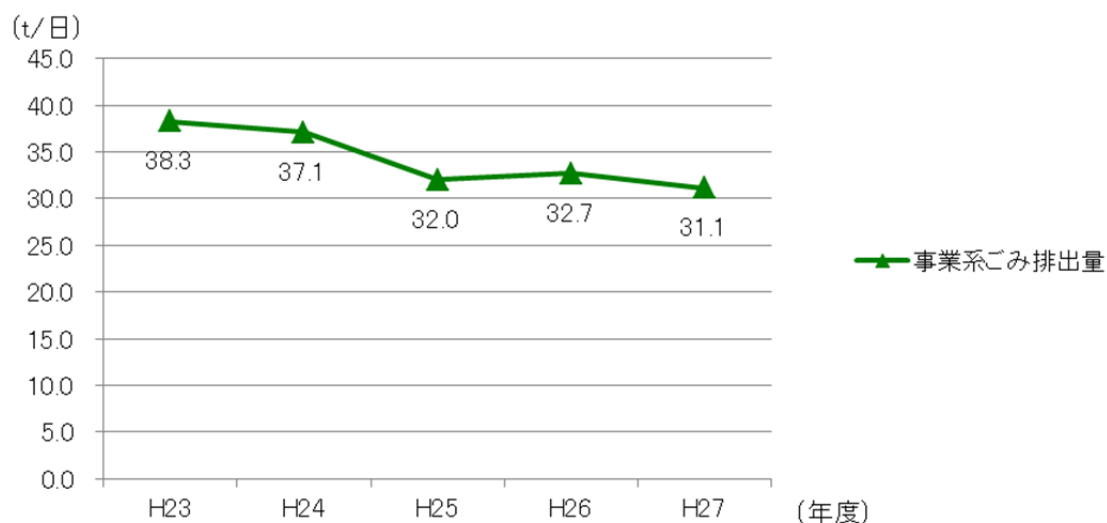


図 3-5 1 日当たりの排出量

※1 日当たりの事業系ごみ＝事業系ごみ／年間日数

## 6. 中間処理の実績

深谷市の焼却処理量<sup>4</sup>を図 3-6、資源化量とリサイクル率を図 3-7 に示します。

分別された燃やせるごみや可燃性粗大ごみは熊谷衛生センター、江南清掃センター、深谷清掃センターで焼却処理を行っています。焼却処理量は 5 年間で約 2,300t 減少しています。

資源として回収しているものは、分別収集された資源物（紙類、びん類、缶類、ペットボトル、使用済小型家電）と集団回収（紙類、布類、びん類、金属類）、大里広域クリーンセンターに搬入した燃やせないごみから回収される金属類があります。

これら資源物の他に焼却残渣をセメント原料として資源化し、不燃ごみ等の破碎処理後の金属等を有価物として回収しています。資源化率は 24%以上を維持しており、平成 26 年度のリサイクル率は 29%となりました。これは、基幹改良工事のため焼却処理の一部を委託し、資源化したためです。平成 27 年度は委託量が減少し、リサイクル率は 25%となりました。

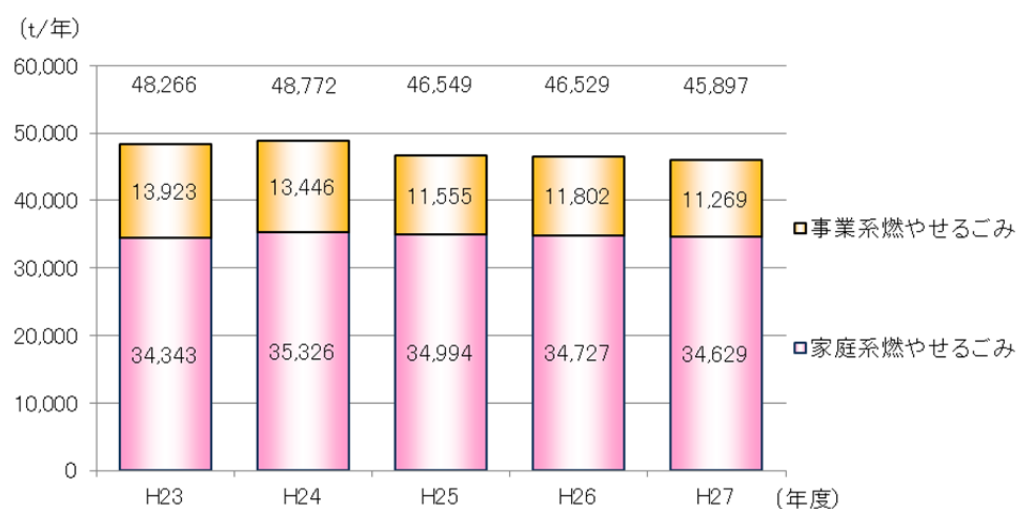


図 3-6 焼却処理量

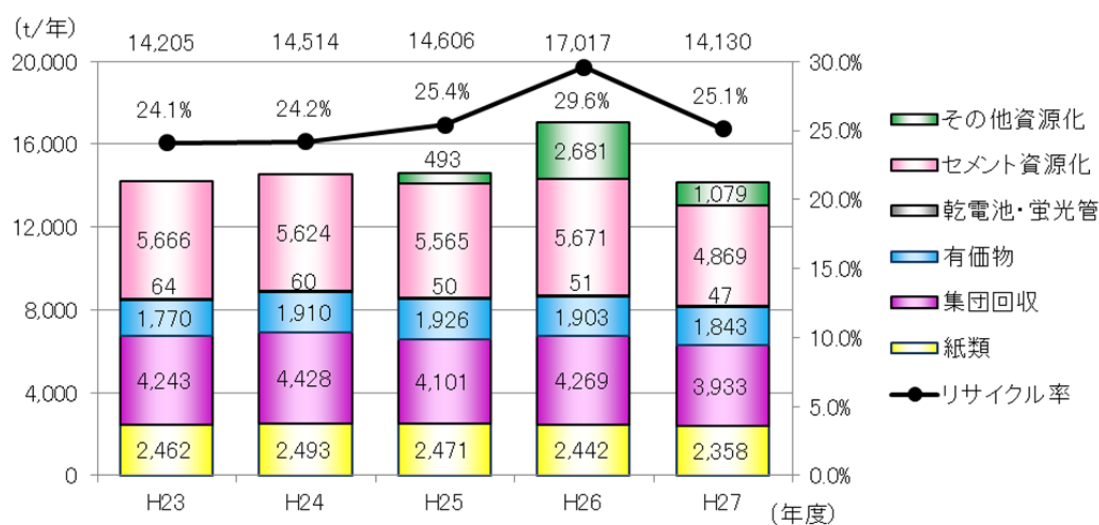


図 3-7 資源化量

※リサイクル率＝資源化量／総排出量

<sup>4</sup> 破碎処理による可燃残渣は含みません。

## 7. 最終処分の実績

組合で処理後に発生する不燃残渣は、埼玉県環境整備センターにおいて埋立処分しています。平成 27 年度の最終処分量は 1,203t、1 人 1 日当たりの最終処分量は 23g であり、全国平均は 92g（一般廃棄物処理実態調査結果 平成 26 年度）となっています。焼却残渣や処理残渣を全量埋立処分しているところが多いと考えられますが、深谷市ではそれらを積極的に資源化していることから、最終処分量は極めて低くなっています。

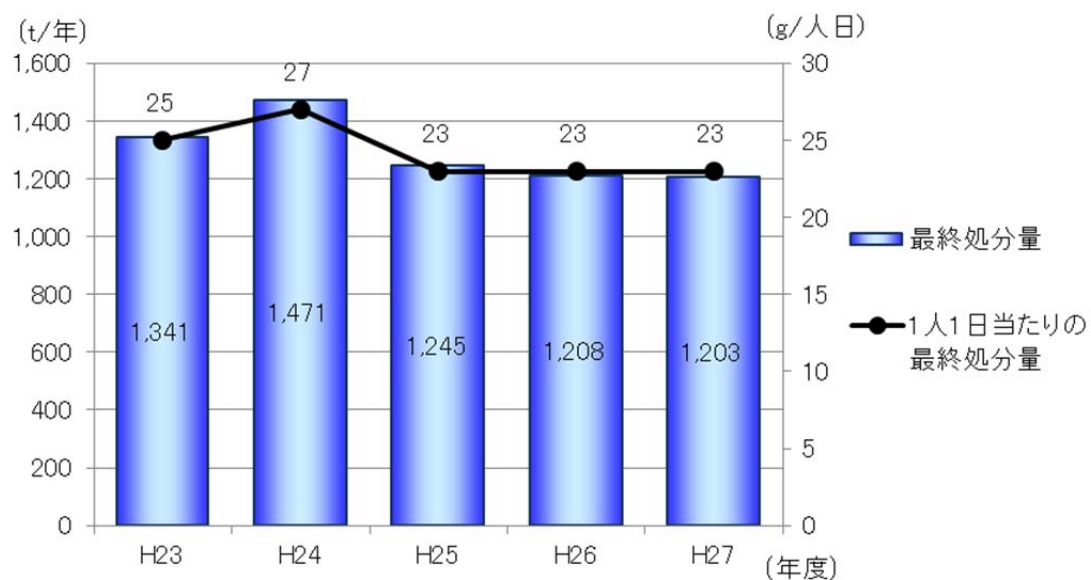


図 3-8 最終処分量

※1 人 1 日当たりの最終処分量＝最終処分量／人口(各年度末)／年間日数

## 8. ごみの性状

各施設における燃やせるごみの組成分析結果を以下に示します。

乾ベース<sup>5</sup>の場合、紙、布類は燃やせるごみの半分近くを占めていることが多くなっています。プラスチック、ゴム、皮革類は各施設で20%以上含まれていることが多く、施設によっては30%以上占めていることがあります。

ちゅう芥類（生ごみ）は施設や年度によって異なりますが、熊谷衛生センター第一工場では4%から21%程度、熊谷衛生センター第二工場では1%から24%程度含まれています。深谷清掃センターでは10%から15%程度、江南清掃センターでは11%から21%程度含まれています。

ちゅう芥類（生ごみ）は湿ベース<sup>6</sup>に換算すると、水分が加わるため質量が増え、熊谷衛生センター第一工場では9%から41%程度、熊谷衛生センター第二工場では2%から45%程度含まれています。深谷清掃センターでは22%から31%程度、江南清掃センターでは24%から41%程度になります。

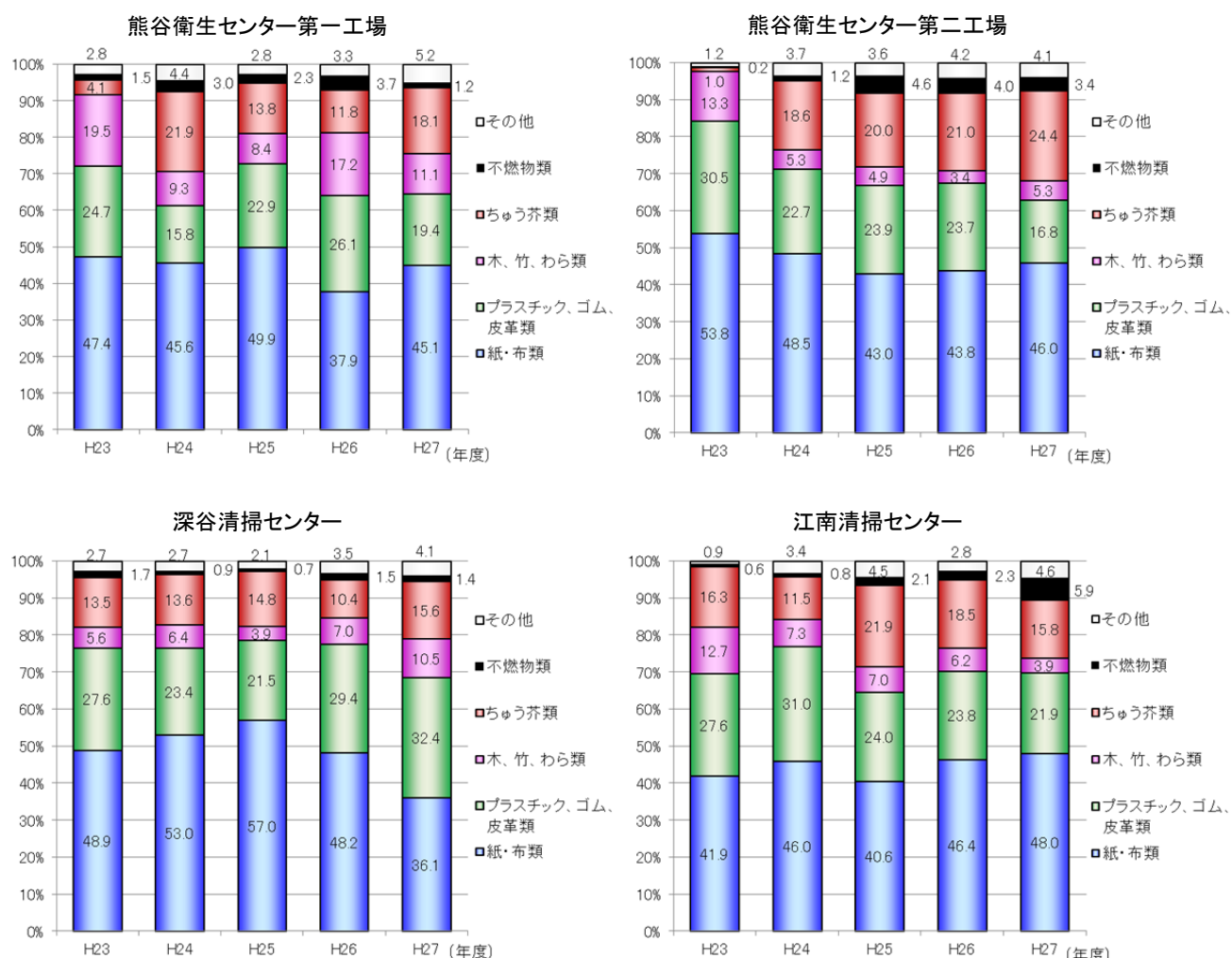


図 3-9 焼却施設のごみ組成分析結果（乾ベース）

<sup>5</sup> 試料を乾燥させ、項目ごとに分別し、割合を算出したものです。水分は乾燥の前後の重量から求めます。

<sup>6</sup> 実際のごみには水分（組成ごとに含水率は異なる）が含まれているため、乾ベースの結果に水分を割り戻し算出したものです。

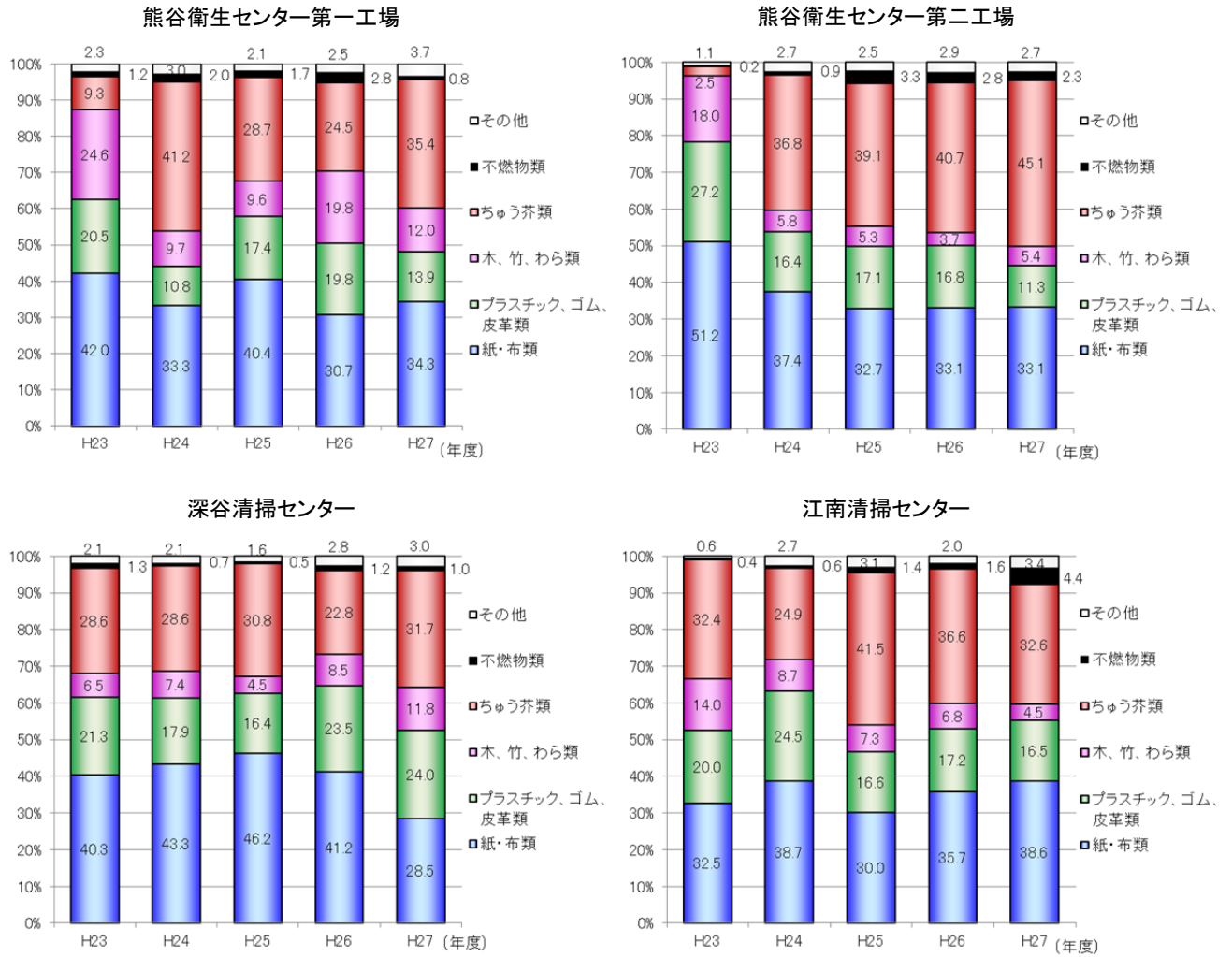


図 3-10 焼却施設のごみ組成分析結果（湿ベース）

表 3-1 組成分析結果

| 項目          |                   |   | 平成23年度               |                      |              |              | 平成24年度               |                      |              |              |
|-------------|-------------------|---|----------------------|----------------------|--------------|--------------|----------------------|----------------------|--------------|--------------|
|             |                   |   | 熊谷衛生<br>センター<br>第一工場 | 熊谷衛生<br>センター<br>第二工場 | 深谷清掃<br>センター | 江南清掃<br>センター | 熊谷衛生<br>センター<br>第一工場 | 熊谷衛生<br>センター<br>第二工場 | 深谷清掃<br>センター | 江南清掃<br>センター |
| 組成分析<br>(乾) | 紙・布類              | % | 47.4                 | 53.8                 | 48.9         | 41.9         | 45.6                 | 48.5                 | 53.0         | 46.0         |
|             | プラスチック、ゴム、<br>皮革類 | % | 24.7                 | 30.5                 | 27.6         | 27.6         | 15.8                 | 22.7                 | 23.4         | 31.0         |
|             | 木、竹、わら類           | % | 19.5                 | 13.3                 | 5.6          | 12.7         | 9.3                  | 5.3                  | 6.4          | 7.3          |
|             | ちゅう芥類             | % | 4.1                  | 1.0                  | 13.5         | 16.3         | 21.9                 | 18.6                 | 13.6         | 11.5         |
|             | 不燃物類              | % | 1.5                  | 0.2                  | 1.7          | 0.6          | 3.0                  | 1.2                  | 0.9          | 0.8          |
|             | その他               | % | 2.8                  | 1.2                  | 2.7          | 0.9          | 4.4                  | 3.7                  | 2.7          | 3.4          |
|             | 水分                | % | 39.3                 | 38.7                 | 44.9         | 47.8         | 46.7                 | 45.0                 | 51.6         | 46.1         |
| 組成分析<br>(湿) | 紙・布類              | % | 42.0                 | 51.2                 | 40.3         | 32.5         | 33.3                 | 37.4                 | 43.3         | 38.7         |
|             | プラスチック、ゴム、<br>皮革類 | % | 20.5                 | 27.2                 | 21.3         | 20.0         | 10.8                 | 16.4                 | 17.9         | 24.5         |
|             | 木、竹、わら類           | % | 24.6                 | 18.0                 | 6.5          | 14.0         | 9.7                  | 5.8                  | 7.4          | 8.7          |
|             | ちゅう芥類             | % | 9.3                  | 2.5                  | 28.6         | 32.4         | 41.2                 | 36.8                 | 28.6         | 24.9         |
|             | 不燃物類              | % | 1.2                  | 0.2                  | 1.3          | 0.4          | 2.0                  | 0.9                  | 0.7          | 0.6          |
|             | その他               | % | 2.3                  | 1.1                  | 2.1          | 0.6          | 3.0                  | 2.7                  | 2.1          | 2.7          |
|             | 水分                | % | 39.3                 | 38.7                 | 44.9         | 47.8         | 46.7                 | 45.0                 | 51.6         | 46.1         |
| 三成分         | 可燃物               | % | 53.6                 | 56.6                 | 49.8         | 47.1         | 48.0                 | 48.8                 | 42.7         | 48.6         |
|             | 灰分                | % | 7.1                  | 4.7                  | 5.3          | 5.1          | 5.3                  | 6.2                  | 5.7          | 5.3          |

| 項目          |                   |   | 平成25年度               |                      |              |              | 平成26年度               |                      |              |              |
|-------------|-------------------|---|----------------------|----------------------|--------------|--------------|----------------------|----------------------|--------------|--------------|
|             |                   |   | 熊谷衛生<br>センター<br>第一工場 | 熊谷衛生<br>センター<br>第二工場 | 深谷清掃<br>センター | 江南清掃<br>センター | 熊谷衛生<br>センター<br>第一工場 | 熊谷衛生<br>センター<br>第二工場 | 深谷清掃<br>センター | 江南清掃<br>センター |
| 組成分析<br>(乾) | 紙・布類              | % | 49.9                 | 43.0                 | 57.0         | 40.6         | 37.9                 | 43.8                 | 48.2         | 46.4         |
|             | プラスチック、ゴム、<br>皮革類 | % | 22.9                 | 23.9                 | 21.5         | 24.0         | 26.1                 | 23.7                 | 29.4         | 23.8         |
|             | 木、竹、わら類           | % | 8.4                  | 4.9                  | 3.9          | 7.0          | 17.2                 | 3.4                  | 7.0          | 6.2          |
|             | ちゅう芥類             | % | 13.8                 | 20.0                 | 14.8         | 21.9         | 11.8                 | 21.0                 | 10.4         | 18.5         |
|             | 不燃物類              | % | 2.3                  | 4.6                  | 0.7          | 2.1          | 3.7                  | 4.0                  | 1.5          | 2.3          |
|             | その他               | % | 2.8                  | 3.6                  | 2.1          | 4.5          | 3.3                  | 4.2                  | 3.5          | 2.8          |
|             | 水分                | % | 41.4                 | 41.7                 | 47.6         | 45.2         | 35.3                 | 41.6                 | 39.6         | 46.9         |
| 組成分析<br>(湿) | 紙・布類              | % | 40.4                 | 32.7                 | 46.2         | 30.0         | 30.7                 | 33.1                 | 41.2         | 35.7         |
|             | プラスチック、ゴム、<br>皮革類 | % | 17.4                 | 17.1                 | 16.4         | 16.6         | 19.8                 | 16.8                 | 23.5         | 17.2         |
|             | 木、竹、わら類           | % | 9.6                  | 5.3                  | 4.5          | 7.3          | 19.8                 | 3.7                  | 8.5          | 6.8          |
|             | ちゅう芥類             | % | 28.7                 | 39.1                 | 30.8         | 41.5         | 24.5                 | 40.7                 | 22.8         | 36.6         |
|             | 不燃物類              | % | 1.7                  | 3.3                  | 0.5          | 1.4          | 2.8                  | 2.8                  | 1.2          | 1.6          |
|             | その他               | % | 2.1                  | 2.5                  | 1.6          | 3.1          | 2.5                  | 2.9                  | 2.8          | 2.0          |
|             | 水分                | % | 41.4                 | 41.7                 | 47.6         | 45.2         | 35.3                 | 41.6                 | 39.6         | 46.9         |
| 三成分         | 可燃物               | % | 52.0                 | 50.6                 | 47.5         | 48.3         | 55.6                 | 50.8                 | 54.6         | 47.0         |
|             | 灰分                | % | 6.6                  | 7.7                  | 5.0          | 6.5          | 9.1                  | 7.6                  | 5.9          | 6.1          |

| 項目          |                   |   | 平成27年度               |                      |              |              |
|-------------|-------------------|---|----------------------|----------------------|--------------|--------------|
|             |                   |   | 熊谷衛生<br>センター<br>第一工場 | 熊谷衛生<br>センター<br>第二工場 | 深谷清掃<br>センター | 江南清掃<br>センター |
| 組成分析<br>(乾) | 紙・布類              | % | 45.1                 | 46.0                 | 36.1         | 48.0         |
|             | プラスチック、ゴム、<br>皮革類 | % | 19.4                 | 16.8                 | 32.4         | 21.9         |
|             | 木、竹、わら類           | % | 11.1                 | 5.3                  | 10.5         | 3.9          |
|             | ちゅう芥類             | % | 18.1                 | 24.4                 | 15.6         | 15.8         |
|             | 不燃物類              | % | 1.2                  | 3.4                  | 1.4          | 5.9          |
|             | その他               | % | 5.2                  | 4.1                  | 4.1          | 4.6          |
|             | 水分                | % | 38.5                 | 48.0                 | 47.3         | 43.6         |
| 組成分析<br>(湿) | 紙・布類              | % | 34.3                 | 33.1                 | 28.5         | 38.6         |
|             | プラスチック、ゴム、<br>皮革類 | % | 13.9                 | 11.3                 | 24.0         | 16.5         |
|             | 木、竹、わら類           | % | 12.0                 | 5.4                  | 11.8         | 4.5          |
|             | ちゅう芥類             | % | 35.4                 | 45.1                 | 31.7         | 32.6         |
|             | 不燃物類              | % | 0.8                  | 2.3                  | 1.0          | 4.4          |
|             | その他               | % | 3.7                  | 2.7                  | 3.0          | 3.4          |
|             | 水分                | % | 38.5                 | 48.0                 | 47.3         | 43.6         |
| 三成分         | 可燃物               | % | 54.2                 | 44.4                 | 47.0         | 47.8         |
|             | 灰分                | % | 7.4                  | 7.6                  | 5.8          | 8.7          |

資料：一般廃棄物処理実態調査結果及び組合資料

※組成分析(湿)は組成分析(乾)及び「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査の概要(平成27年度)」(環境省)を参考に算出しています。

大里広域市町村圏組合、さいたま市、児玉郡市広域市町村圏組合、伊勢崎市、太田市の組成分析結果の平均値と組合における各施設の5年間の平均値の比較結果を示します。

組合ではちゅう芥類（生ごみ）の割合が多くなっています。

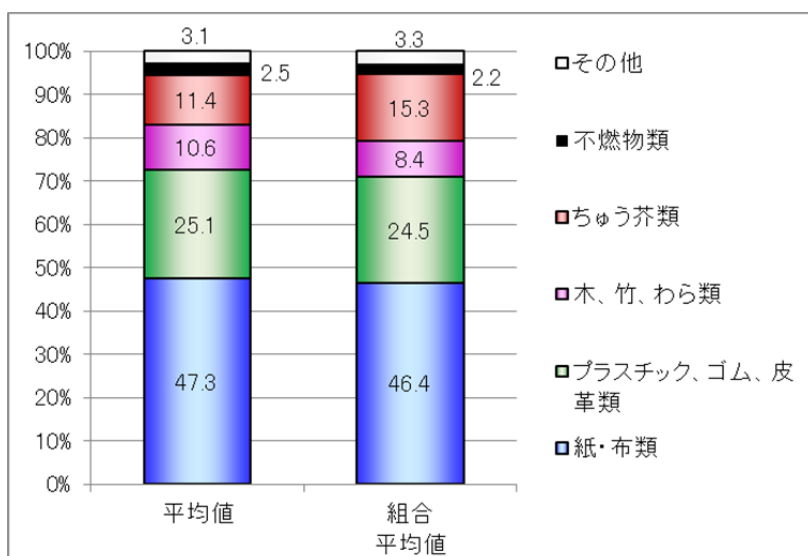


図 3-11 組成分析結果の比較

表 3-2 組成分析結果の比較

|               |         | H22   | H23    | H24   | H25    | H26   | 平均値   | 組合平均値 |
|---------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| ごみ組成分析結果      | (%)     | 100.0 | 100.0  | 100.0 | 100.0  | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 紙・布類          | (%)     | 48.0  | 50.1   | 48.6  | 45.5   | 44.4  | 47.3  | 46.4  |
| プラスチック、ゴム、皮革類 | (%)     | 26.0  | 25.5   | 24.3  | 25.4   | 24.5  | 25.1  | 24.5  |
| 木、竹、わら類       | (%)     | 12.7  | 11.7   | 9.3   | 9.6    | 9.7   | 10.6  | 8.4   |
| ちゅう芥類         | (%)     | 9.0   | 8.5    | 12.8  | 13.9   | 12.7  | 11.4  | 15.3  |
| 不燃物類          | (%)     | 2.4   | 2.0    | 1.8   | 2.5    | 3.8   | 2.5   | 2.2   |
| その他           | (%)     | 2.0   | 2.3    | 3.2   | 3.2    | 4.8   | 3.1   | 3.3   |
| 単位容積重量        | (kg/m³) | 167.0 | 170.0  | 163.0 | 154.0  | 161.0 | 163.0 | 160.5 |
| 三成分           | (%)     | 100.0 | 100.0  | 100.0 | 100.0  | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 水分            | (%)     | 44.4  | 43.6   | 45.8  | 44.2   | 43.8  | 44.4  | 43.8  |
| 可燃分           | (%)     | 49.4  | 46.3   | 48.5  | 49.5   | 48.2  | 48.4  | 49.8  |
| 灰分            | (%)     | 6.1   | 10.1   | 5.7   | 6.3    | 8.0   | 7.2   | 6.4   |
| 低位発熱量(計算値)    | (kJ/kg) | 8,214 | 8,496  | 8,072 | 8,231  | 8,028 | 8,208 | 8,292 |
| 低位発熱量(実測値)    | (kJ/kg) | 9,138 | 11,451 | 9,771 | 10,163 | 8,752 | 9,855 |       |

資料：一般廃棄物処理実態調査結果及び組合資料

※各年度とも大里広域市町村圏組合、さいたま市、児玉郡市広域市町村圏組合、伊勢崎市、太田市の平均値

組合平均値は表 3-1 の平均値

なお、ごみ質調査は、非常に少ないサンプル量で行っており、誤差も大きいことから、必ずしもこの傾向が現状に合致するとは限りません。

## 第2項 ごみの減量化・再資源化

### 1. 資源化となるごみの分別収集

家庭系ごみでは、資源物としてびん、缶、ペットボトル、新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑紙を分別収集しています。収集量は平成24年度に約3,800tを回収していましたが、徐々に減少しています。また、使用済小型家電を段階的に収集しており、平成25年9月から市民による直接持ち込みを開始しました。次に、試験運用として平成26年10月から不燃ごみからの選別を開始し、平成28年度からはほかの分別品目と同様に収集日を定めて収集を開始しています。

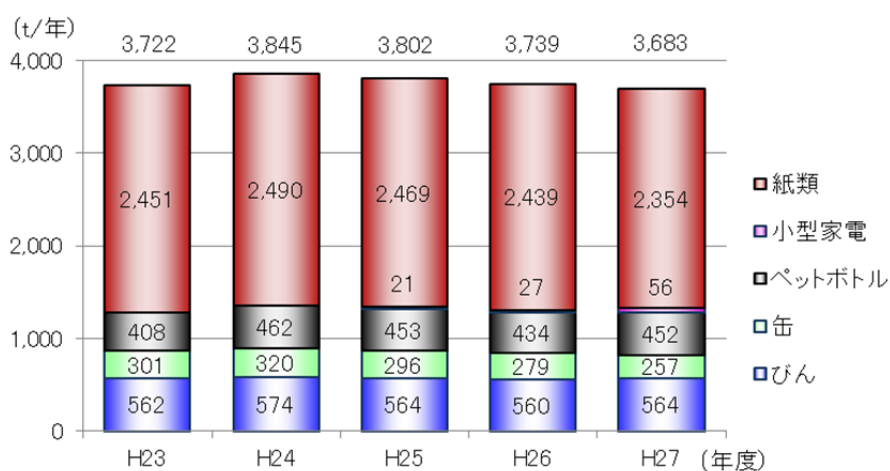


図 3-12 資源物等の収集

### 2. 市民団体による資源回収

深谷市では、ごみの減量化と資源の再利用を促進するために、資源を回収している市民団体に、回収した量に応じたりサイクル活動推進奨励金を交付しています。平成27年度は新聞や雑誌などの回収量の減少により、全体の回収量は約3,900tとなりました。

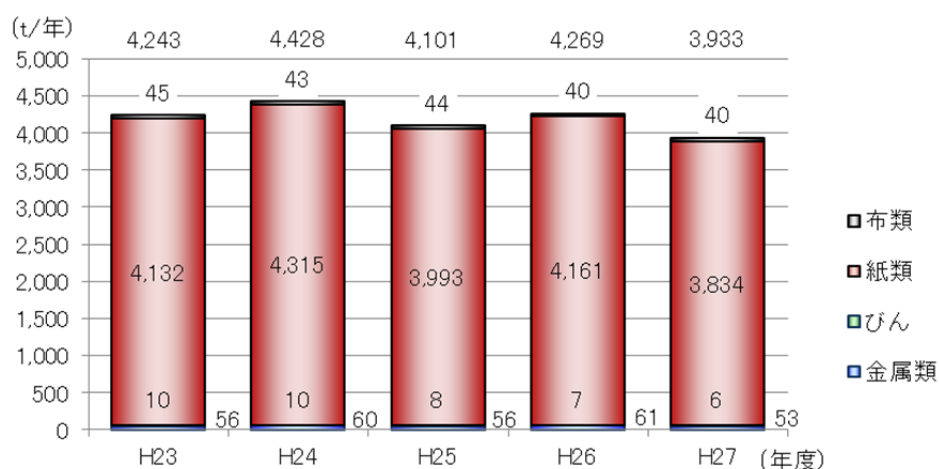


図 3-13 集団回収

表 3-3 集団回収

|      | H23   | H24   | H25   | H26   | H27   |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 集団資源 | 4,243 | 4,428 | 4,101 | 4,269 | 3,933 |
| 布類   | 45    | 43    | 44    | 40    | 40    |
| 紙類   | 4,132 | 4,315 | 3,993 | 4,161 | 3,834 |
| びん   | 10    | 10    | 8     | 7     | 6     |
| 金属類  | 56    | 60    | 56    | 61    | 53    |

### 3. 事業者による資源回収

事業系ごみのうち、資源物としてびん、缶、ペットボトル、雑紙を収集しています。

平成 23 年度は約 44t 回収していましたが、缶及び雑紙の収集量が減少したため、平成 27 年度は約 23t の回収となっています。

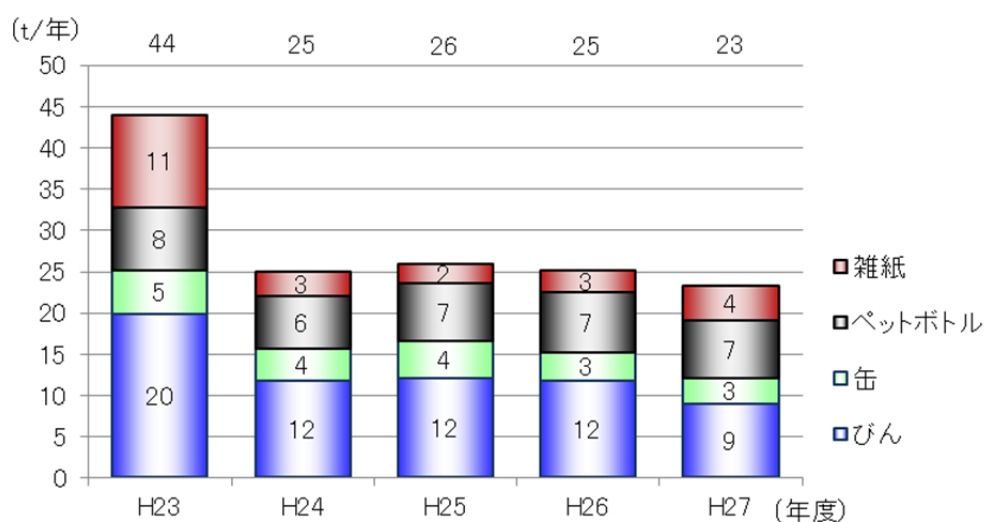


図 3-14 資源物等の収集

### 第3項 ごみ処理の体制

#### 1. 家庭系ごみの処理体制

家庭系ごみの分別区分は平成 19 年 4 月から統一して実施しており、収集運搬は委託で行っています。

燃やせないごみ及び使用済小型家電は、受け入れ先の大里広域クリーンセンターの処理能力の調整により、収集曜日が異なっています。

燃やせるごみの焼却は、深谷地区は深谷清掃センター及び熊谷衛生センターに、岡部地区は深谷清掃センターに、川本地区及び花園地区は江南清掃センターにそれぞれ搬入し焼却処理しています。焼却後に残る焼却灰や集塵灰は、セメント原料として資源化しています。

燃やせないごみや粗大ごみ、紙類を除く資源物は、大里広域クリーンセンターにおいて破碎処理・選別処理・保管を行い、不燃残渣については、一部を再資源化事業者へ委託・資源化し、一部を埋立処分しています。紙類は直接紙問屋に、使用済小型家電は認定事業者へ搬入し資源化しています。

なお、深谷清掃センターでは家庭系ごみの直接搬入を受け入れており、手数料は 50kg までは無料、50kg を超える量については 10kg 当たり 10 円としています。

表 3-4 収集運搬体制

| 項目\区分   | 家庭系                         | 事業系 |
|---------|-----------------------------|-----|
| 燃やせるごみ  | 委託                          | 許可  |
| 燃やせないごみ | 委託                          | 許可  |
| 資源物     | 委託                          | 許可  |
| 有害ごみ    | 委託                          | —   |
| 収集運搬    | 委託:12 業者<br>許可:87 業者        |     |
| 収集運搬車両  | 委託:収集車 84 台<br>許可:収集車 311 台 |     |

資料:環境衛生課(平成 28 年 12 月現在)

※収集運搬は紙資源収集運搬業者含みます。

表 3-5 家庭系ごみの分別収集状況

| 項目                                    | 収集曜日                                           |
|---------------------------------------|------------------------------------------------|
| 燃やせるごみ                                | 月、火、水、金曜日                                      |
| 粗大ごみ                                  | 火曜日                                            |
| 燃やせないごみ                               | 深谷地区：水曜日（第2水曜日は除く）<br>岡部・川本・花園地区：金曜日（第2金曜日は除く） |
| 使用済小型家電<br>（資源物）                      | 深谷地区：第2水曜日<br>岡部・花園・川本地区：第2金曜日                 |
| 資源物（缶類、びん類、ペットボトル、新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑紙） | 木曜日                                            |
| 有害ごみ                                  | 第3金曜日                                          |

資料：環境衛生課（平成 28 年 4 月現在）

表 3-6 埼玉県内市町村のごみ・資源物等の収集回数（平成 26 年度）

（単位：/月）

| 区分              | 無し     | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回<br>以上 | 不定期 | 合計 |
|-----------------|--------|----|----|----|----|----------|-----|----|
| 燃やせるごみ<br>（回／週） | 2      |    | 56 | 3  | 2  |          |     | 63 |
| 燃やせないごみ         | 2      | 20 | 28 | 1  | 11 | 1        |     | 63 |
| 粗大ごみ            |        | 8  | 8  | 1  | 5  | 4        |     | 63 |
| 資源物             | 缶類     | 2  | 9  | 39 | 2  | 10       | 1   | 63 |
|                 | びん類    | 3  | 10 | 38 | 2  | 10       |     | 63 |
|                 | ペットボトル | 2  | 5  | 43 | 1  | 12       |     | 63 |
|                 | 紙類     | 5  | 8  | 36 |    | 12       | 2   | 63 |

資料：環境省廃棄物処理技術情報一般廃棄物処理実態調査結果

## 2. 事業系ごみの処理体制

事業系ごみ（事業活動に伴って生じた一般廃棄物）は、ごみ収集所に出すことはできないため、事業者自らの責任において適正な処理をお願いしています。ただし、少量（10kg 未満）で且つごみ収集所の維持管理に参加できる地元商店等の零細事業者についてはごみ収集所への搬出を認めています。

なお、事業系ごみは熊谷衛生センター、深谷清掃センター、江南清掃センターに直接搬入することができ、手数料は 10kg につき 180 円としています。産業廃棄物の受入は行っていません。

### 3. 中間処理の状況

燃やせるごみ、燃やせないごみ及び紙類を除く資源物の中間処理は、現在、組合で行なわれています。中間処理施設の概要を以下に示します。

表 3-7 中間処理施設（燃やせるごみ）の概要

|      |                                                                                                                        |                                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・熊谷衛生センター                                                                                                   |                                                                                                                |
| 所在地  | 熊谷市大字西別府 583 番地 1                                                                                                      |                                                                                                                |
| 区分   | 第一工場                                                                                                                   | 第二工場                                                                                                           |
| 施設規模 | 140t/日 (70t/24h × 2 炉)                                                                                                 | 180t/日 (90t/24h × 2 炉)                                                                                         |
| 処理方式 | 全連続燃焼式(ストーカ式)                                                                                                          | 全連続燃焼式(ストーカ式)                                                                                                  |
| 建設年度 | 着工:昭和 53 年 10 月<br>竣工:昭和 55 年 3 月<br>改造工事<br>(ダイオキシン恒久対策)<br>平成 13 年度～平成 14 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)<br>平成 29 年度～30 年度(予定) | 着工:昭和 62 年 8 月<br>竣工:平成元年 8 月<br>改造工事<br>(ダイオキシン恒久対策)<br>平成 11 年度～平成 12 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)<br>平成 25 年度～26 年度 |
| 余熱利用 | 場内温水、場外温水                                                                                                              | 場内温水、場外温水                                                                                                      |

|      |                                                                                                           |  |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・江南清掃センター                                                                                      |  |
| 所在地  | 熊谷市千代 9 番地                                                                                                |  |
| 施設規模 | 100t/日 (50t/24h × 2 炉)                                                                                    |  |
| 処理方式 | 全連続燃焼式(ストーカ式)                                                                                             |  |
| 建設年度 | 着工:昭和 53 年 8 月<br>竣工:昭和 54 年 12 月<br>改造工事(ダイオキシン恒久対策)平成 13 年度～平成 14 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)平成 27 年度～平成 28 年度 |  |
| 余熱利用 | 場内温水、場外温水                                                                                                 |  |

|      |                                                                                                      |  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 施設名  | 大里広域市町村圏組合立・深谷清掃センター                                                                                 |  |
| 所在地  | 深谷市大字檜合 750 番地                                                                                       |  |
| 施設規模 | 120t/日 (60t/24h × 2 炉)                                                                               |  |
| 処理方式 | 全連続燃焼式(ストーカ式)                                                                                        |  |
| 建設年度 | 着工:平成元年 8 月<br>竣工:平成 4 年 3 月<br>改造工事(ダイオキシン恒久対策)平成 13 年度～平成 14 年度<br>基幹改良工事(長寿命化対策)平成 27 年度～平成 28 年度 |  |
| 余熱利用 | 場内温水、場外温水                                                                                            |  |

表 3-8 中間処理施設（燃やせないごみ）の概要

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 施 設 名   | 大里広域市町村圏組合立・大里広域クリーンセンター          |
| 所 在 地   | 熊谷市大字大麻生 200 番地 2                 |
| 施 設 規 模 | 60t/日（破碎能力：60t/5h、前処理設備：38.7t/5h） |
| 処 理 方 式 | 横型回転式                             |
| 建 設 年 度 | 着工：昭和 57 年 6 月<br>竣工：昭和 58 年 3 月  |

表 3-9 中間処理施設（ペットボトル）の概要

|         |                                          |
|---------|------------------------------------------|
| 施 設 名   | 大里広域市町村圏組合立・大里広域クリーンセンター内<br>ペットボトル減容化施設 |
| 所 在 地   | 熊谷市大字大麻生 200 番地 2                        |
| 施 設 規 模 | 4t/日（能力：4t/5h）                           |
| 処 理 方 式 | 手選別及び圧縮機                                 |
| 建 設 年 度 | 着工：平成 11 年 6 月、竣工：平成 11 年 12 月           |

#### 4. 最終処分状況

組合で燃やせるごみなどを焼却処理した後の焼却残渣は、民間委託によりセメント原料等に再利用しています。燃やせないごみや紙類を除く資源物は、選別や破碎処理後の資源物を民間委託によりリサイクルし、不燃残渣は埼玉県環境整備センターにおいて最終処分（埋立）しています。

埼玉県環境整備センターの概要を以下に示します。

表 3-10 最終処分場の概要

|                                              |                                                                          |                                 |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 名 称                                          | 埼玉県環境整備センター                                                              |                                 |
| 所 在 地                                        | 埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山、大字富田地内                                                    |                                 |
| 事 業 者                                        | 埼玉県                                                                      |                                 |
| 事 業 内 容                                      | 一般廃棄物及び産業廃棄物の最終処分（埋立処分）                                                  |                                 |
| 埋 立 の 期 間                                    | 平成元年 2 月から平成 43 年※3 月 31 日まで<br>※関係機関と県が締結した新協定により、平成 28 年から平成 43 年まで延長。 |                                 |
| 受 入 対 象                                      | 県内市町村、一部事務組合からの一般廃棄物                                                     |                                 |
|                                              | 中小企業等の県内で排出された産業廃棄物・建設残土                                                 |                                 |
| 規 模                                          | 敷地面積                                                                     | 約 137.4ha                       |
|                                              | 埋立面積                                                                     | 約 28.3ha                        |
|                                              | 埋立計画容量                                                                   | 約 275.8 万 m <sup>3</sup>        |
| 埋 立 廃 棄 物<br>（有害廃棄物を除いた<br>無機物を主体とした廃<br>棄物） | 一般廃棄物<br>（市町村等）                                                          | ごみ焼却灰                           |
|                                              |                                                                          | し尿処理場焼却灰                        |
|                                              |                                                                          | 不燃物                             |
|                                              | 産業廃棄物<br>（県、企業局、公社、中小<br>企業者、リサイクル推進<br>企業）                              | 燃え殻                             |
|                                              |                                                                          | 廃プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラス・<br>陶磁器くず |
|                                              |                                                                          | 鋤さい                             |
|                                              |                                                                          | がれき類                            |
|                                              | 建設残土                                                                     |                                 |

## 5. ごみ処理経費の状況

処理経費は平成 23 年度から平成 25 年度までは約 17 億円でしたが、平成 26 年度は基幹改良工事による組合分担金、その他の旧岡部環境センターの解体工事等が増えたことにより約 19 億円となりました。平成 27 年度は基幹改良工事による組合分担金が増えたため、約 18 億円となり、1 人当たりの処理経費は約 12,000 円、1t 当たりの処理経費は約 35,000 円となりました。

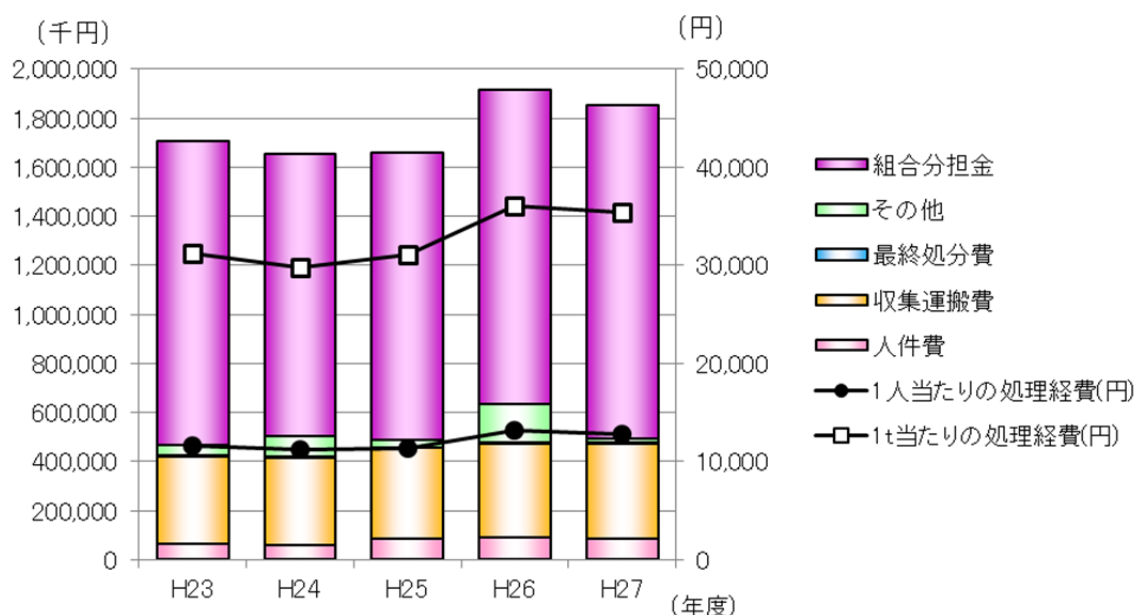


図 3-15 処理経費

## 6. 前計画によるごみ排出量の目標達成状況

平成 19 年 3 月に策定した深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画では、平成 28 年度における計画達成目標として、1 人 1 日当たりの総排出量（集団回収を除く）を 1,050g 以下と掲げていました。目標達成状況については、平成 27 年度現在で 1 人 1 日当たりの総排出量（集団回収を除く）は 984g となり、平成 28 年度においても目標を達成する見込みです。

## 第4項 ごみ処理の施策展開の現状

ごみの発生・排出抑制の施策、分別排出、収集運搬、中間処理、最終処分等の主な施策の実施状況や国、県の廃棄物に関する動向を以下に示します。

| 年               | 月日  | 深谷市の主な出来事                                                                                                                      | 年度  | 国・県の動向                                                 |
|-----------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------|
| H12             | 4月  | 大里広域市町村圏組合「ペットボトル減容化施設」稼働                                                                                                      | H12 | 廃棄物処理法大改正<br>リサイクル関連法の制定<br>第5次埼玉県廃棄物処理基本<br>計画策定      |
| H13             | 4月  | 熊谷衛生センター、深谷清掃センター、江南清<br>掃センターをそれぞれ熊谷市、深谷市、大里<br>南部環境福祉一部事務組合から移管                                                              |     |                                                        |
| H13年度<br>～H14年度 |     | 熊谷衛生センター排ガス高度処理施設整備<br>(16時間運転から24時間運転に移行)<br>深谷清掃センター排ガス高度処理施設整備<br>(24時間運転を継続)<br>江南清掃センター排ガス高度処理施設整備<br>(16時間運転から24時間運転に移行) |     |                                                        |
| H14             | 11月 | 岡部環境センター休止(岡部町)                                                                                                                |     |                                                        |
|                 |     |                                                                                                                                | H15 | パソコンリサイクル法による家<br>庭系パソコンの回収・リサイク<br>ル                  |
|                 |     |                                                                                                                                | H18 | 第6次埼玉県廃棄物処理基本<br>計画策定                                  |
| H19             | 3月  | 深谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画策定                                                                                                           |     |                                                        |
|                 | 4月  | 合併した市町の分別区分の統一<br>雑紙の分別収集開始<br>事業ごみ処理手数料の改定(130円/10kg→<br>150円/10kg)                                                           |     |                                                        |
|                 |     |                                                                                                                                | H22 | 第7次埼玉県廃棄物処理基本<br>計画策定                                  |
| H24年度           |     | 旧深谷市清掃センター煙突解体                                                                                                                 |     |                                                        |
| H25年度<br>～H26年度 |     | 旧岡部環境センター解体                                                                                                                    | H25 | 小型家電リサイクル法制定                                           |
| H25年度<br>～H26年度 |     | 熊谷衛生センター第二工場基幹改良工事(長<br>寿命化対策)                                                                                                 |     |                                                        |
| H27年度<br>～H28年度 |     | 深谷清掃センター基幹改良工事(長寿命化対<br>策)<br>江南清掃センター基幹改良工事(長寿命化対<br>策)                                                                       | H27 | 災害廃棄物処理に関する指針<br>の策定(災害対策基本法)<br>第8次埼玉県廃棄物処理基本<br>計画策定 |
| H28             | 4月  | 使用済小型家電の分別収集開始<br>事業ごみ処理手数料の改定(150円/10kg→<br>180円/10kg)                                                                        |     |                                                        |

## 第5項 課題の抽出

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>1. 排出抑制に関する課題</b></p> <p>家庭系ごみや事業系ごみは減少傾向にあり、1人1日当たりの排出量や1人1日当たりの家庭系ごみも減少しています。引き続き、循環型社会の形成をめざし、更なる排出抑制、分別の徹底が求められます。</p> <p>深谷市では、排出抑制や資源化施策が導入されていますが、現状の施策のままでは、今後の排出量の減量化や資源化に有効な決め手を欠いており、長期的には家庭系ごみの従量制による有料化を検討していく必要があります。</p> <p>近隣市町と組合の組成分析結果を比較すると、ちゅう芥類（生ごみ）の割合が多くなっており、食べ残しや余分な食材の購入を減らすことが求められます。また、土地利用状況から見て農用地が多く、各家庭で堆肥を活用しやすい状況であることから、コンポスト容器等を利用した生ごみの減量化を進めることが求められます。</p> |
| <p><b>2. 資源化に関する課題</b></p> <p>分別が進んでいるものの、雑紙などは燃やせるごみに含まれており、更なる分別の徹底が求められます。</p> <p>資源物や集団回収は減少しており、平成27年度のリサイクル率は25.1%となりました。循環型社会を形成するためにも、市民、事業者と一体となって取り組み、燃やせないごみ、資源物の分別の徹底や剪定枝など新たな分別区分の追加等によりリサイクル率の増加が求められます。</p>                                                                                                                                                                               |
| <p><b>3. 収集運搬に関する課題</b></p> <p>収集運搬量は人口の減少に伴って減少することが想定されますが、収集運搬費は増加傾向にあり、収集運搬費を削減しながら、ごみ収集量に応じた効率的な収集体制を構築していく必要があります。</p> <p>また、組合の構成市町では、分別区分を独自に取り決めているため、統一に向けた検討が必要です。</p>                                                                                                                                                                                                                        |
| <p><b>4. 収集不適ごみに関する課題</b></p> <p>消火器やバッテリーなどの適正処理困難物は、組合の施設では処理できないため、購入店などでの引き取りや専門処理業者へ処分を依頼するよう、指導していますが、収集ごみに混入していることがあります。処理不適ごみの混入は、収集や処理を進める上でも支障を来すため、市民への指導が必要です。</p> <p>また、家電リサイクル法で定められている特定家電品や大型のごみなど、収集できないごみに関しては、排出方法の周知を徹底する必要があります。</p>                                                                                                                                                |
| <p><b>5. 中間処理に関する課題</b></p> <p>組合が管理する中間処理施設は老朽化が進行しており、順次、基幹的設備改良工事を行っていますが、現在の施設を将来にわたり長期間使用することは難しいため、新たな施設整備を含め検討する必要があります。</p> <p>また、燃やせないごみ・粗大ごみ・資源物は、大里広域クリーンセンターへ搬入する前に、深谷市のストックヤードで一時保管していますが、市民も直接搬入しているストックヤードは建設後40年以上経過し、老朽化が進んでいることから、更新を含めた検討が必要です。</p>                                                                                                                                   |
| <p><b>6. 最終処分に関する課題</b></p> <p>組合から発生する焼却残渣や破碎残渣は、セメント原料等の再生資源とし、最終処分量の抑制に努めています。今後ともごみの減量化に努め、最終処分量を極力削減する必要があります。また、リサイクルを推進し最終処分量を減らすとともに、将来にわたり、安定的な最終処分ができるよう処分先の検討も必要です。</p>                                                                                                                                                                                                                       |

## 第 6 項 ごみ処理の評価

環境省の「市町村一般廃棄物処理システム比較分析評価支援ツール（平成26年度実績版）」を利用し、県北7市町（深谷市、熊谷市、寄居市、本庄市、美里町、神川町、上里町）、さいたま市、群馬県伊勢崎市、太田市（以下、「比較対象市町」という。）で比較した結果を示します。

深谷市は、「廃棄物からの資源回収率（セメント資源化量を含まない）」は比較対象市町の平均より高くなっています。また、焼却灰をセメント資源化しているため、「廃棄物のうち最終処分される割合」は平均より低くなっています。

しかし、「人口1人1日当たりごみ総排出量」、「人口1人当たりの年間処理経費」、「最終処分減量に要する費用」は比較対象市町と比べ、高くなっています。

表 3-11 比較対象市町との比較結果

|       | 人口<br>(人) | 人口1人1日<br>当たりごみ総<br>排出量<br>(kg/人・日) | 廃棄物からの<br>資源回収率<br>(RDF・セメント<br>原料化等除く)<br>(t/t) | 廃棄物のうち<br>最終処分され<br>る割合<br>(t/t) | 人口1人当<br>たり年間処理経<br>費<br>(円/人・年) | 最終処分減<br>量に要する費<br>用<br>(円/t) |
|-------|-----------|-------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 深谷市   | 145,918   | 1.078                               | 0.151                                            | 0.021                            | 12,028                           | 31,155                        |
| さいたま市 | 1,259,858 | 0.928                               | 0.201                                            | 0.061                            | 11,453                           | 34,719                        |
| 熊谷市   | 201,787   | 1.167                               | 0.137                                            | 0.018                            | 13,324                           | 30,680                        |
| 本庄市   | 79,502    | 1.161                               | 0.144                                            | 0.036                            | 9,912                            | 23,102                        |
| 美里町   | 11,602    | 0.993                               | 0.099                                            | 0.037                            | 8,760                            | 23,310                        |
| 神川町   | 14,166    | 0.900                               | 0.095                                            | 0.037                            | 10,689                           | 31,774                        |
| 上里町   | 31,481    | 0.958                               | 0.156                                            | 0.035                            | 8,618                            | 24,154                        |
| 寄居町   | 35,312    | 0.850                               | 0.150                                            | 0.021                            | 14,809                           | 47,962                        |
| 伊勢崎市  | 211,196   | 1.004                               | 0.107                                            | 0.104                            | 7,501                            | 21,780                        |
| 太田市   | 221,988   | 1.044                               | 0.208                                            | 0.046                            | 10,198                           | 26,151                        |
| 平均値   |           | 1.008                               | 0.145                                            | 0.042                            | 10,729                           | 29,479                        |
| 最大値   |           | 1.167                               | 0.208                                            | 0.104                            | 14,809                           | 47,962                        |
| 最小値   |           | 0.850                               | 0.095                                            | 0.018                            | 7,501                            | 21,780                        |

資料：平成 26 年度一般廃棄物処理実態調査結果

| 指標                              | 算出式                                                                                      | 単位     |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 人口1人1日当たりごみ総排出量                 | $\text{= ごみ総排出量} \div 365(\text{or } 366) \div \text{計画収集人口} \times 10^3$                | kg/人・日 |
| 廃棄物からの資源回収率<br>(RDF・セメント原料化等除く) | $\text{= 資源化量} \div \text{ごみ総排出量}$                                                       | t/t    |
| 廃棄物のうち最終処分される割合                 | $\text{= 最終処分量} \div \text{ごみ総排出量}$                                                      | t/t    |
| 人口1人当たり年間処理経費                   | $\text{= 処理及び維持管理費} \div \text{計画収集人口}$                                                  | 円/人・年  |
| 最終処分減量に要する費用                    | $\text{= (処理及び維持管理費} - \text{最終処分費} - \text{調査研究費)} \div (\text{ごみ総排出量} - \text{最終処分量})$ | 円/t    |

## 第4章 ごみ処理基本計画

### 第1項 基本方針

基本方針は、これまで述べた課題の解決に向けて、深谷市において最も有効かつ適切に実現するための基本的な方向性を示すものです。本計画の基本方針を以下のように定めます。

#### 基本方針Ⅰ：3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

優先的に2R（リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用））に取り組み、その次にリサイクル（再生利用）に取り組むことで、市民、事業者が参加しやすい循環型社会の形成を目指します。リサイクルにおいては、回収できる資源化量の更なる拡大と、より高品質なリサイクルを目指します。

#### 基本方針Ⅱ：循環型社会づくりに向けた協働の推進

循環型社会づくりのため、市民・事業者・行政のそれぞれがごみや環境に配慮した生活や事業活動を営むとともに、3者が協働してごみの減量、資源の有効活用、適正処理を進めます。

#### 基本方針Ⅲ：適正処理の推進

ごみの収集運搬、中間処理、最終処分にあたっては、発生する環境負荷をできる限り軽減するとともに、ごみ処理に関する市民サービスを充実し、組合や構成市町と連携しながら自然環境や生活環境に安心・安全なごみ処理を推進します。

## 第2項 ごみの発生・排出抑制の方策

### 1. 施策の体系

3つの基本方針を実現するため、深谷市が進める具体的な施策は以下のとおりです。

| 基本方針                      | 基本方針に基づく主な施策               |
|---------------------------|----------------------------|
| Ⅰ：3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進 | (1) 市民団体への支援               |
|                           | (2) 適正排出しやすい環境づくり          |
|                           | (3) 家庭ごみの有料化の検討            |
|                           | (4) マイバグの活用とレジ袋の削減         |
|                           | (5) 生ごみの水切り、食品ロスの削減        |
|                           | (6) リターナブル容器の活用            |
|                           | (7) 長期使用の推進                |
|                           | (8) 多量排出事業者等への指導           |
|                           | (9) 食品リサイクル法に基づく肥料化・飼料化の推進 |
|                           | (10) ごみの排出抑制・資源化の推進        |
|                           | (11) コンポスト容器購入費補助制度の検討     |
| Ⅱ：循環型社会づくりに向けた協働の推進       | (1) 情報提供と普及啓発              |
|                           | (2) ごみ分別への協力体制の構築          |
|                           | (3) 食育の推進                  |
|                           | (4) 環境に配慮した生活や事業活動の促進      |
|                           | (5) 温暖化防止の推進               |
| Ⅲ：適正処理の推進                 | (1) 適正な処理・処分の実施            |
|                           | (2) 許可業者の指導・育成             |
|                           | (3) 不法投棄対策                 |
|                           | (4) 適正処理困難物対策              |
|                           | (5) 災害時などにおけるごみ処理体制の整備     |
|                           | (6) 在宅医療廃棄物対策              |
|                           | (7) 広域化の推進                 |

図4-1 施策体系

## 2. 各種施策の説明

環境負荷の少ない循環型社会の構築に向け、不要な物は買わない、断るを積極的に進め、リデュース（Reduce：発生抑制）、リユース（Reuse：使用済み製品の再使用）の2Rを徹底したうえで、リサイクル（Recycle：製品の再資源化）を推進します。

| 基本方針Ⅰ：3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進 |                                                                                                                          |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)                           | <b>市民団体への支援</b><br>集団回収など資源化活動をしている市民団体などに対する支援を行います。                                                                    |
| (2)                           | <b>適正排出しやすい環境づくり</b><br>分別の徹底を図るため、わかりやすいパンフレットの作成、拠点回収の実施など、ごみを適正に出しやすい環境づくりを行います。                                      |
| (3)                           | <b>家庭ごみの有料化の検討</b><br>家庭ごみの有料化は、組合及び構成市町で連携を図りながら検討します。                                                                  |
| (4)                           | <b>マイバッグの活用とレジ袋の削減</b><br>収集・運搬や中間処理、最終処分負担を減らすため、マイバッグを活用することでレジ袋の使用を減らします。また、過剰包装を断り、容器包装ごみの発生を抑制します。                  |
| (5)                           | <b>生ごみの水切り、食品ロスの削減</b><br>生ごみの多くは水分が含まれているため、市民は毎日水切りを実践し、燃やせるごみの削減に努めます。また、食べ残しや余分な食材の購入を減らすことで燃やせるごみの発生を抑制します。         |
| (6)                           | <b>リターナブル容器の活用</b><br>ごみの発生抑制を促進するために、市民は、繰り返し使うことができるリターナブル容器を利用し、容器類をごみとしないように努めます。                                    |
| (7)                           | <b>長期使用の推進</b><br>フリーマーケットやリサイクルショップを利用し、不用になったものを必要としている人に譲る、また、使用可能な家具や家電製品をむやみに捨てず、修理して長く使用することでごみの発生抑制に努めます。         |
| (8)                           | <b>多量排出事業者等への指導</b><br>多量にごみを排出する事業者や小売店等に対し、ごみの減量、簡易包装の実施、レジ袋の削減等の指導を行います。                                              |
| (9)                           | <b>食品リサイクル法に基づく肥料化・飼料化の推進</b><br>食品リサイクル法が適用される排出事業所は、法に基づき肥料化・飼料化を推進します。                                                |
| (10)                          | <b>ごみの排出抑制・資源化の推進</b><br>ごみの出にくい商品や環境に配慮した商品の購入・販売を心がけ、ごみの発生抑制、資源化を推進します。また、簡易包装やレジ袋の削減等を図ります。                           |
| (11)                          | <b>コンポスト容器購入費補助制度の検討</b><br>生ごみの減量化を図るため、段ボールコンポストなど費用が抑えられ、各家庭でできる方法を紹介し、また、コンポスト容器や電気式生ごみ処理機を購入された方を対象とする補助金の交付を検討します。 |

| 基本方針Ⅱ：循環型社会づくりに向けた協働の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)                     | <b>情報提供と普及啓発</b> <p>3Rの推進には、市民・事業者等の理解と協力が不可欠であり、ごみに対する意識を高めることが必要であることから、市民・事業者に対し情報提供・啓発を行うことで、施策を広く浸透させます。</p> <p>主な施策を以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量、ごみ処理等に関する市及び組合の取り組み等の情報を広報、パンフレット、ホームページ、説明会等を介して提供する。</li> <li>・組合の中間処理施設の見学会を実施し、資源循環に関する意識の高揚を図る。</li> <li>・家電リサイクル法に基づき、適正な回収、再商品化がなされるように、関係団体や小売店などと協力して市民に普及啓発を行う。</li> </ul> |
| (2)                     | <b>ごみ分別への協力体制の構築</b> <p>燃やせるごみ・不燃ごみ・資源物・有害ごみの分別を徹底します。特に、燃やせるごみと資源物の分別を徹底し、ごみの減量と資源化に努めます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| (3)                     | <b>食育の推進</b> <p>学校などにおける食育活動を通じて、食べ物や資源を大切にすることを育みます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| (4)                     | <b>環境に配慮した生活や事業活動の促進</b> <p>循環型社会の形成を進めるための事業活動を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リユース商品及びリサイクル商品に関する情報を発信する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                |
| (5)                     | <b>地球温暖化防止の推進</b> <p>地域レベル・全国レベルで地球温暖化対策が必要とされており、地球温暖化対策を推進するため、埼玉県では「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション 2050(埼玉県地球温暖化対策実行計画(区域施策編))」を策定し、温室効果ガス排出量の削減に向けて目標設定型排出量取引制度など各種の施策を進めています。</p> <p>深谷市では深谷市地球温暖化対策実行計画(平成26年3月)を策定し、地球温暖化対策や省エネルギーに向けた取り組みを推進しています。温室効果ガス排出量の削減を進めるため、燃やせるごみの削減を進め、循環型社会や低炭素社会の実現を目指します。</p>                                                                   |

| 基本方針Ⅲ：適正処理の推進 |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)           | <b>適正な処理・処分の実施</b><br>市民・事業者が排出したごみを、環境に負荷を与えないように配慮しながら、適正かつ衛生的に処理・処分します。事業活動に伴って生じた廃棄物は、自らの責任において適正に処理にするとともに、その処理に関する技術の開発に努めるよう、ごみの減量化やリサイクルの推進を図ります。<br>燃やせないごみ・粗大ごみ・資源物を一時保管し、市民も直接搬入している深谷市のストックヤードは、建設後 40 年以上経過し、老朽化が進んでいることから、更新について検討します。 |
| (2)           | <b>許可業者の指導・育成</b><br>収集事業者など許可業者の指導・育成を行います。                                                                                                                                                                                                         |
| (3)           | <b>不法投棄対策</b><br>不法投棄が頻発する地域を定期的にパトロールすると共に、不法投棄防止啓発看板の設置や土地の管理の徹底について啓発を継続します。広場、道路などのごみの散乱を防止し、美しいまちづくりを推進するため、美化団体の活動を支援します。<br>また、北部環境管理事務所と連携し、不法投棄防止に努めます。                                                                                     |
| (4)           | <b>適正処理困難物対策</b><br>分別されたごみのなかには、他の分別区分のごみや収集あるいは処理を進める上で支障を来すものが混入しているため、継続的な分別ルールを周知します。<br>また、家電リサイクル法で定められている特定家電品や、消火器、バッテリーなど組合で適正な処理ができないごみに関しては、購入店で引き取ってもらうなど処理方法を今後も周知徹底していきます。                                                            |
| (5)           | <b>災害時などにおけるごみ処理体制の整備</b><br>災害時には大量の災害廃棄物が発生します。被災地の環境衛生を保全するため、深谷市地域防災計画（平成 28 年 3 月）に基づき迅速かつ適正に処理を図ります。                                                                                                                                           |
| (6)           | <b>在宅医療廃棄物対策</b><br>在宅医療の増加に伴い、医療系廃棄物の増加が予想されます。感染性廃棄物については、適正な回収・処理が出来るよう医療機関等と協議し、回収・処理方法について検討します。                                                                                                                                                |
| (7)           | <b>広域化の推進</b><br>組合における現在の中間処理施設は、長寿命化により継続的に使用しますが、施設全体の耐用年数を考慮すると、更なる基幹的整備は難しく建替えが必要になる施設があると考えられるため、新たなごみ処理施設の整備を検討します。検討にあたっては、二酸化炭素等の温室効果ガスの発生抑制のため、剪定枝や生ごみ等のバイオマスの有効利用を行うことや、燃やせるごみから電力等のエネルギーを効率的に回収するシステムを構築することを考慮します。                      |

### 第3項 ごみの発生量及び処理量の見通し

ごみ排出量の予測フローを以下に示します。

国・県の基本方針（減量目標）との整合を図りながら、社会状況や地域性を踏まえ、実施する取り組み効果を考慮して、最適な数値目標を設定しますが、ここでは現状の傾向が継続した場合のごみ量（⑤ごみの排出量の予測）を算定します。

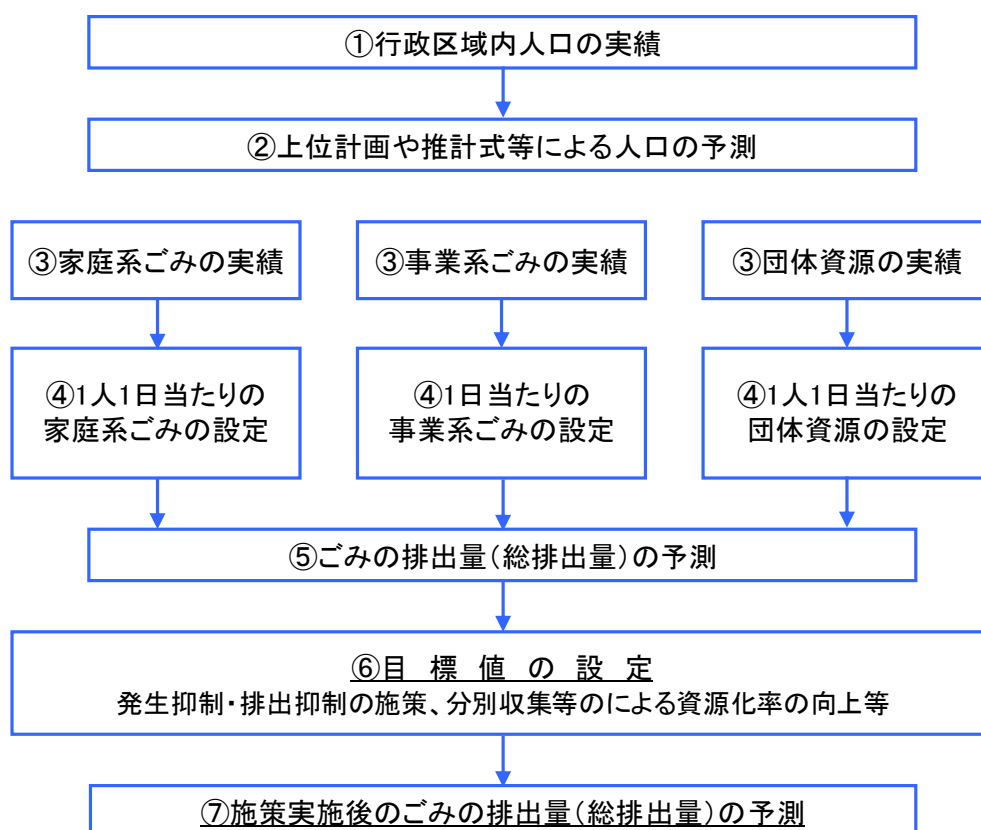


図4-2 排出量の予測フロー

- ① 行政区域内人口の実績を整理します。
- ② 上位計画（総合計画など）により、将来の人口を予測します。
- ③ 家庭系ごみ量、事業系ごみ量、集団回収量の過去5年間の実績を整理します。
- ④ ③の傾向を踏まえ、将来の1人1日当たりの家庭系ごみ量、1日当たりの事業系ごみ量、1人1日当たりの集団回収量を予測式などを用いて設定します。
- ⑤ 設定した1人1日当たりの家庭系ごみ量及び集団回収量に②将来の人口を乗じて年間排出量を算出します。事業系ごみ量は、設定した1日当たりの事業系ごみ量から年間排出量を算出します。
- ⑥ 目標値を設定します。国や県の目標を踏まえ、ごみの発生を抑える施策（リデュース）、ごみとしない再使用・再生利用する施策（リユース・リサイクル）など、既存の施策と新たな施策を検討し、削減量を決めます。
- ⑦ 施策の実施あるいは目標値の設定に合わせて、ごみの排出量、家庭系ごみ排出量、事業系ごみ排出量、集団回収量を算出します。

## 1. 行政区域内人口の予測

深谷市では、人口の現状と将来の展望を提示する「深谷市人口ビジョン」(平成 27 年 3 月)を策定しており、この「深谷市人口ビジョン」における「人口の将来展望」を将来の人口とします。

将来人口は、平成 33 年度に 144,594 人、平成 38 年度に 141,661 人を見込んでいます。

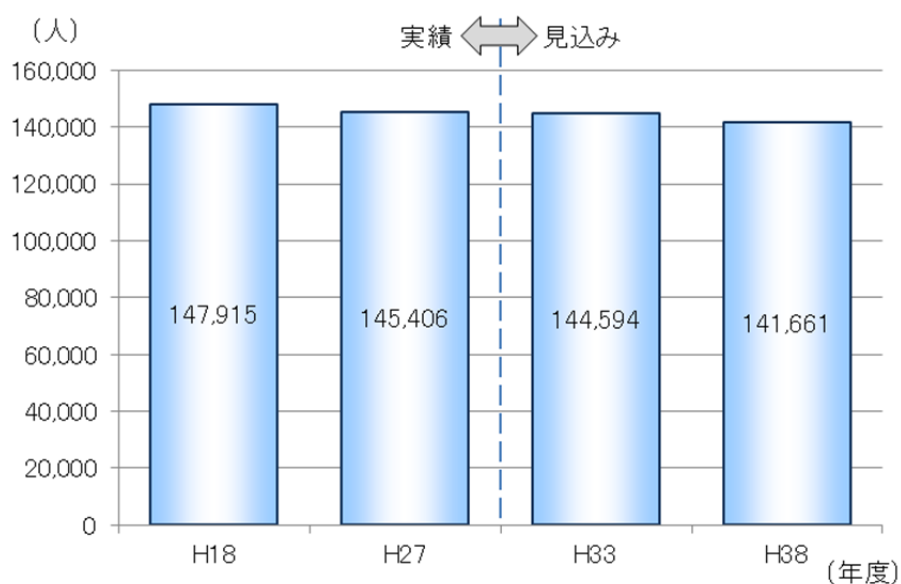


図 4-3 人口の予測結果

資料:住民基本台帳(平成 25 年以降は外国人を含む。)及び深谷市人口ビジョン(平成 27 年 3 月)

## 2. ごみ排出量の予測

現状の傾向が継続した場合のごみ排出量を以下に示します。

表 4-1 現状の傾向が続いた場合のごみ排出量の見込み

| 項目\年度         |      | H23     | H27     | H33     | H38     |
|---------------|------|---------|---------|---------|---------|
|               |      | 実績      |         | 中間目標    | 目標年度    |
| 総人口           | 人    | 147,451 | 145,406 | 144,594 | 141,661 |
| 総排出量          | t/年  | 59,039  | 56,314  | 55,949  | 55,044  |
| 家庭系ごみ         | t/年  | 40,764  | 41,010  | 40,692  | 39,866  |
| 燃やせるごみ        | t/年  | 34,343  | 34,629  | 34,358  | 33,661  |
| 燃やせないごみ       | t/年  | 2,004   | 2,006   | 2,006   | 1,965   |
| 粗大ごみ          | t/年  | 632     | 698     | 686     | 672     |
| 資源物           | t/年  | 3,722   | 3,627   | 3,589   | 3,516   |
| 有害ごみ          | t/年  | 64      | 50      | 53      | 52      |
| 事業系ごみ         | t/年  | 14,032  | 11,372  | 11,352  | 11,352  |
| 燃やせるごみ        | t/年  | 13,923  | 11,269  | 11,250  | 11,250  |
| 燃やせないごみ       | t/年  | 65      | 80      | 79      | 79      |
| 資源物           | t/年  | 44      | 23      | 23      | 23      |
| 集団回収          | t/年  | 4,243   | 3,933   | 3,905   | 3,826   |
| 年間日数          | 日    | 366     | 366     | 365     | 365     |
| 1人1日当たりの総排出量  | g/人日 | 1,094   | 1,058   | 1,060   | 1,065   |
| 1人1日当たりの家庭系ごみ | g/人日 | 755     | 771     | 771     | 771     |
| 燃やせるごみ        | g/人日 | 636     | 651     | 651     | 651     |
| 燃やせないごみ       | g/人日 | 37      | 37      | 34      | 34      |
| 粗大ごみ          | g/人日 | 12      | 13      | 13      | 13      |
| 資源物           | g/人日 | 69      | 68      | 68      | 68      |
| 有害ごみ          | g/人日 | 1       | 1       | 1       | 1       |
| 使用済小型家電       | g/人日 | —       | 1       | 4       | 4       |
| 1日当たりの事業系ごみ   | t/日  | 38.3    | 31.1    | 31.1    | 31.1    |
| 1人1日当たりの集団回収  | g/人日 | 79      | 74      | 74      | 74      |
| 1人1日当たりの最終処分量 | g/人日 | 25      | 23      | 22      | 22      |

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります。

## 1) 家庭系ごみ

家庭系ごみは、1人1日当たりの家庭系ごみが平成27年度と変わりませんが、人口の減少に伴って減少し、平成33年度に40,692t、平成38年度には39,866tと見込まれます。

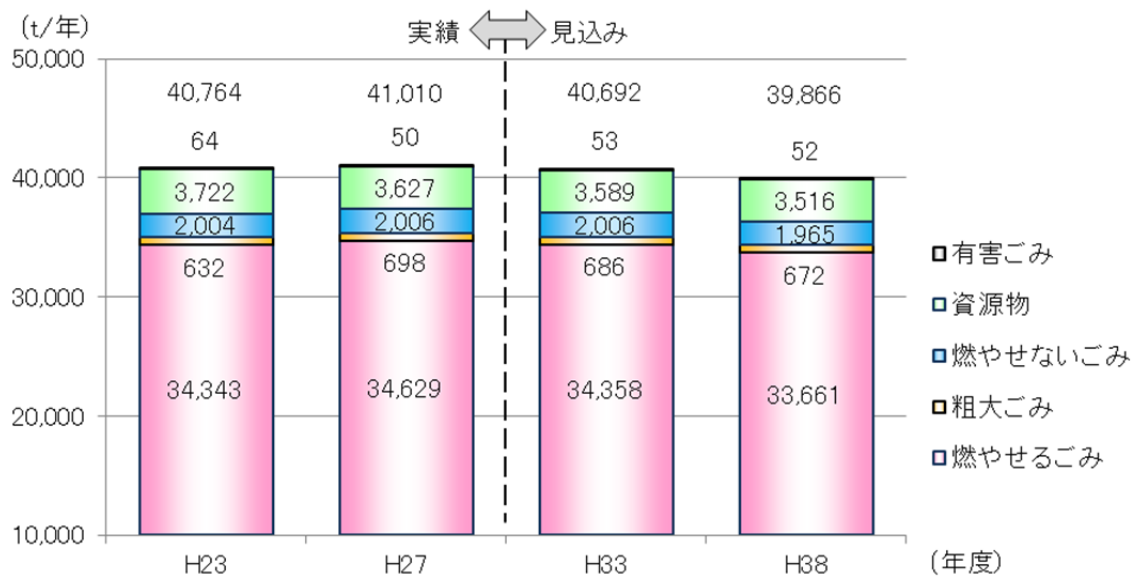


図 4-4 家庭系ごみの見通し

## 2) 事業系ごみ

事業系ごみは、1日当たりの事業系ごみが平成27年度と変わらないため、年間11,352tと見込まれます。

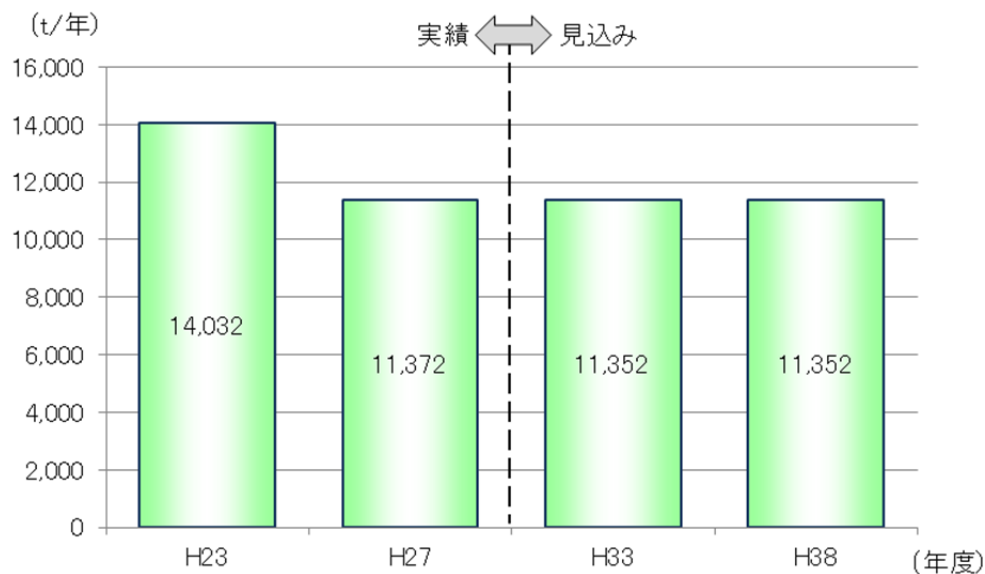


図 4-5 事業系ごみの見通し

### 3) 集団回収

集団回数は、1人1日当たりの集団回収が平成27年度と変わらないため、人口の減少に伴って減少し、平成33年度に3,905t、平成38年度には3,826tと見込まれます。

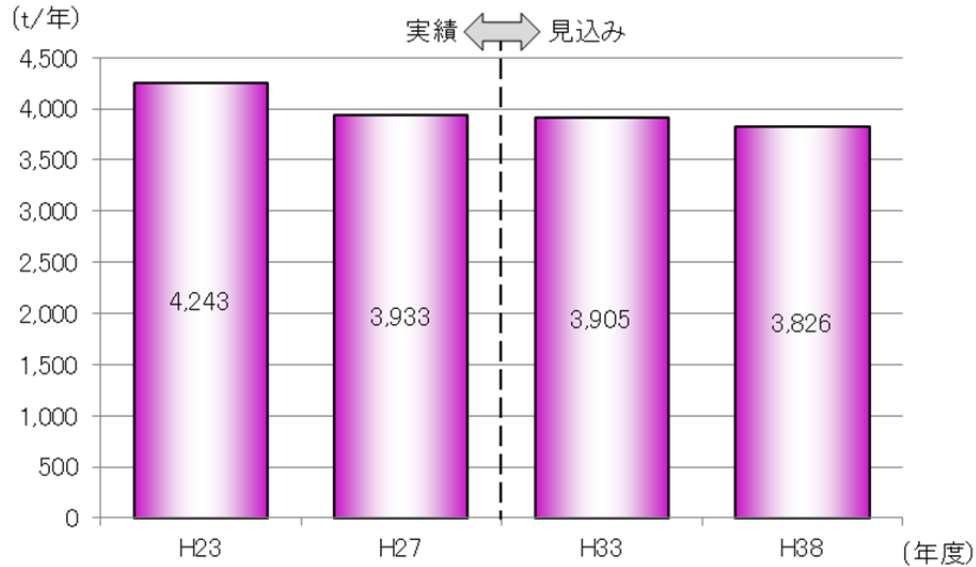


図 4-6 集団回収の見通し

### 4) ごみ排出量

現状の傾向が継続した場合のごみ排出量は平成33年度に55,949t、平成38年度には55,044tと見込まれます。

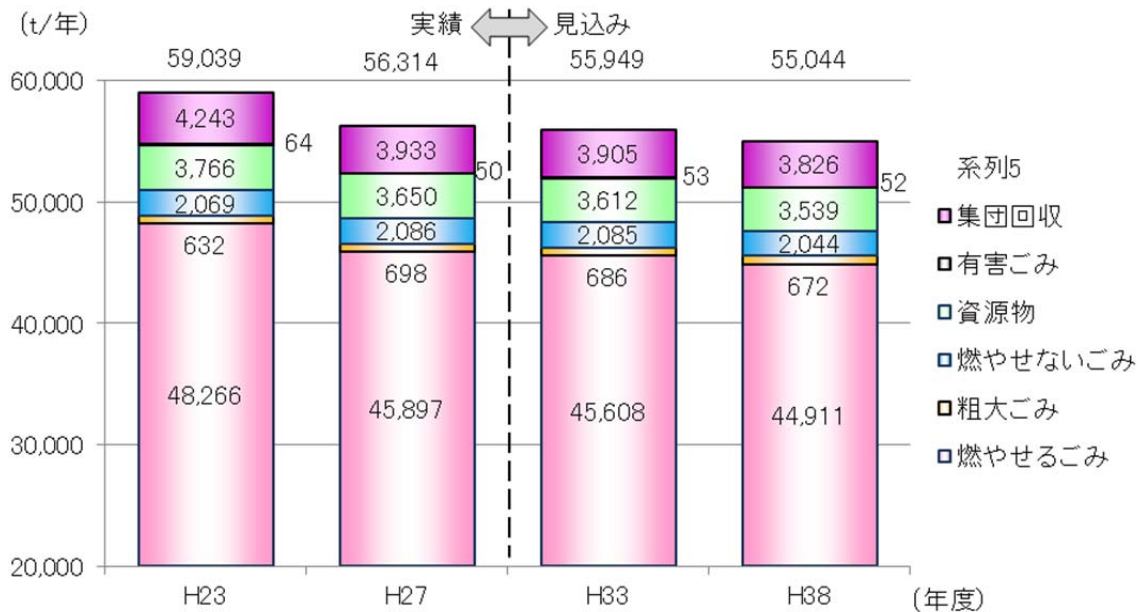


図 4-7 種類別排出量の見通し

※使用済小型家電は燃やせないごみに含みます。

## 5) 資源化量の見通し

現状の傾向が継続した場合、資源物や集団回収、大里広域クリーンセンターからの破碎処理後の金属等の有価物回収が減少し、資源化量は徐々に減少すると見込まれます。

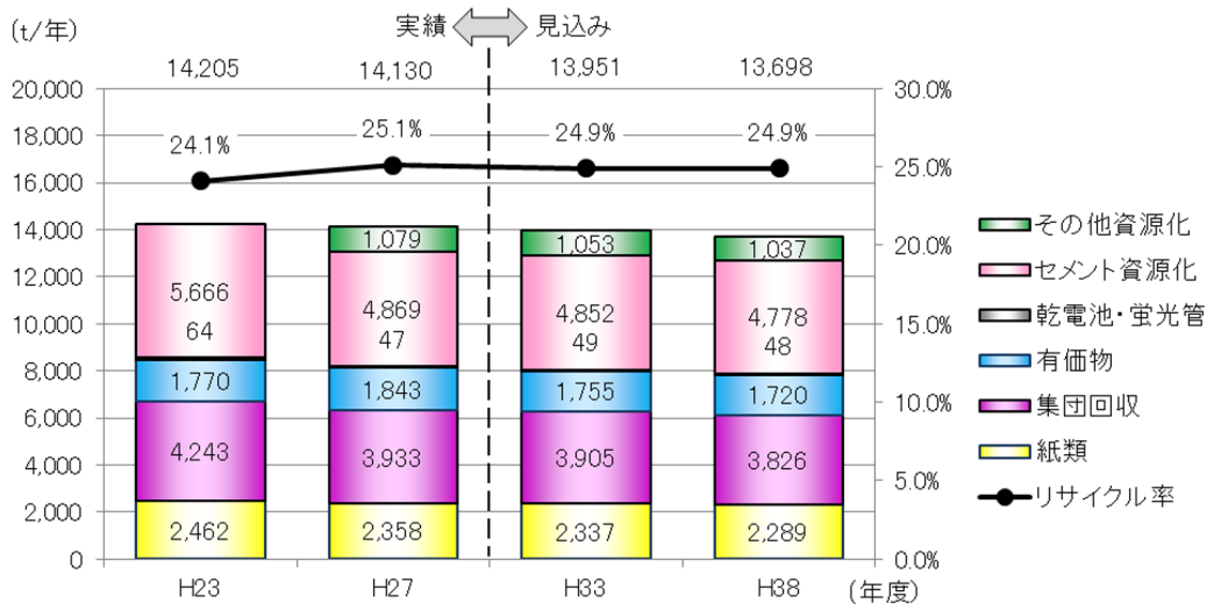


図 4-8 資源化量の見通し

## 第4項 発生抑制の目標

### 1. 目標値の設定

現状の傾向が継続した場合のごみ排出量の見込みに対し、発生抑制の目標を設定し、埼玉県廃棄物処理基本計画の目標達成を目指すこととします。

目標値（1人1日当たりの資源物を除く家庭系ごみ）を以下のとおりとします。

＜第8期埼玉県廃棄物処理基本計画＞

702g/人・日（平成27年度） ⇒ 659g/人・日（平成38年度）

・・・平成25年度の約7%削減

また、事業系ごみの目標値も埼玉県廃棄物処理基本計画にならい以下のとおりとします。

表4-2 排出量の目標値の設定

|                          |      | 深谷市<br>実績 | 深谷市<br>現況推移 | 深谷市<br>削減後    | 備考<br>(参考) |
|--------------------------|------|-----------|-------------|---------------|------------|
|                          |      | H27       | H38         | H38           | H25        |
| 総排出量(集団回収含む)             | t/年  | 56,314    | 55,044      | 52,900        | 57,458     |
| 1人1日当たりの排出量              | g/人日 | 1,058     | 1,065       | 1,023         | 1,077      |
| 家庭系ごみ                    | t/年  | 41,010    | 39,866      | 38,574        | 41,694     |
| 1人1日当たりの家庭系ごみ<br>(資源物除く) | g/人日 | 702※      | 699         | <b>659</b>    | 711        |
| 事業系ごみ                    | t/年  | 11,372    | 11,352      | <b>10,500</b> | 11,663     |
| 資源回収量                    |      | 14,130    | 13,698      | 14,096        | 14,606     |
| 再生利用率                    | %    | 25.1      | 24.9        | 26.6          | 25.4       |
| 最終処分量                    | t/年  | 1,203     | 1,121       | 1,119         | 1,245      |
|                          | g/人日 | 23        | 22          | 22            | 23         |

※の算出方法(H27) 家庭系ごみ771g/人日-資源物68g/人日-不燃ごみ中の資源(使用済小型家電)1g/人日 = 702g/人日

## 2. 1人1日当たりの削減目標

本計画では、目標年度における市民1人におけるごみ削減量（資源物を除く家庭系ごみ）を **1日40g** と設定し、659g/人・日を目指します。

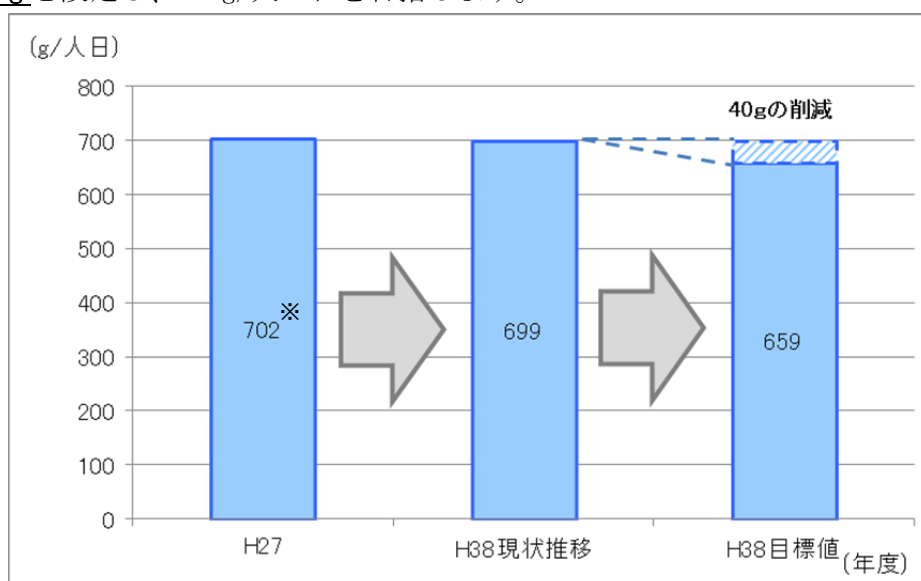


図4-9 実績と目標値

※702g/人日(H27)＝家庭系ごみ 771g/人日－資源物 68g/人日－不燃ごみ中の資源物(使用済小型家電)1g/人日

家庭系燃やせるごみには、紙類や食べ残し等の生ごみ、レジ袋等のプラスチック、さらに重量の半分近くを占める生ごみに含まれる水分があります。そこで、家庭系燃やせるごみに含まれている紙類は資源物として分別し、生ごみは食べ残し等の削減と水切りの強化、レジ袋等はマイバッグ持参等でごみの発生を抑え、燃やせるごみを削減します。このような取り組みにより、燃やせるごみを1人1日当たり40g減らすことができます。

表4-3 家庭系燃やせるごみの内訳及び削減目標

|      |                | 平均ごみ質<br>(湿ベース) | H27家庭系<br>可燃ごみ<br>内訳 | 原単位   | 削減目標  | 削減割合  | 備考       |
|------|----------------|-----------------|----------------------|-------|-------|-------|----------|
|      |                | %               | t/年                  | g/人・日 | g/人・日 | %     |          |
| 組成   | 紙類             | 32.6            | 11,289               | 212   | 15    | 7.1   | 紙類の資源化   |
|      | 布類             | 3.3             | 1,143                | 21    |       |       |          |
|      | 木・竹・ワラ類        | 8.1             | 2,805                | 53    |       |       |          |
|      | プラスチック類        | 13.3            | 4,606                | 87    | 5     | 5.7   | レジ袋の削減   |
|      | ゴム・皮革類         | 4.1             | 1,420                | 27    |       |       |          |
|      | ちゅう芥類<br>(生ごみ) | 34.2            | 11,843               | 223   | 20    | 9.0   |          |
|      |                |                 |                      |       | (10)  | (4.5) | 食べ残し等の削減 |
|      |                |                 |                      |       | (10)  | (4.5) | 水切りの強化   |
|      | 不燃物類           | 1.7             | 589                  | 11    |       |       |          |
|      | その他            | 2.7             | 935                  | 17    |       |       |          |
| 合計   |                | 100.0           | 34,629               | 651   | 40    |       |          |
| 削減目標 |                |                 |                      |       | 40    |       |          |

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります。

※平均ごみ質(湿ベース)は、表3-1から平均ごみ質(乾ベース)を算出し、「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査の概要(平成27年度)」(環境省)を参考に算出しています。

## 燃やせるごみを削減するには、以下の取り組みが考えられます

### ●紙類の資源化

紙類は燃やせるごみの 32.6%を占めており、1 人 1 日当たりに換算すると 212g となります。このうち約 7%に当たる 15g<sup>\*</sup>を削減する必要があります。これは新聞紙に換算すると約 1 枚分となります。

#### ・新聞紙一枚の重さ

軽量新聞用紙の重さ：46.2g/m<sup>2</sup>

新聞紙一枚の大きさ：545mm×820mm（JIS 規格）＝0.45 m<sup>2</sup>

したがって新聞紙一枚の重さは

$$46.2\text{g}/\text{m}^2 \times 0.45\text{ m}^2 \div 20.79\text{g}$$



### ●食べ残し等の削減

食べ残しや過剰廃棄等の発生によるちゅう芥類（生ごみ）は、燃やせるごみの 34.2%を占めており、1 人 1 日当たりに換算すると 223g となります。このうち約 5%に当たる 10g<sup>\*</sup>を削減する必要があります。これはごはんに換算するとお茶碗 1 杯のおよそ 15 分の 1 となります（お茶碗 1 杯はおよそ 150g）。また、生ごみを堆肥化させるコンポストの活用も有効です。



### ●水切りの強化

水分は燃やせるごみの半分近くを占めています。水切りなどで 10g<sup>\*</sup>を削減する必要があります。これはペットボトルのキャップに換算すると約 2 杯分となります（ペットボトルのキャップの容量およそ 5mL（5g））。



### ●レジ袋の削減

レジ袋を含むプラスチックは燃やせるごみの 13.3%を占めており、1 人 1 日当たりに換算すると 87g となります。このうち約 6%に当たる 5g<sup>\*</sup>を削減する必要があります。これはレジ袋に換算すると約 2 分の 1 枚となります（レジ袋（LL 版）は 1 枚およそ 10g）。



※いずれも表 4-3 より

### 3. 目標値を達成した場合のごみ排出量の予測値

目標年度までに家庭系燃やせるごみや事業系ごみを削減することで、他の項目についても以下のような数値を達成することができます。

#### 1) ごみの総排出量（集団回収含む）

現状の傾向が推移した場合でもごみの排出量は平成27年度実績より減少しますが、ごみの減量が進み、排出量は52,900tとなります。

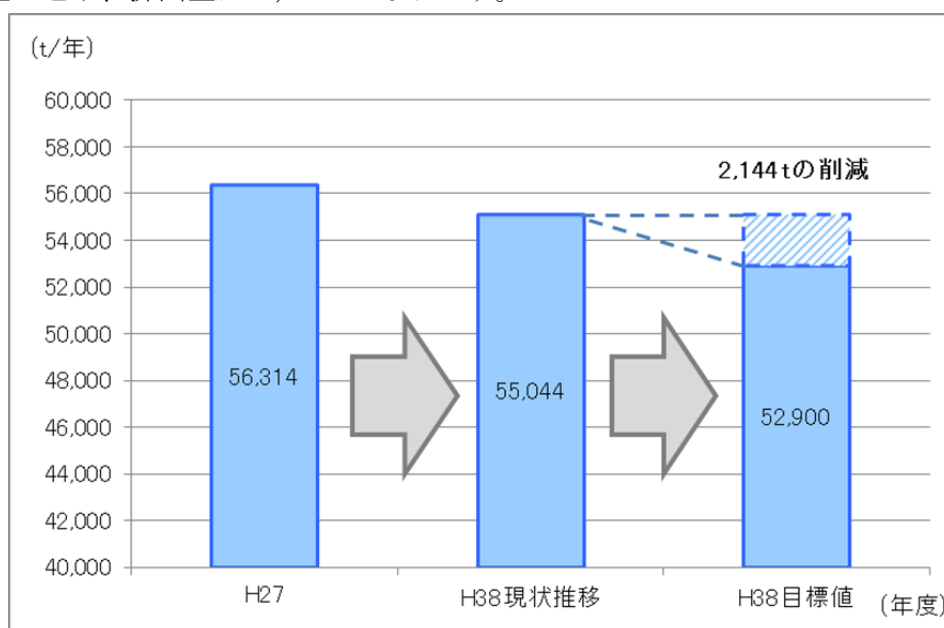


図 4-10 実績と目標値

#### 2) 1人1日当たりのごみ排出量（集団回収含む総排出量）

ごみの減量が進み、集団回収を含めた1人1日当たりのごみの排出量は1,023g/人日となります。

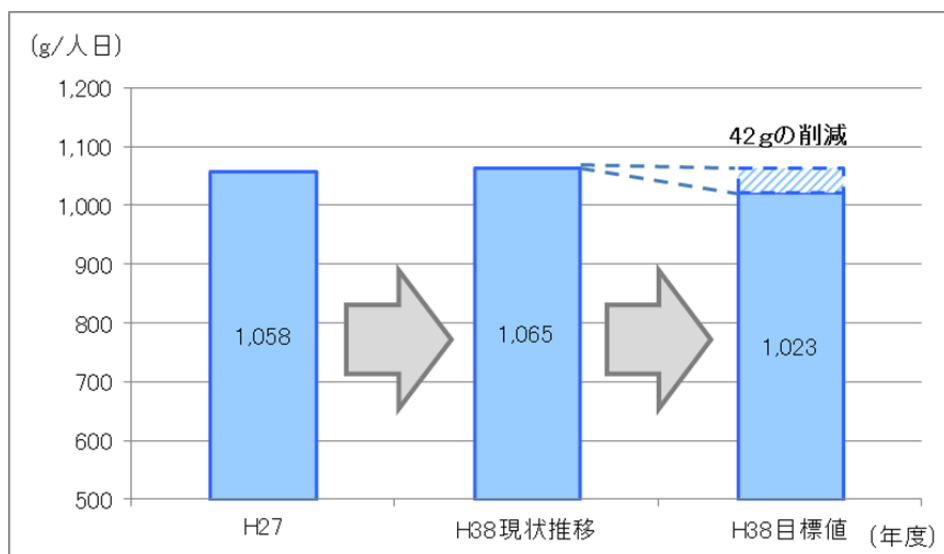


図 4-11 実績と目標値

### 3) 事業系ごみ排出量

事業系ごみの減量を進めることで、事業系ごみは10,500tとなります。

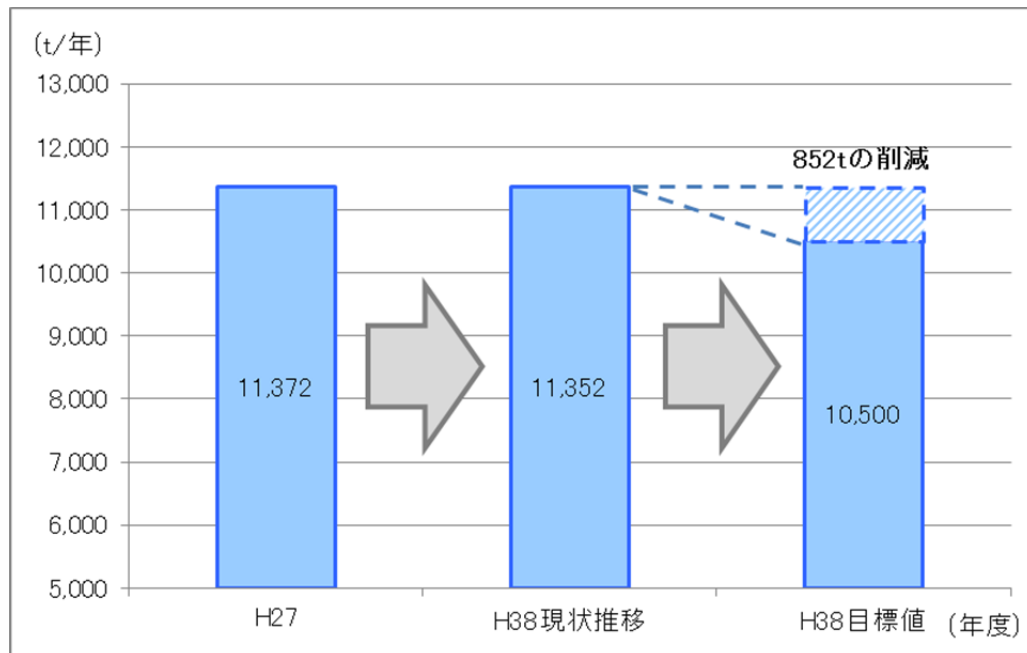


図 4-12 実績と目標値

### 4) 最終処分量

ごみの減量、資源化、適正処理が進み、最終処分量は1,119tとなります。

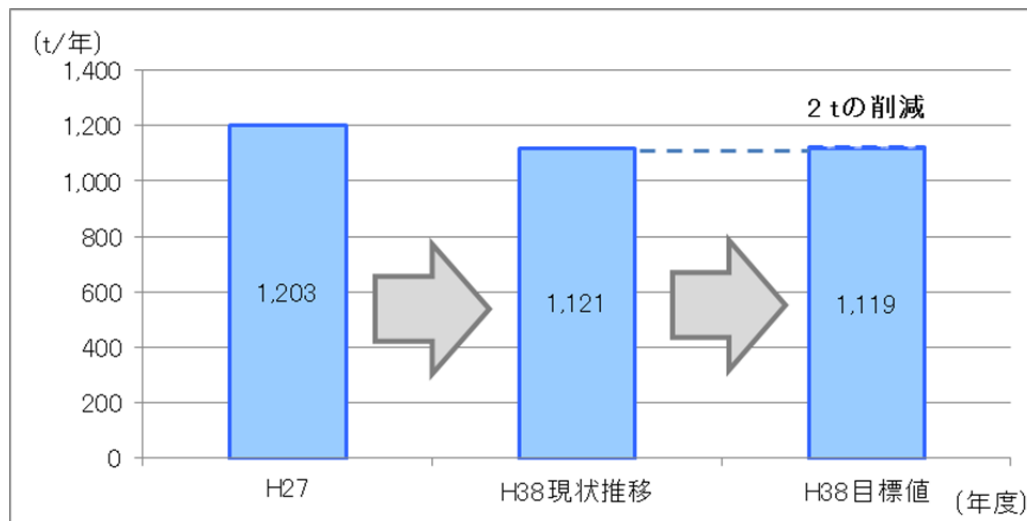


図 4-13 実績と目標値

#### 4. 新たな目標でのごみ排出量の見込み

新たな目標でのごみ排出量の見込みは以下のとおりです。また、1人1日当たりの排出量（集団回収量除く）の推移を示します。

表 4-4 ごみ排出量の内訳及び削減目標

| 項目\年度         |      | H23     | H27     | H33     | H38     |
|---------------|------|---------|---------|---------|---------|
|               |      | 実績      |         | 中間目標    | 目標年度    |
| 総人口           | 人    | 147,451 | 145,406 | 144,594 | 141,661 |
| 総排出量          | t/年  | 59,039  | 56,314  | 54,719  | 52,900  |
| 家庭系ごみ         | t/年  | 40,764  | 41,010  | 39,900  | 38,574  |
| 燃やせるごみ        | t/年  | 34,343  | 34,629  | 33,038  | 31,593  |
| 燃やせないごみ       | t/年  | 2,004   | 1,949   | 1,783   | 1,747   |
| 粗大ごみ          | t/年  | 632     | 698     | 686     | 672     |
| 資源物           | t/年  | 3,722   | 3,627   | 4,117   | 4,292   |
| びん            | t/年  | 562     | 564     | 556     | 545     |
| 缶             | t/年  | 301     | 257     | 255     | 250     |
| ペットボトル        | t/年  | 408     | 452     | 445     | 436     |
| 紙類            | t/年  | 2,451   | 2,354   | 2,861   | 3,061   |
| 有害ごみ          | t/年  | 64      | 50      | 53      | 52      |
| 使用済小型家電       | t/年  | —       | 56      | 223     | 218     |
| 事業系ごみ         | t/年  | 14,032  | 11,372  | 10,914  | 10,500  |
| 燃やせるごみ        | t/年  | 13,923  | 11,269  | 10,816  | 10,405  |
| 燃やせないごみ       | t/年  | 65      | 80      | 76      | 74      |
| 資源物           | t/年  | 44      | 23      | 22      | 21      |
| 集団回収          | t/年  | 4,243   | 3,933   | 3,905   | 3,826   |
| 年間日数          | 日    | 366     | 366     | 365     | 365     |
| 1人1日当たりの総排出量  | g/人日 | 1,094   | 1,058   | 1,037   | 1,023   |
| 1人1日当たりの家庭系ごみ | g/人日 | 755     | 771     | 756     | 746     |
| 燃やせるごみ        | g/人日 | 636     | 651     | 626     | 611     |
| 燃やせないごみ       | g/人日 | 37      | 37      | 34      | 34      |
| 粗大ごみ          | g/人日 | 12      | 13      | 13      | 13      |
| 資源物           | g/人日 | 69      | 68      | 78      | 83      |
| 有害ごみ          | g/人日 | 1       | 1       | 1       | 1       |
| 使用済小型家電       | g/人日 | —       | 1       | 4       | 4       |
| 1日当たりの事業系ごみ   | t/日  | 38      | 31      | 30      | 29      |
| 1人1日当たりの集団回収  | g/人日 | 79      | 74      | 74      | 74      |
| 1人1日当たりの最終処分量 | g/人日 | 25      | 23      | 22      | 22      |

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります。

表 4-5 1人1日当たりの排出量（集団回収除く）の推移

|        |          | 総人口     | 1人1日当たりの排出量<br>(集団回収除く) | 排出量    |
|--------|----------|---------|-------------------------|--------|
| 平成27年度 | 実績       | 145,406 | 984                     | 52,381 |
| 平成28年度 | 計画<br>期間 | 146,045 | 984                     | 52,451 |
| 平成29年度 |          | 145,868 | 981                     | 52,204 |
| 平成30年度 |          | 145,654 | 976                     | 51,911 |
| 平成31年度 |          | 145,336 | 972                     | 51,696 |
| 平成32年度 |          | 145,010 | 967                     | 51,196 |
| 平成33年度 |          | 144,594 | 963                     | 50,814 |
| 平成34年度 |          | 144,106 | 959                     | 50,464 |
| 平成35年度 |          | 143,610 | 956                     | 50,250 |
| 平成36年度 |          | 142,990 | 953                     | 49,727 |
| 平成37年度 |          | 142,364 | 951                     | 49,418 |
| 平成38年度 |          | 141,661 | 949                     | 49,074 |

※総人口(計画期間)は、平成27年9月策定の「深谷市人口ビジョン」より計上しているため、実績人口と比較して乖離があります。

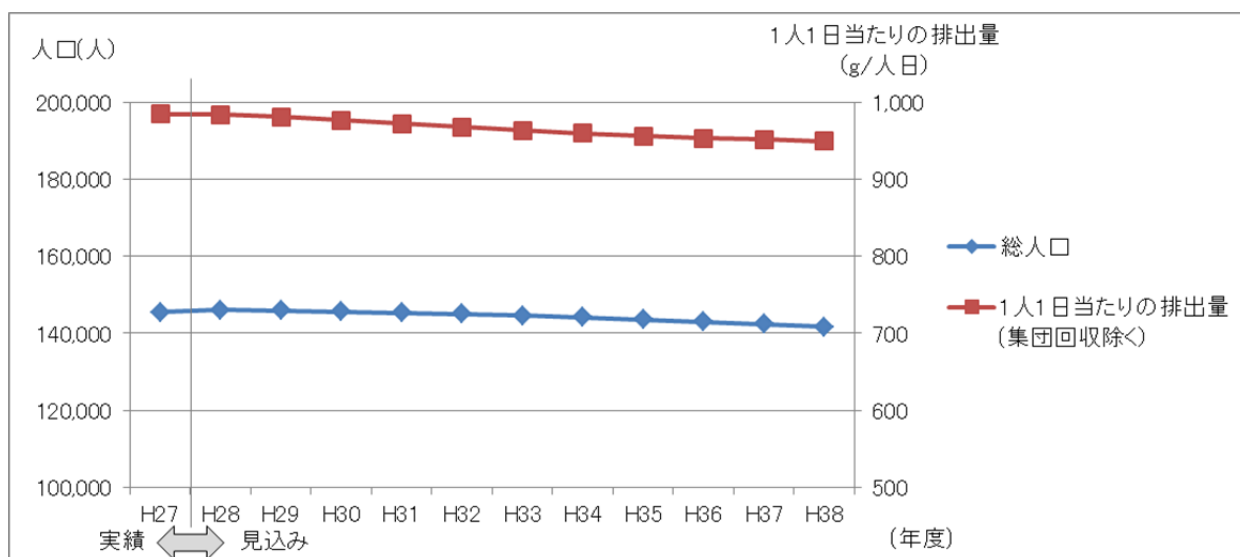


図 4-14 新たな目標のもとでの1人1日当たり排出量（集団回収除く）

## 第5項 ごみの適正処理に関する基本的事項

### 1. 収集・運搬計画

#### 1) 収集運搬の基本方針

分別排出されたごみは、迅速かつ衛生的に収集運搬し、資源化及び適正処理・処分を図るため、効率的な収集体制となるよう適宜見直しを行い、市民サービスの向上を図ります。

#### 2) 収集区域及び収集人口

深谷市全域を収集区域とします。

平成27年度時点における収集人口は145,406人ですが、平成38年度では141,661人になるものと見込まれます。

#### 3) 現行収集・運搬体制の継続

収集・運搬は、今後も深谷市が行います。また、迅速かつ衛生的に収集運搬し、適正な収集体制の構築や市民サービスの向上を目指します。

表 4-6 収集運搬の方法

| 分別区分    | 収集方式         | 収集形態 | 収集頻度 |
|---------|--------------|------|------|
| 燃やせるごみ  | ステーション       | 委託   | 4回／週 |
| 燃やせないごみ | ステーション       | 委託   | 1回／週 |
| 資源物     | ステーション       | 委託   | 1回／週 |
| 有害ごみ    | 拠点<br>ステーション | 委託   | 1回／月 |
| 粗大ごみ    | ステーション       | 委託   | 1回／週 |

#### 4) 分別区分に応じた収集・運搬体制の検討

深谷市では、新たな分別区分を設ける場合やごみの分別区分の検討は、組合と連携して行います。また、分別方法、収集・運搬方法、処理方法についても組合と協議し、推進していくものとします。

また、組合の構成市町では、分別区分が統一されていないため、今後は、収集・運搬や処理方法を考慮し、統一に向けた検討を行います。

#### 5) 多量排出事業者

多量に排出する事業者や小売店等に対し、ごみの減量、簡易包装の実施、レジ袋の削減等の指導を行います。

## 6) 収集運搬量の推移

ごみ収集所に排出された家庭系ごみの燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみ、資源物、有害ごみ、使用済小型家電を収集しています。収集量運搬量の推移は以下のとおりで、年々減少する見込みです。

表 4-7 収集運搬量の推移

| 項目        | 単位  | 実績     |        | 中間目標   | 目標年度   |
|-----------|-----|--------|--------|--------|--------|
|           |     | H23    | H27    | H33    | H38    |
| 燃やせるごみ    | t/年 | 33,226 | 32,890 | 31,386 | 30,013 |
| 燃やせないごみ   | t/年 | 1,973  | 1,911  | 1,745  | 1,710  |
| 粗大ごみ      | t/年 | 529    | 568    | 558    | 546    |
| 資源物       | t/年 | 3,703  | 3,607  | 4,092  | 4,265  |
| 有害ごみ      | t/年 | 63     | 50     | 53     | 52     |
| 使用済小型家電   | t/年 | —      | 56     | 223    | 218    |
| 家庭系収集ごみ合計 | t/年 | 39,493 | 39,082 | 38,057 | 36,804 |

※端数処理のため、内訳と合計が一致しないことがあります。

実績は、家庭系ごみのうち、ごみ収集所に排出されたごみ量で、直接搬入量は含みません。

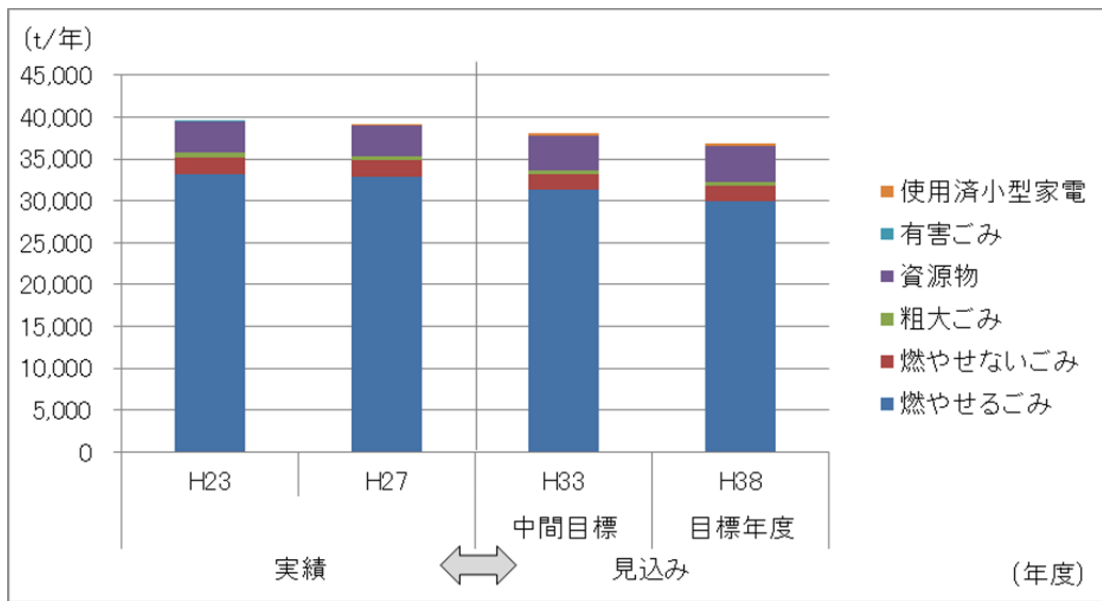


図 4-15 収集運搬量の推移

## 2. 中間処理計画

### 1) 中間処理の基本方針

中間処理は、今後も組合において安全かつ衛生的な処理を進め、環境に配慮した処理に努めます。

燃やせるごみは焼却処理を行い、発生する焼却灰については、資源化処理を進め、最終処分量の削減を図ります。燃やせないごみ・有害ごみ・粗大ごみについては破碎又は選別を行い、可燃性・不燃性のごみ、資源化できるものに分別します。資源物については種類に応じて、選別し、圧縮・梱包します。

### 2) 中間処理の体制

燃やせるごみ、燃やせないごみ、紙類を除く資源物、使用済小型家電の中間処理は、今後も組合において行う予定です。紙類は深谷市で委託処理を継続します。

### 3) 焼却や選別による資源の回収の推進

今後も焼却施設での熱回収や焼却残渣の資源化、不燃物処理施設での金属等の資源回収を推進します。

### 4) 中間処理施設の整備の推進

深谷市の燃やせるごみは、熊谷衛生センター、江南清掃センター及び深谷清掃センターで処理し、燃やせないごみや資源ごみの一部は大里広域クリーンセンターで処理しています。今後も現状の処理体制を維持しますが、熊谷衛生センター（第一工場：昭和55年4月稼働、第二工場：平成元年9月稼働）、深谷清掃センター（平成4年4月稼働）、江南清掃センター（昭和54年12月稼働）はいずれも稼働後20年以上経過しているため、組合の管理のもと、計画的に適切な補修等を行っているものの、経年的老朽化が進行しつつあります。

これらの施設は、安全かつ安定したごみ処理を実施しつつ、各施設の延命化を図るため、また地球温暖化防止対策に貢献する観点から、省エネや二酸化炭素排出量の削減を図ることを目的として、順次基幹的設備等改良工事を行っています。

老朽化のさらなる進行、ごみ量の変化やごみ質の変化など、将来的には基幹的設備等改良だけでは対応できないことも考えられるため、深谷市、組合は十分に調整を取りながら将来の中間処理施設の整備のあり方を検討します。

また、燃やせないごみ・粗大ごみ・資源物は、大里広域クリーンセンターへ搬入する前に、深谷市のストックヤードで一時保管していますが、市民も直接搬入しているストックヤードは建設後40年以上経過し、老朽化が進んでいることから、更新も視野に入れながら整備のあり方を検討します。

## 5) 中間処理量の推移

燃やせないごみや資源物などの破碎選別等処理量や燃やせるごみ等のごみ焼却対象量の推移は以下のとおりで、年々減少する見込みです。

表 4-8 中間処理量の推移

| 項目        | 単位  | 実績     |        | 中間目標   | 目標年度   |
|-----------|-----|--------|--------|--------|--------|
|           |     | H23    | H27    | H33    | H38    |
| 破碎選別等処理量  | t/年 | 4,005  | 4,020  | 3,819  | 3,741  |
| ごみ焼却対象量   | t/年 | 48,266 | 45,897 | 43,854 | 41,998 |
| 家庭系燃やせるごみ | t/年 | 34,343 | 34,629 | 33,038 | 31,593 |
| 事業系燃やせるごみ | t/年 | 13,923 | 11,269 | 10,816 | 10,405 |
| 中間処理量合計   | t/年 | 52,271 | 49,917 | 47,673 | 45,739 |

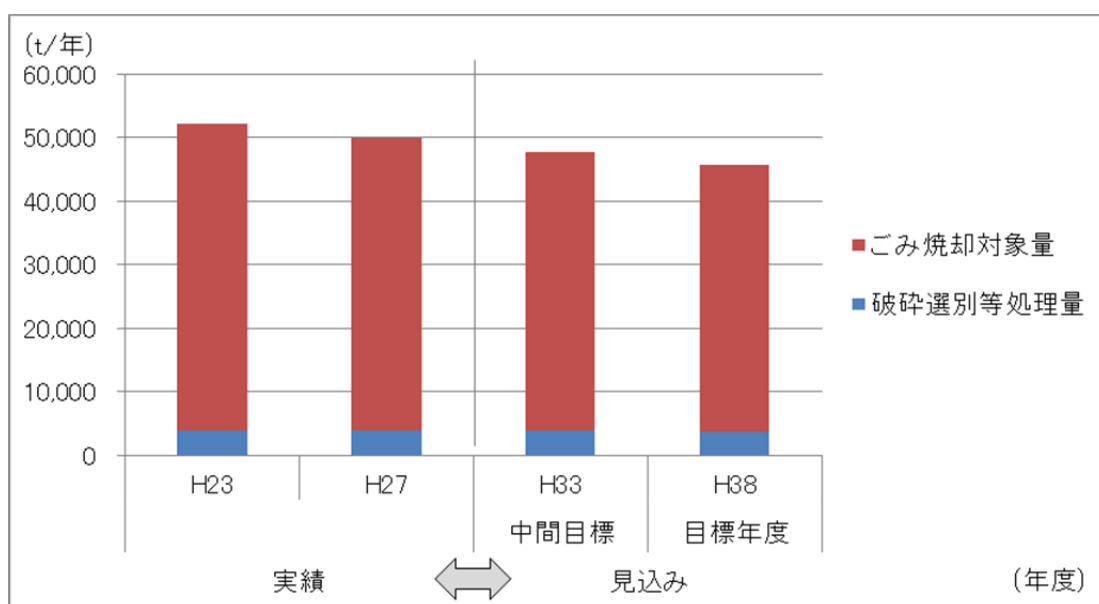


図 4-16 中間処理量の推移

## 3. 最終処分計画

### 1) 最終処分の基本方針

搬入された燃やせるごみ及び燃やせないごみ・有害ごみ・粗大ごみの選別後の可燃物は焼却します。発生した焼却残渣（主灰・飛灰）については、埋立処分を実施すると共に、資源化处理を進め最終処分量の削減を図ります。

最終処分に際しては、今後も埼玉県環境整備センターにおいて埋立処分を行います。環境への負荷を軽減し、安全かつ安心して処分が継続できる体制を保持していきます。

## 2) 最終処分量の減量化

最終処分量を減量化するため、「資源物の分別収集」「不燃物処理施設での金属等の資源物の回収」「焼却施設での減量化」を継続します。

回収した資源物は、組合圏域や県内の再生資源化事業者で再利用するよう努めます。

## 3) 最終処分先の検討

焼却施設で減量化後に発生する焼却残渣は、熊谷市内にある再生資源化事業者でセメント原料として再生利用しており、今後も継続します。

一方、再生利用に適さない残渣は、埼玉県環境整備センターなどで埋立処分を行っていますが、ごみの発生抑制や資源化等の施策により最終処分量を削減していきます。

## 4) 最終処分量の推移

組合で処理している不燃残渣を埋立処分していますが、年々減少する見込みです。

表 4-9 最終処分量の推移

| 項目    | 単位  | 実績    |       | 中間目標  | 目標年度  |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|
|       |     | H23   | H27   | H33   | H38   |
| 最終処分量 | t/年 | 1,341 | 1,203 | 1,142 | 1,119 |

※中間目標、目標年度の最終処分量は、平成 27 年度の大里広域クリーンセンター搬入量と最終処分量の割合を使用して算出しています。

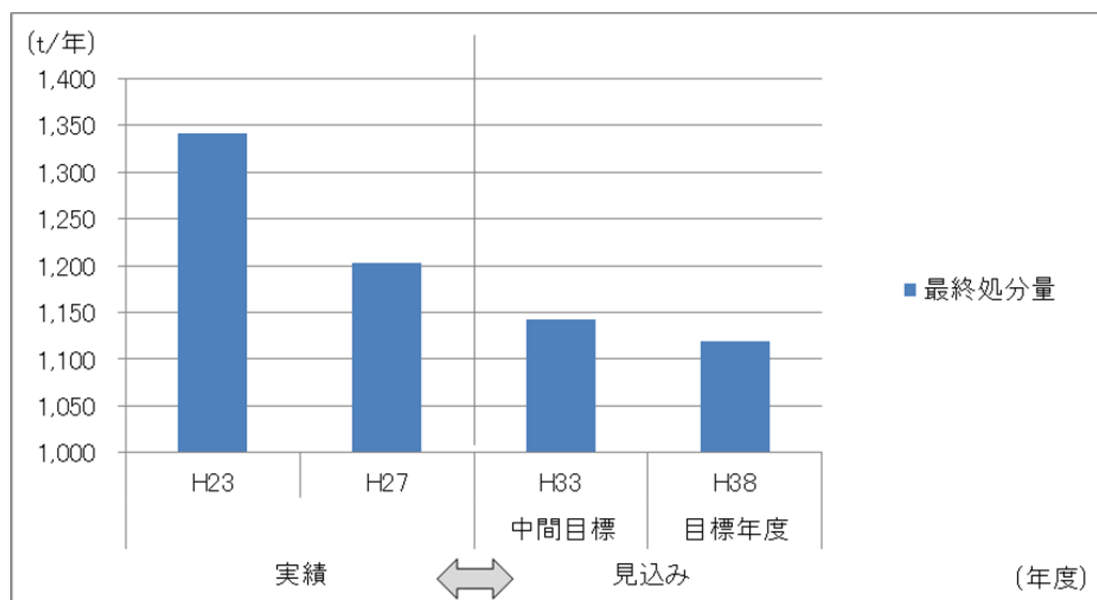


図 4-17 最終処分量の推移

## 4. 災害廃棄物処理計画

### 1) 災害廃棄物処理の基本方針

災害時における廃棄物処理は、まず廃棄物処理に必要な体制や仮置き場の確保を図ります。次に、リサイクルを考慮して、可能な限り現場において災害廃棄物を分別し、仮置場に搬入します。その後、分別した種類ごとに、処理・処分を行います。

なお、深谷市の処理能力を超えるごみが排出された場合は、埼玉県、相互応援協定を締結している市町及び民間の廃棄物処理業者等の協力を得て、ごみ処理施設の確保を図ります。

### 2) 施設の応急措置

地震発生直後に建物及びプラント被害や液状化、不等沈下等の地盤災害の状況などの被害を調査把握し、必要な応急措置を講じます。

### 3) ごみ収集の方法

#### (1) ごみの収集計画の広報

ごみの収集の曜日や排出区分のルールを守るよう、ごみ収集の計画等を市民に対して自治会又は報道機関を通じ、協力を呼び掛けます。

#### (2) 腐敗性の高いごみ

腐敗性の高い燃やせるごみは、被災地における防疫上、委託業者等の協力を得て最優先で収集、運搬し、処理施設等へ搬入します。

#### (3) ごみの分別

ごみの分別は、適正処理できるよう分別します。なお、分別収集にあたっては、適切な広報により、市民に分別排出を呼び掛けます。

#### (4) 夜間の収集

道路交通の状況によっては、夜間のごみの収集も実施します。

#### (5) 避難所のごみ対策

避難所では、保健衛生面から毎日収集等を実施し、段ボール、梱包材料等、一時的大量に排出されるものは、再利用とリサイクルを図ります。

### 4) ごみの仮置場

処理施設での処理能力を超える大量のごみが発生した場合は、周辺の環境、交通の利便、被災地の状況等に留意し、仮置場を確保します。

## 5) ごみの処理・処分

### (1) ごみの処理施設での処理

ごみの処理施設が受入れ可能となった時点から、仮置場に一時的に集積したごみを含め、処理施設に搬入し、順次処理・処分します。

### (2) 隣接市町へのごみ処理の要請

地震等の災害により、一般廃棄物の適正処理が困難となった場合、「災害廃棄物等の処理に関する相互援助協定」を締結している県、市町村及び関係一部事務組合へ、次に掲げる相互支援を要請します。

- ・ 災害廃棄物等の処理に必要な資機材等の提供及び斡旋
- ・ 災害廃棄物等を一時的に保管する仮置場の提供
- ・ 災害廃棄物等の処理に必要な職員の派遣
- ・ 災害廃棄物等の処理の実施
- ・ その他災害廃棄物等の処理に関し必要な事項

## 第6項 進行管理計画

### 1. 施策推進体制の整備

#### 1) 市民、事業者、行政などの連携

市民、事業者、行政は、協力してごみの発生抑制、資源化に積極的に取り組めます。また、深谷市はこれらの取り組みに対し支援と協力を行い、廃棄物処理行政を総合的に推進します。

#### 2) 行政における推進体制の整備

市民、事業者の協力の元、さらに組合とも連携を図りながら計画の立案、進行管理を行い、ごみの発生抑制や資源化を推進します。

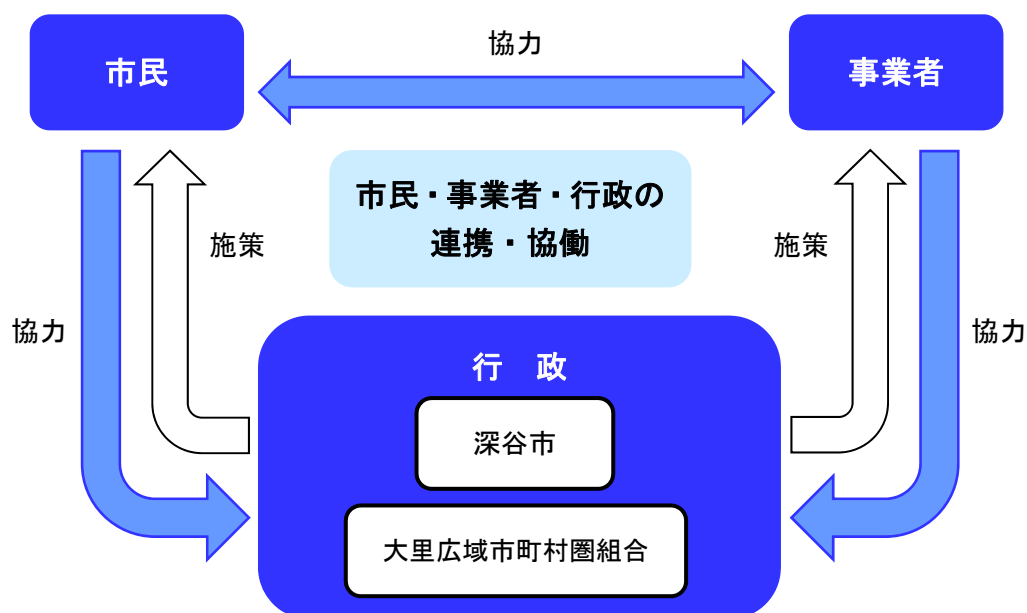


図 4-18 計画の推進体制

### 2. 計画の検証方法

計画の評価については、計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行います。また、「市町村一般廃棄物処理システム比較分析」における評価についてもひとつの指標と捉え、活用します。

本計画は、計画の前提となる諸条件に大きな変動があった場合に見直しを行うものとします。

---

## ごみに関する主な用語の説明

---



### 一般廃棄物

廃棄物処理法で定められており、産業廃棄物以外の廃棄物をいう。主に、家庭から排出される生ごみや粗大ごみ、し尿、事業所から排出される紙くずなどをしめす。



### 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）

特定家庭用機器の適正な収集運搬や再商品化等の実施を促し、廃棄物としての排出を抑制するとともに、再資源化を推進するために定めた法律。エアコン、テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ）、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機が特定家庭用機器として指定。



### 環境基本法

環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定めた法律。



### 感染性廃棄物

医療機関、研究機関などから排出される、感染性の病原体の付いた、また付いている恐れのあるごみ。産業廃棄物の一種。使用済みの注射針や血液などの付いたガーゼなど。



### 乾ベース、湿ベース

ごみの組成分析（紙やプラスチック、生ごみ等の含有率）を行うときに、排出されたままのごみで水分が含まれている状態を湿ベース、乾燥させて分析する場合を乾ベースという。



### 小型家電リサイクル法（使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律）

デジタルカメラやゲーム機等の使用済小型電子機器等には有用な金属が含まれているにもかかわらず、それらが廃棄されていることから、再資源化を推進するために定められた法律。



### コンポスト

生ごみや落ち葉、雑草などを発酵させて堆肥として使うもの。有機物が微生物により完全に分解された肥料。



### 災害廃棄物

地震や台風など巨大な災害が発生した際に発生するがれきなどの廃棄物。



### 産業廃棄物

廃棄物処理法で定められており、産業廃棄物は、燃えがら、汚泥、廃プラスチック類、鉱さい、建設廃材、畜産農業にかかわる動物の死体やふん尿など 20 種。事業者処理が義務付けられている。



## 循環型社会

製品等が廃棄物となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においてはこれについて適正に循環的な利用が行われることが促進されることが基本となる社会形態。



## 集団回収

市民が団体をつくり、収集の日時や場所を決め、定期的に紙類（新聞、雑誌、ダンボール及び飲料用の紙パック）や布類、ビン類、金属類などを集め、資源回収業者に引き渡す活動。



## 食品リサイクル法（食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律）

食品関連事業者から排出される食品廃棄物等について、その排出抑制と資源としての有効利用を推進するために定められた法律。



## 食品ロス

まだ食べられるのに捨てられている食べ物。小売店での売れ残り・期限切れ、製造過程で発生する規格外品、飲食店や家庭での食べ残し・食材の余りなど。



## ストーカ式

階段状または櫛状の火格子である「ストーカ」の上で、ごみを移動させながら処理する焼却炉。



## ストックヤード

搬入されたごみや、処理された資源物を一時的に貯留する施設。コンクリートなどで仕切られている。



## 3R（リデュース、リユース、リサイクル）

リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用）の3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくろうとするもの。



## ダイオキシン恒久対策

ダイオキシン類の発生を抑えるため、ごみ焼却炉の燃焼の安定化、ダイオキシン類除去のための排ガス処理施設の設置、焼却灰・飛灰処理施設の設置等の対策。



## 段ボールコンポスト

家庭から出る生ごみを堆肥化促進基材とともに段ボール箱に入れ、その中で減量・堆肥化を行うもの。



## ちゅう芥類

台所から出る野菜のくずや食べ物の残りなどのごみ。



### 中間処理施設

廃棄物を埋立処分する前に、選別・減量などの処理をすることをいい、中間処理施設とはそのような廃棄物を処理する設備を備えた施設をいう。選別は、廃棄物の中から再利用（リサイクル）できる金属類やビン、缶、ペットボトルなどを選別すること。減量は、木屑、繊維くず、紙くずなどを焼却、破砕すること、また汚泥などの脱水すること。



### 長寿命化対策

ごみ焼却炉等のインフラ（社会基盤）を長く利用し、建て替えの回数を減らし、建設費用等を削減するために、定期的に補修を行うこと。



### 低炭素社会

地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出を、現状の産業構造やライフスタイルを変えることで低く抑えた社会。化石燃料使用量の削減、高効率エネルギーの開発、エネルギー消費の削減、資源の有効利用などによって実現を目指す。



### 廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）

廃棄物の排出を抑制し、及び廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、並びに生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として定めた法律。



### バイオマス

生物資源の量を表す概念で、一般的には「再生可能な生物由来の有機性資源で、化石資源を除いたもの」をバイオマスと呼ぶ。バイオマスの種類には1. 廃棄物系バイオマス、2. 未利用バイオマス、そして3. 資源作物（エネルギーや製品の製造を目的に栽培される植物）がある。廃棄物系バイオマスは、廃棄される紙、家畜排せつ物、食品廃棄物、建設発生木材、製材工場残材、下水汚泥等があげられ、未利用バイオマスとしては、稲わら・麦わら・もみ殻等が、資源作物としては、さとうきびやトウモロコシなどがある。



### マイバッグ

レジ袋の使用を削減するため、個々で購入する買い物袋。このマイバッグの持参率を上げ、レジ袋の削減を促す行動を「マイバッグ持参運動」という。



### リターナブル容器

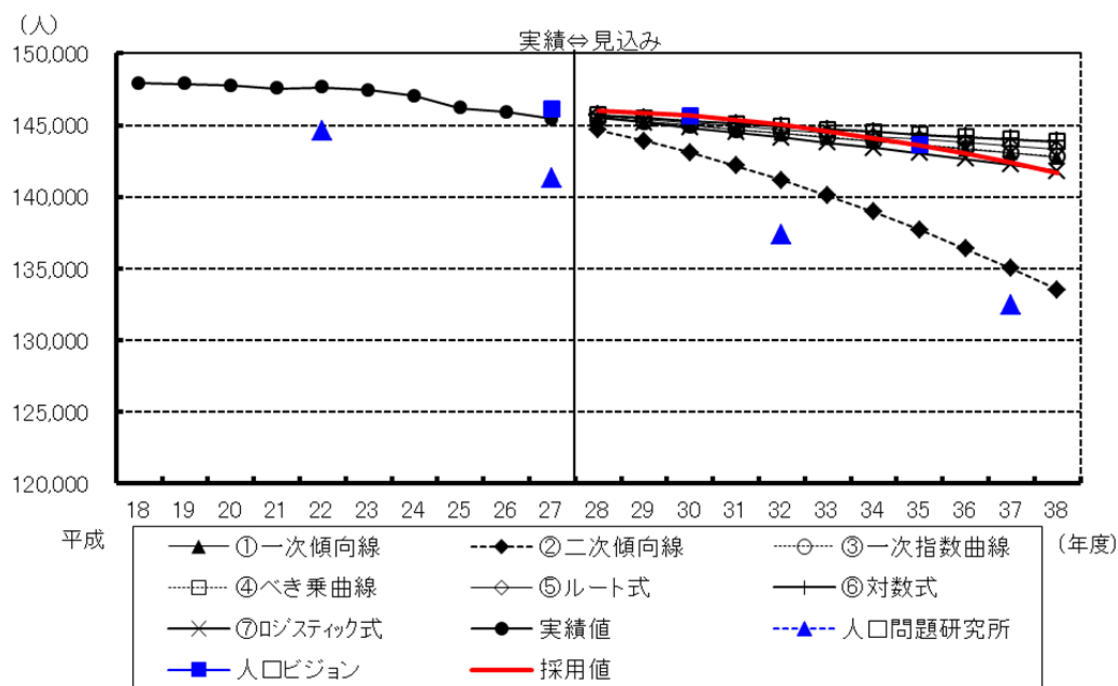
ビールびんや一升びんなどの使用済みの容器を回収、洗浄して再び使用する繰り返し使用が可能な製品のこと。

## 資料

「第4章 ごみ処理基本計画 第3項 ごみの発生量及び処理量の見通し」で行った予測結果を参考として示します。

### 1. 行政区域内人口の予測

人口実績は減少しているため、予測式はいずれの式も減少傾向を示しましたが、人口の現状と将来の展望を提示する「深谷市人口ビジョン」（平成27年3月）を策定していることを踏まえ、この「深谷市人口ビジョン」における「人口の将来展望」を将来の人口とします。



参考-1 人口の予測

## 2. ごみ排出量の予測

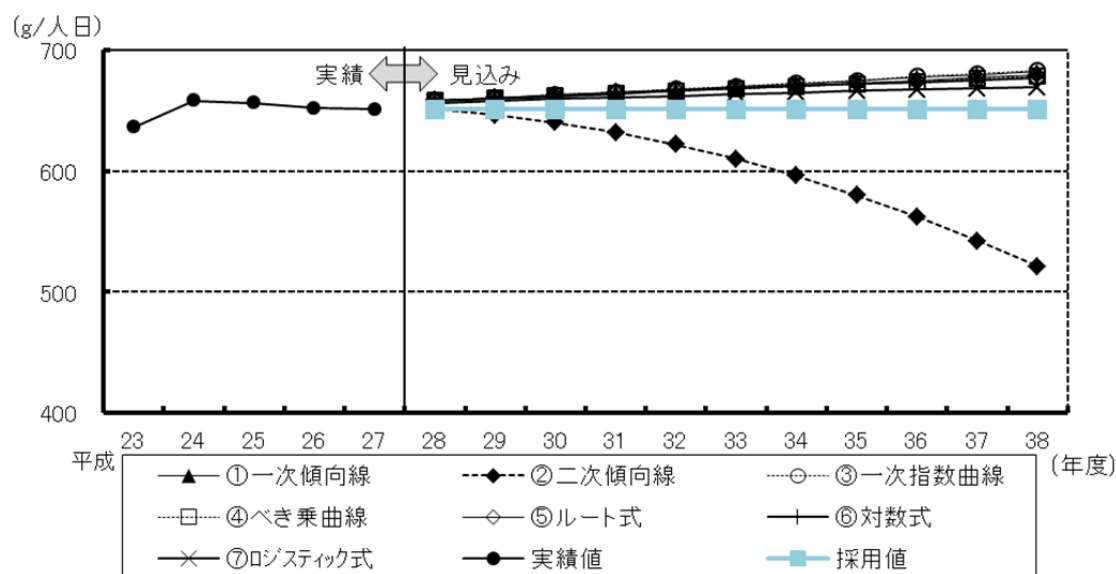
### 1) 家庭系ごみ

#### (1) 燃やせるごみ

近年は横ばい傾向のため、予測式は二次傾向線を除き緩やかな増加傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから大きな減少は考えにくいこと、予測式の相関係数があまり高くないことから、平成27年度実績を維持するものとします。

(単位:g/人日)

| 年度   |      | 実績値   | 推計値             |                             |                 |                 |                        |                      |                           | 採用値 |
|------|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| (西暦) | (平成) |       | ①一次傾向線          | ②二次傾向線                      | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線          | ⑤ルート式                  | ⑥対数式                 | ⑦ロジスティック式                 |     |
| 2011 | 23   | 636.0 |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2012 | 24   | 658.0 |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2013 | 25   | 656.0 |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2014 | 26   | 652.0 |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2015 | 27   | 651.0 |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2016 | 28   |       | 658             | 651                         | 658             | 658             | 658                    | 658                  | 656                       | 651 |
| 2017 | 29   |       | 660             | 646                         | 660             | 660             | 660                    | 660                  | 658                       | 651 |
| 2018 | 30   |       | 663             | 640                         | 663             | 662             | 662                    | 662                  | 660                       | 651 |
| 2019 | 31   |       | 665             | 632                         | 665             | 664             | 665                    | 664                  | 661                       | 651 |
| 2020 | 32   |       | 667             | 622                         | 668             | 666             | 667                    | 666                  | 662                       | 651 |
| 2021 | 33   |       | 670             | 610                         | 670             | 668             | 669                    | 668                  | 664                       | 651 |
| 2022 | 34   |       | 672             | 596                         | 673             | 670             | 671                    | 670                  | 665                       | 651 |
| 2023 | 35   |       | 675             | 580                         | 675             | 672             | 673                    | 672                  | 666                       | 651 |
| 2024 | 36   |       | 677             | 562                         | 678             | 674             | 675                    | 673                  | 667                       | 651 |
| 2025 | 37   |       | 679             | 542                         | 680             | 676             | 677                    | 675                  | 668                       | 651 |
| 2026 | 38   |       | 682             | 521                         | 683             | 678             | 679                    | 677                  | 669                       | 651 |
| 備考   |      | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |     |
|      |      | 定数 a  | 590.60000       | -0.01112                    | 592.39238       | 475.84473       | 528.31330              | 450.16642            | 0.21538                   |     |
|      |      | 定数 b  | 2.40000         | 49.94140                    | 1.00375         | 0.09720         | 24.46714               | 143.44931            | 0.05341                   |     |
|      |      | 定数 c  |                 | -0.95361                    |                 |                 |                        |                      |                           |     |
|      |      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 688                       |     |
|      |      | 相関係数  | 0.43876         | 0.72376                     | 0.43712         | 0.45480         | 0.44764                | 0.45653              | 0.45968                   |     |
|      |      | 相関順位  | 6               | 1                           | 7               | 4               | 5                      | 3                    | 2                         |     |
|      |      | 数値順位  | 2               | 7                           | 1               | 4               | 3                      | 5                    | 6                         |     |



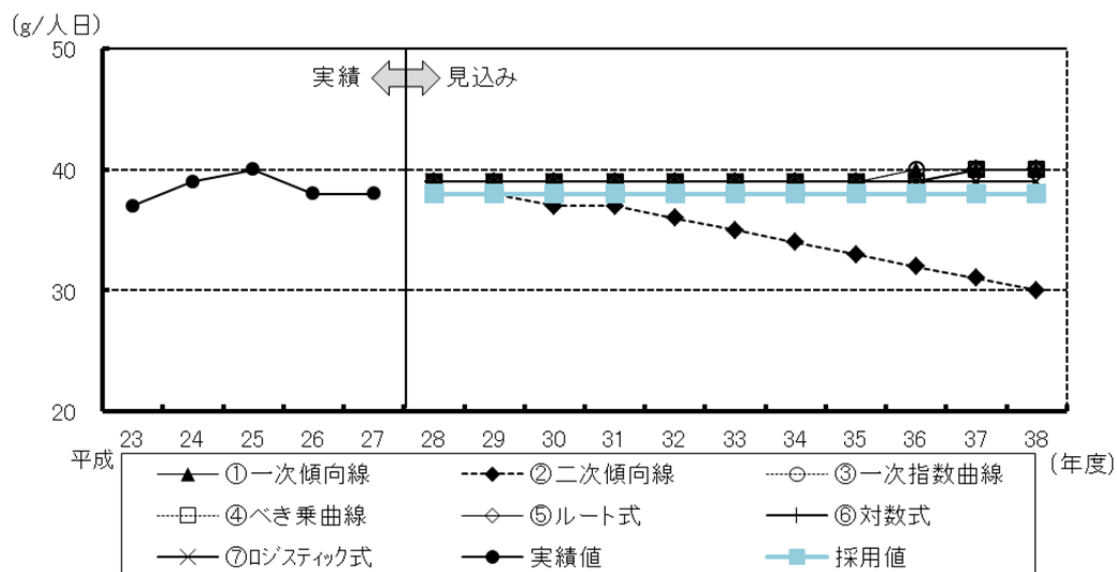
参考-2 家庭系燃やせるごみの予測結果

## (2) 燃やせないごみ

燃やせないごみの実績は38g前後を推移しており、予測式は二次傾向線を除き同様の傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続すること大きな減少は考えにくいこと、予測式の相関係数があまり高くないことから、平成27年度実績を維持するものとします。

(単位:g/人日)

| 年度   |      | 実績値   | 推計値             |                             |                 |                 |                        |                      |                           | 採用値 |
|------|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| (西暦) | (平成) |       | ①一次傾向線          | ②二次傾向線                      | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線          | ⑤ルート式                  | ⑥対数式                 | ⑦ロジスティック式                 |     |
| 2011 | 23   | 37.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2012 | 24   | 39.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2013 | 25   | 40.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2014 | 26   | 38.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2015 | 27   | 38.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2016 | 28   |       | 39              | 38                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2017 | 29   |       | 39              | 38                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2018 | 30   |       | 39              | 37                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2019 | 31   |       | 39              | 37                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2020 | 32   |       | 39              | 36                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2021 | 33   |       | 39              | 35                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2022 | 34   |       | 39              | 34                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2023 | 35   |       | 39              | 33                          | 39              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2024 | 36   |       | 40              | 32                          | 40              | 39              | 39                     | 39                   | 39                        | 38  |
| 2025 | 37   |       | 40              | 31                          | 40              | 40              | 40                     | 40                   | 39                        | 38  |
| 2026 | 38   |       | 40              | 30                          | 40              | 40              | 40                     | 40                   | 39                        | 38  |
| 備考   |      | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |     |
|      |      | 定数 a  | 35.90000        | -0.00198                    | 35.84857        | 29.91982        | 33.05245               | 29.23549             | 0.07505                   |     |
|      |      | 定数 b  | 0.10000         | 3.00649                     | 1.00274         | 0.07745         | 1.06994                | 6.55900              | 0.01906                   |     |
|      |      | 定数 c  |                 | -0.05863                    |                 |                 |                        |                      |                           |     |
|      |      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 41                        |     |
|      |      | 相関係数  | 0.13868         | 0.65818                     | 0.13735         | 0.15681         | 0.14849                | 0.15834              | 0.14711                   |     |
|      |      | 相関順位  | 6               | 1                           | 7               | 3               | 4                      | 2                    | 5                         |     |
|      |      | 数値順位  | 1               | 7                           | 1               | 1               | 1                      | 1                    | 6                         |     |



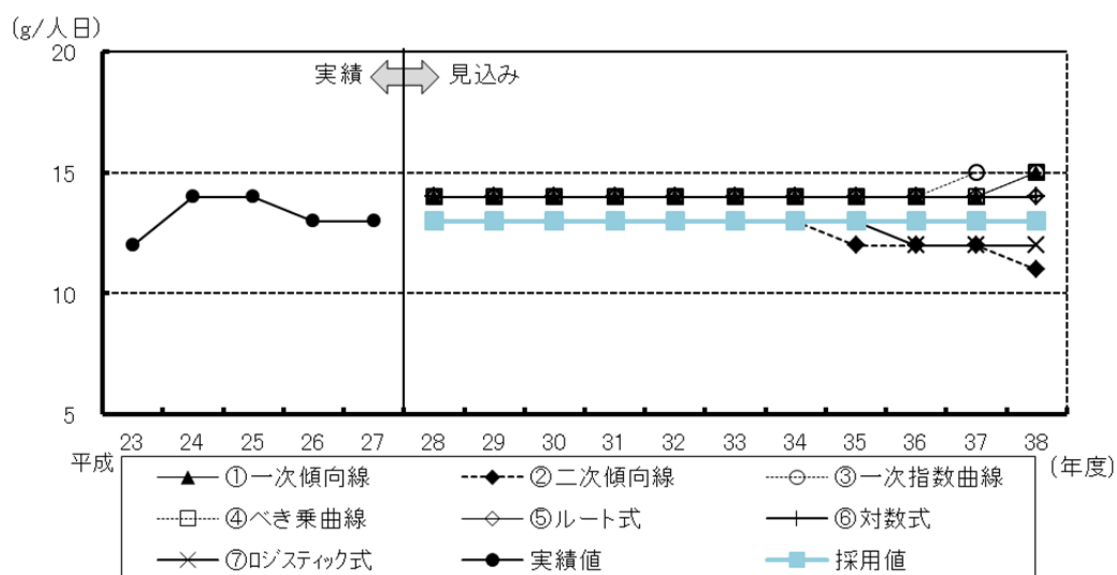
参考-3 家庭系燃やせないごみの予測結果

### (3) 粗大ごみ

粗大ごみの実績は13g前後を推移しており、予測式は二次傾向線を除き同様の傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから大きな減少は考えにくいこと、予測式の相関係数があまり高くないことから、平成27年度実績を維持するものとします。

(単位:g/人日)

| 年度   |      | 実績値   | 推計値             |                             |                 |                 |                        |                      |                           | 採用値 |
|------|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| (西暦) | (平成) |       | ①一次傾向線          | ②二次傾向線                      | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線          | ⑤ルート式                  | ⑥対数式                 | ⑦ロジスティック式                 |     |
| 2011 | 23   | 12.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2012 | 24   | 14.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2013 | 25   | 14.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2014 | 26   | 13.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2015 | 27   | 13.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2016 | 28   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2017 | 29   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2018 | 30   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2019 | 31   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2020 | 32   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2021 | 33   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2022 | 34   |       | 14              | 13                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2023 | 35   |       | 14              | 12                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 13                        | 13  |
| 2024 | 36   |       | 14              | 12                          | 14              | 14              | 14                     | 14                   | 12                        | 13  |
| 2025 | 37   |       | 14              | 12                          | 15              | 14              | 14                     | 14                   | 12                        | 13  |
| 2026 | 38   |       | 15              | 11                          | 15              | 15              | 14                     | 14                   | 12                        | 13  |
| 備考   |      | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |     |
|      |      | 定数 a  | 10.70000        | -0.00152                    | 10.62958        | 6.20930         | 7.95243                | 4.35674              | 0.00114                   |     |
|      |      | 定数 b  | 0.10000         | 0.97817                     | 1.00863         | 0.23391         | 1.04993                | 6.32908              | -0.13212                  |     |
|      |      | 定数 c  |                 | -0.01794                    |                 |                 |                        |                      |                           |     |
|      |      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 14                        |     |
|      |      | 相関係数  | 0.18898         | 0.38542                     | 0.18493         | 0.20370         | 0.19857                | 0.20822              | -0.13183                  |     |
|      |      | 相関順位  | 5               | 1                           | 6               | 3               | 4                      | 2                    | 7                         |     |
|      |      | 数値順位  | 1               | 7                           | 1               | 1               | 1                      | 1                    | 6                         |     |



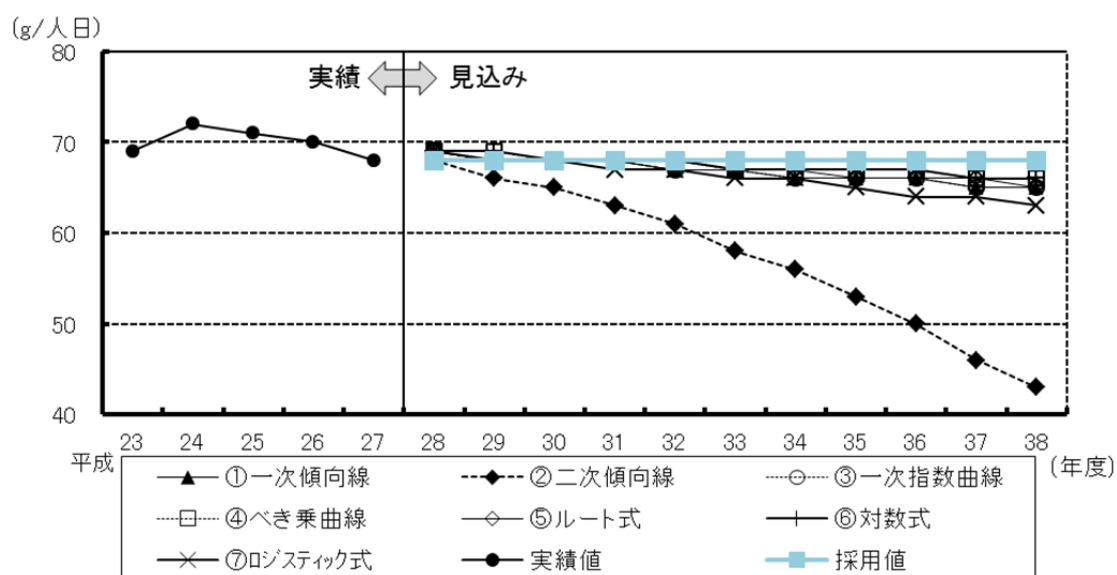
参考-4 家庭系粗大ごみの予測結果

#### (4) 資源物

資源物は平成24年度以降に減少傾向であり、予測式は二次傾向線を除きゆるやかな減少傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから急激な減少は考えにくいいため、平成27年度実績を維持するものとします。

(単位:g/人日)

| 年度   |      | 実績値   | 推計値             |                             |                 |                 |                        |                      |                           | 採用値 |
|------|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| (西暦) | (平成) |       | ①一次傾向線          | ②二次傾向線                      | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線          | ⑤ルート式                  | ⑥対数式                 | ⑦ロジスティック式                 |     |
| 2011 | 23   | 69.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2012 | 24   | 72.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2013 | 25   | 71.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2014 | 26   | 70.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2015 | 27   | 68.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2016 | 28   |       | 69              | 68                          | 69              | 69              | 69                     | 69                   | 69                        | 68  |
| 2017 | 29   |       | 68              | 66                          | 68              | 69              | 68                     | 69                   | 68                        | 68  |
| 2018 | 30   |       | 68              | 65                          | 68              | 68              | 68                     | 68                   | 68                        | 68  |
| 2019 | 31   |       | 68              | 63                          | 68              | 68              | 68                     | 68                   | 67                        | 68  |
| 2020 | 32   |       | 67              | 61                          | 67              | 68              | 67                     | 68                   | 67                        | 68  |
| 2021 | 33   |       | 67              | 58                          | 67              | 67              | 67                     | 67                   | 66                        | 68  |
| 2022 | 34   |       | 66              | 56                          | 66              | 67              | 67                     | 67                   | 66                        | 68  |
| 2023 | 35   |       | 66              | 53                          | 66              | 67              | 66                     | 67                   | 65                        | 68  |
| 2024 | 36   |       | 66              | 50                          | 66              | 67              | 66                     | 67                   | 64                        | 68  |
| 2025 | 37   |       | 65              | 46                          | 65              | 66              | 66                     | 66                   | 64                        | 68  |
| 2026 | 38   |       | 65              | 43                          | 65              | 66              | 65                     | 66                   | 63                        | 68  |
| 備考   |      | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |     |
|      |      | 定数 a  | 80.00000        | -0.00263                    | 80.77862        | 108.34982       | 89.47175               | 100.47295            | 0.01633                   |     |
|      |      | 定数 b  | -0.40000        | 6.05402                     | 0.99428         | -0.13585        | -3.89591               | -21.80934            | -0.06815                  |     |
|      |      | 定数 c  |                 | -0.12974                    |                 |                 |                        |                      |                           |     |
|      |      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 76                        |     |
|      |      | 相関係数  | 0.40000         | 0.65949                     | 0.39713         | 0.37687         | 0.38988                | 0.37966              | 0.42803                   |     |
|      |      | 相関順位  | 3               | 1                           | 4               | 7               | 5                      | 6                    | 2                         |     |
|      |      | 数値順位  | 4               | 7                           | 4               | 1               | 3                      | 1                    | 6                         |     |



参考-5 家庭系資源物の予測結果

(5) 有害ごみ

家庭系有害ごみは平成23年度から1人1日当たりの量は変わらないため、今後も同じ排出量を維持するものとします。

参考-6 家庭系有害ごみの予測結果

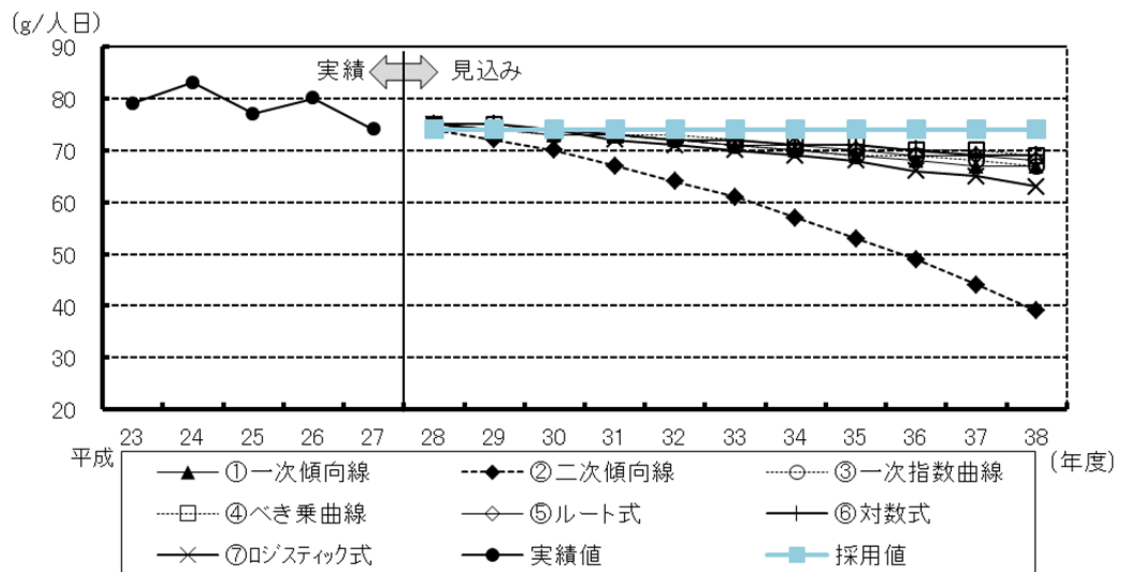
|      |      | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 予測採用値 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 有害ごみ | g/人日 | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1     |

## 2) 集団回収

実績は、増減を繰り返しながらも減少傾向であり、予測式は全て減少傾向を示しました。今後もこれまでの施策を継続することから急激な減少は考えにくいいため、平成27年度実績を維持するものとします。

(単位:g/人日)

| 年度   |      | 実績値   | 推計値             |                             |                 |                 |                        |                      |                           | 採用値 |
|------|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|-----|
| (西暦) | (平成) |       | ①一次傾向線          | ②二次傾向線                      | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線          | ⑤ルート式                  | ⑥対数式                 | ⑦ロジスティック式                 |     |
| 2011 | 23   | 79.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2012 | 24   | 83.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2013 | 25   | 77.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2014 | 26   | 80.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2015 | 27   | 74.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |     |
| 2016 | 28   |       | 75              | 74                          | 75              | 75              | 75                     | 75                   | 75                        | 74  |
| 2017 | 29   |       | 74              | 72                          | 74              | 75              | 74                     | 75                   | 74                        | 74  |
| 2018 | 30   |       | 73              | 70                          | 73              | 74              | 74                     | 74                   | 74                        | 74  |
| 2019 | 31   |       | 73              | 67                          | 73              | 73              | 73                     | 73                   | 72                        | 74  |
| 2020 | 32   |       | 72              | 64                          | 72              | 73              | 72                     | 72                   | 71                        | 74  |
| 2021 | 33   |       | 71              | 61                          | 71              | 72              | 71                     | 72                   | 70                        | 74  |
| 2022 | 34   |       | 70              | 57                          | 70              | 71              | 71                     | 71                   | 69                        | 74  |
| 2023 | 35   |       | 69              | 53                          | 69              | 71              | 70                     | 71                   | 68                        | 74  |
| 2024 | 36   |       | 68              | 49                          | 69              | 70              | 69                     | 70                   | 66                        | 74  |
| 2025 | 37   |       | 67              | 44                          | 68              | 70              | 69                     | 69                   | 65                        | 74  |
| 2026 | 38   |       | 67              | 39                          | 67              | 69              | 68                     | 69                   | 63                        | 74  |
| 備考   |      | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |     |
|      |      | 定数 a  | 99.14286        | -0.00122                    | 102.95540       | 188.39400       | 120.08652              | 145.11883            | 0.01556                   |     |
|      |      | 定数 b  | -0.85714        | 7.14859                     | 0.98880         | -0.27539        | -8.47872               | -48.24743            | -0.08443                  |     |
|      |      | 定数 c  |                 | -0.16100                    |                 |                 |                        |                      |                           |     |
|      |      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 88                        |     |
|      |      | 相関係数  | 0.55328         | 0.62718                     | 0.55056         | 0.54122         | 0.54853                | 0.54381              | 0.56901                   |     |
|      |      | 相関順位  | 3               | 1                           | 4               | 7               | 5                      | 6                    | 2                         |     |
|      |      | 数値順位  | 5               | 7                           | 4               | 1               | 3                      | 2                    | 6                         |     |



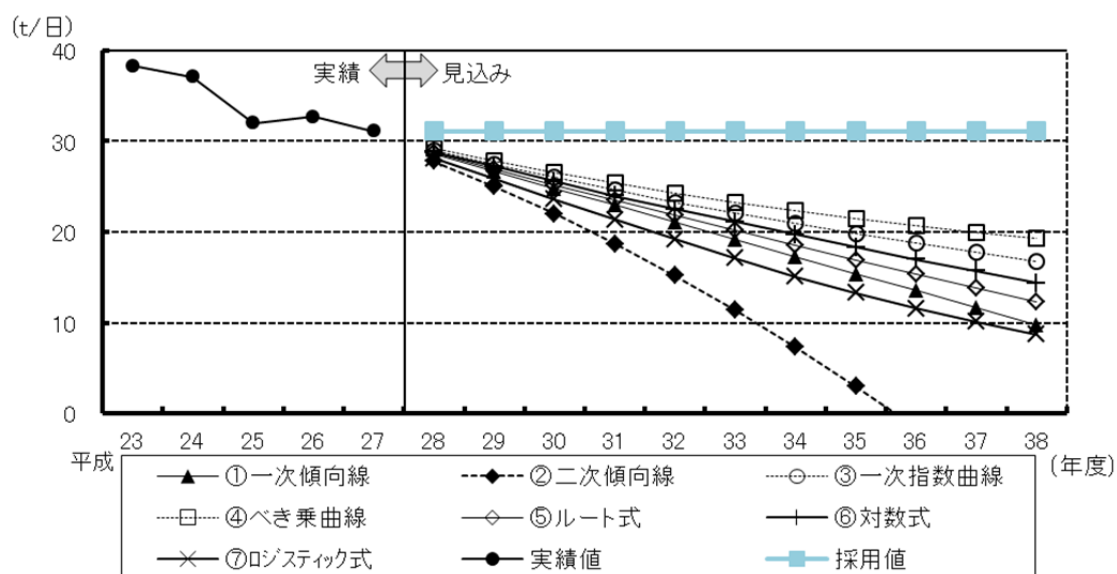
参考-7 資源回収の予測結果

### 3) 事業系ごみ

事業系ごみは減少傾向であり、予測式は全て減少傾向を示しました。近年は減少傾向が緩やかになっていることから、平成27年度実績を維持するものとします。

(単位:t/日)

| 年度   |      | 実績値   | 推計値             |                             |                 |                 |                        |                      |                           | 採用値  |
|------|------|-------|-----------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|------------------------|----------------------|---------------------------|------|
| (西暦) | (平成) |       | ①一次傾向線          | ②二次傾向線                      | ③一次指数曲線         | ④べき乗曲線          | ⑤ルート式                  | ⑥対数式                 | ⑦ロジスティック式                 |      |
| 2011 | 23   | 38.3  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |      |
| 2012 | 24   | 37.1  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |      |
| 2013 | 25   | 32.0  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |      |
| 2014 | 26   | 32.7  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |      |
| 2015 | 27   | 31.1  |                 |                             |                 |                 |                        |                      |                           |      |
| 2016 | 28   |       | 28.6            | 27.8                        | 29.0            | 29.2            | 28.7                   | 28.8                 | 28.1                      | 31.1 |
| 2017 | 29   |       | 26.7            | 25.0                        | 27.5            | 27.8            | 26.9                   | 27.2                 | 25.9                      | 31.1 |
| 2018 | 30   |       | 24.8            | 22.0                        | 26.0            | 26.6            | 25.2                   | 25.6                 | 23.6                      | 31.1 |
| 2019 | 31   |       | 23.0            | 18.7                        | 24.6            | 25.4            | 23.5                   | 24.0                 | 21.4                      | 31.1 |
| 2020 | 32   |       | 21.1            | 15.2                        | 23.3            | 24.3            | 21.8                   | 22.5                 | 19.2                      | 31.1 |
| 2021 | 33   |       | 19.2            | 11.4                        | 22.1            | 23.3            | 20.2                   | 21.1                 | 17.1                      | 31.1 |
| 2022 | 34   |       | 17.3            | 7.3                         | 20.9            | 22.4            | 18.6                   | 19.7                 | 15.1                      | 31.1 |
| 2023 | 35   |       | 15.4            | 3.0                         | 19.8            | 21.5            | 16.9                   | 18.3                 | 13.3                      | 31.1 |
| 2024 | 36   |       | 13.6            | -1.5                        | 18.8            | 20.7            | 15.4                   | 17.0                 | 11.6                      | 31.1 |
| 2025 | 37   |       | 11.7            | -6.4                        | 17.8            | 20.0            | 13.8                   | 15.7                 | 10.1                      | 31.1 |
| 2026 | 38   |       | 9.8             | -11.4                       | 16.8            | 19.3            | 12.3                   | 14.4                 | 8.7                       | 31.1 |
| 備考   |      | 推計式   | $y=a+b \cdot x$ | $y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$ | $y=a \cdot b^x$ | $y=a \cdot x^b$ | $y=a+b \cdot \sqrt{x}$ | $y=a+b \cdot \log x$ | $y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$ |      |
|      |      | 定数 a  | 81.24000        | 0.00219                     | 132.51452       | 2713.09762      | 128.37313              | 185.88699            | 0.00478                   |      |
|      |      | 定数 b  | -1.88000        | 4.61221                     | 0.94717         | -1.36015        | -18.83417              | -108.53299           | -0.18152                  |      |
|      |      | 定数 c  |                 | -0.12930                    |                 |                 |                        |                      |                           |      |
|      |      | 収束値 k |                 |                             |                 |                 |                        |                      | 50                        |      |
|      |      | 相関係数  | 0.91831         | 0.89821                     | 0.92441         | 0.92817         | 0.92067                | 0.92289              | 0.90930                   |      |
|      |      | 相関順位  | 5               | 7                           | 2               | 1               | 4                      | 3                    | 6                         |      |
|      |      | 数値順位  | 6               | 7                           | 2               | 1               | 4                      | 3                    | 5                         |      |





# 深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

平成 29 年 3 月

深谷市環境水道部環境衛生課  
〒369-0292 埼玉県深谷市岡 2381-1  
TEL : (048) 585－2215  
FAX : (048) 585－0165  
E-mail : eisei@city.fukaya.saitama.jp